

業績目録 令和7年度

微生物感染症学分野	2
生体組織再生工学分野	4
予防歯科学分野	6
う蝕学分野	11
小児歯科学分野	14
生体歯科補綴学分野	15
顎顔面口腔外科学分野	21
口腔解剖学分野	25
口腔生理学分野	26
口腔生化学分野	28
歯周診断・再建学分野	30
歯科矯正学分野	34
摂食嚥下リハビリテーション学分野	37
硬組織形態学分野	46
口腔病理学分野	50
歯科薬理学分野	53
包括歯科補綴学分野	54
組織再建口腔外科学分野	58
顎顔面放射線学分野	61
歯科麻酔学分野	63
高度口腔機能教育研究センター・歯学教育開発室	66
口腔生命福祉学科	71
歯科臨床教育学/歯科総合診療科	76
顎口腔インプラント治療部	78
医療連携口腔管理治療部	79

微生物感染症学分野

【著書】

- 1) 寺尾 豊, 土門久哲, 口腔微生物学・免疫学 第5版改訂第5刷, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2026.
- 2) 寺尾 豊, 土門久哲, 歯科衛生学シリーズ 疾病とその病態 微生物学 第2版改訂第3刷, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2026.
- 3) 寺尾 豊: 微生物学. 歯科衛生士書き込み式学習ノート 専門基礎科目編 2025年度. 医歯薬出版株式会社, 東京, 2025.

【論文】

- 1) Takizawa, F., Domon, H., Hirayama, S., Isono, I., Saito, R., Yasui, Y., Endo, M., Yonezawa, D., Maekawa, T., Tabeta, K., and Terao, Y.: Increased levels of high mobility group box 1 in the bronchoalveolar lavage fluid of murine pneumococcal pneumonia model. *Microbiol. Immunol.*, *in press*.
- 2) Endo, M., Domon, H., Hirayama, S., Takizawa, F., Ushida, A., Tabeta, K., Terao, Y.: Ozone ultrafine bubble water sterilizes *Porphyromonas gingivalis* and neutralizes its virulence factors. *PLOS One* 20(10): e0334259, 2025.
- 3) Yasui, Y., Hirayama, S., Domon, H., Tabeta, K., Terao, Y.: Functional rewiring of three pneumococcal proteins into plasminogen binders. *Microbiol Immunol* 69(9): 486-492, 2025.
- 4) Sasagawa, K., Domon, H., Hirayama, S., Maekawa, T., Isono, T., Tabeta, K., Terao, Y.: Secretory leucocyte protease inhibitor regulates bone metabolism and inflammation in experimental mouse periodontitis. *Commun Biol* 8: 760, 2025.

【学会発表】

- 1) 平山 悟, 磯野俊仁, 土門久哲, 寺尾 豊: 感染部位依存的に発現する肺炎球菌タンパク質の特徴および宿主因子との相互作用解析. 第99回日本細菌学会総会, 広島, 2026年3月20~22日, 同学術大会抄録集, 43頁, 2026.
- 2) 遠藤 愛, 土門久哲, 滝澤史雄, 平山 悟, 牛田晃臣, 吉田明弘, 寺尾 豊, 多部田康一: 口腔細菌およびその病原因子に対するオゾンナノ水の作用解析. 第68回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025年10月17~18日, 日本歯周病学会会誌67(秋季特別号): 141頁, 2025.
- 3) 川野亜希, 山城圭介, 柳田 学, 竹中彰治, 寺尾豊, 森谷徳文, 宮澤絢子, 高橋由希子, 吉田幸恵:

企業健診を活用した就労世代における歯周病の臨床指標と歯周病原細菌の関連性の検討—orcoa®およびリアルタイムPCRによる定量解析を用いて—. 第68回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025年10月17~18日, 日本歯周病学会会誌67(秋季特別号): 153頁, 2025.

- 4) 土門久哲, 平山悟, 寺尾豊: 肺炎球菌ニューモリンによる自然免疫シグナル活性化機構の解析. 第67回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025年9月5~7日, 同学術大会抄録集: 144頁, 2025.
- 5) 平山 悟, 土門久哲, 寺尾 豊: 肺炎球菌が有するプラスミノゲン結合タンパク質の包括的な発現特性解析. 第67回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025年9月5~7日, 同学術大会抄録集: 142頁, 2025.
- 6) 滝澤史雄, 土門久哲, 平山 悟, 前川知樹, 齋藤瑠郁, 安井惟人, 遠藤 愛, 寺尾 豊: 肺炎球菌感染における High-Mobility Group Box 1 の解析. 第67回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025年9月5~7日, 同学術大会抄録集: 89頁, 2025.
- 7) 安井惟人, 平山 悟, 土門久哲, 寺尾 豊: マクロファージ分泌タンパク質 AIM が肺炎球菌に及ぼす影響の解析. 第67回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025年9月5~7日, 同学術大会抄録集: 87-88頁, 2025.
- 8) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 磯野俊仁, 寺尾 豊: マクロライド誘導体 EM982 の Toll-like receptor 2 シグナルに対する作用解析. 第67回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025年9月5~7日, 同学術大会抄録集: 87頁, 2025.
- 9) 遠藤 愛, 土門久哲, 平山 悟, 滝澤史雄, 寺尾豊: オゾンウルトラファインバブル水は *Porphyromonas gingivalis* を殺菌しジンジパインおよびリポプロテインを不活化する. 第67回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025年9月5~7日, 同学術大会抄録集: 135頁, 2025.
- 10) 安井惟人, 平山 悟, 土門久哲, 多部田康一, 寺尾 豊: 肺炎球菌における複数のプラスミノゲン結合タンパク質の同定およびプラスミン変換促進活性の解析. 令和7年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2025年7月12日, 同例会プログラム: 8頁, 2025.
- 11) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 平山 悟, 竹中彰治, 野村由一郎, 寺尾 豊: エリスロマイシンを改変した免疫調節薬の開発研究. 令和7年度新潟歯学会第

1 回例会, 新潟, 2025 年 7 月 12 日, 同例会プログラム: 8 頁, 2025.

- 12) 土門久哲, 平山 悟, 寺尾 豊: 肺炎球菌ニューモリシンによる自然免疫活性化メカニズムの解析. 第 98 回日本細菌学会総会, 金沢, 2025 年 5 月 29~31 日, 日本細菌学雑誌 80(2): 159 頁, 2025.
- 13) 平山 悟, 土門久哲, 寺尾 豊: 肺炎球菌プラスミノゲン結合タンパク群の遺伝子転写解析. 第 98 回日本細菌学会総会, 金沢, 2025 年 5 月 29~31 日, 日本細菌学雑誌 80(2): 112 頁, 2025.
- 14) 安井惟人, 平山 悟, 土門久哲, 寺尾 豊: 肺炎球菌は複数のプラスミノゲン結合タンパク質を発現しプラスミンへの変換を促進する. 第 98 回日本細菌学会総会, 金沢, 2025 年 5 月 29~31 日, 日本細菌学雑誌 80(2): 111 頁, 2025.
- 15) 遠藤 愛, 土門久哲, 平山 悟, 牛田晃臣, 寺尾 豊: オゾンウルトラファインバブル水による *Porphyrromonas gingivalis* 殺菌作用およびジンジパイン不活化作用解析. 第 98 回日本細菌学会総会, 金沢, 2025 年 5 月 29~31 日, 日本細菌学雑誌 80(2): 120 頁, 2025.
- 16) 遠藤 愛, 土門久哲, 平山 悟, 牛田晃臣, 寺尾 豊, 多部田康一: *Porphyrromonas gingivalis* およびその病原因子に対するオゾンウルトラファインバブル水の作用解析. 第 68 回春季日本歯周病学会学術大会, 那覇, 2025 年 5 月 23~24 日, 日本歯周病学会会誌 67(春季特別号): 154 頁, 2025.

【研究会発表】

- 1) 滝澤史雄, 遠藤 愛, 土門久哲, 平山 悟, 寺尾 豊: ウルトラファインバブル技術を応用した新規消毒液の開発と作用解析. 第 10 回口腔微生物研究会, 北九州, 2025 年 9 月 8 日, 同研究会プログラム・抄録集: 6 頁, 2025.
- 2) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 磯野俊仁, 寺尾 豊: 免疫調節作用を有するエリスロマイシン誘導体の探索とその作用解析. 第 10 回口腔微生物研究会, 北九州, 2025 年 9 月 8 日, 同研究会プログラム・抄録集: 6 頁, 2025.
- 3) 土門久哲, 平山 悟, 寺尾 豊: 肺炎球菌毒素ニューモリシンは本当に TLR4 リガンドか?. 第 55 回レンサ球菌研究会, 新宿, 2025 年 6 月 13~14 日, 同研究会プログラム・抄録集: 18 頁, 2025.
- 4) 平山悟: iTRAQ 解析を基盤とする肺炎球菌侵襲化機構の解明. 公益財団法人発酵研究所 第 19 回助成研究報告会, 豊中, 2025 年 6 月 6 日, 同報告会プログラム: 66 頁, 2025.

【受賞】

- 1) 滝澤史雄: 新潟大学, 令和 7 年度学生優秀論文賞, 2025 年 8 月 7 日.
- 2) 齋藤瑠郁: 新潟歯学会, 新潟歯学会賞, 2026 年 2 月 4 日.
- 3) 齋藤瑠郁: 日本歯科保存学会, 奨励賞, 2025 年 6 月 5 日.

【研究費獲得】

- 1) 寺尾 豊(代表): 肺炎球菌性肺炎の統合的な検査/予防/治療に向けた開発研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A), 継続.
- 2) 寺尾 豊(分担): 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト. 科学技術振興機構(JST) 次世代研究者挑戦的研究プログラム SPRING 事業, 継続.
- 3) 土門久哲(分担): MRONJ の新規発症予防一分泌型白血球プロテアーゼ阻害因子の作用解明一. 日本学術振興会研究費基金 基盤研究(C), 新規.
- 4) 平山 悟(代表): 感染部位依存的な肺炎球菌の病原性発現およびその制御因子の解析. 日本学術振興会研究費基金 基盤研究(C), 新規.
- 5) 滝澤史雄(代表): 肺炎重症化因子のプロテオーム解析を基盤とした老化と肺炎重症化の関連性の探索. 日本学術振興会 特別研究員奨励費, 継続.
- 6) 安井惟人(代表): “やさしい創薬研究” イノベーション(AIM に着目した肺炎の創薬研究). 新潟大学 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, 次世代プロジェクト研究費, 継続.
- 7) 齋藤瑠郁(代表): 非感染性疾患への応用を見据えた免疫調節作用による新規歯周炎治療薬の開発. 日本学術振興会 特別研究員奨励費, 新規.
- 8) 遠藤 愛(代表): ポスト長寿社会の研究〜モデル生物実験系の作製と *in vivo* シミュレーション〜. 新潟大学 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, 次世代プロジェクト研究費, 継続.

【奨学金等】

- 1) 安井惟人: 新潟大学 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト研究奨励費, 継続.
- 2) 遠藤 愛: 新潟大学 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト研究奨励費, 継続.

【公的研究費の審査員】

- 1) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 創発的研究支援事業 審査委員。
- 2) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 大学発新産業創出 早暁プログラム 審査委員。
- 3) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 国際展開プログラム D-Global 審査委員。
- 4) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 大学発新産業創出プログラム START 審査委員。
- 5) 寺尾 豊：科学技術振興機構(JST) 大学発新産業創出プログラム SBIR フェーズ1 審査委員。
- 6) 寺尾 豊：日本医療研究開発機構(AMED) プログラムオフィサーおよび課題審査委員。

【その他】

- 1) 滝澤史雄：オゾンウルトラファインバブル水は口腔および上気道の病原細菌に殺菌作用を示し、汚染された医療用品を消毒する。新潟歯学会雑誌 55(1): 9-10 頁, 2025.
- 2) Niigata University elucidates progression of severe periodontitis in mice. Science Japan, Japan Science and Technology Agency (JST), 2025 年 7 月 3 日(Web 報道).
- 3) 歯周病の重症化 マウスで解明 SLPI タンパク質関与 減少で過剰な炎症。科学新聞, 科学新聞社, 2025 年 5 月 30 日(新聞報道)。

生体組織再生工学分野

【著書】

- 1) 泉 健次：項目番号 244, 248, 249, 252, 253, 254, 257, 258, 260, 262, 263, 266, 268, 271, 277, 279, 280, 283, 284, 285, 296, 297, 298, 307, 309, 310, 311, 312, 314, 315. 歯科理工学教育用語集 第4版(日本歯科理工学会編), 1-121 頁, 医歯薬出版, 東京, 2025.
- 2) 金谷 貢：項目番号 1, 33, 34, 74, 98, 99, 100, 185, 189, 229, 261, 288, 289, 297, 422, 425, 426, 427, 428, 454, 455, 477, 584, 592, 593, 594, 597, 599, 602, 846, 854, 867, 919, 921, 1003, 1004, 1005, 1038. 歯科理工学教育用語集 第4版(日本歯科理工学会編), 1-121 頁, 医歯薬出版, 東京, 2025.

【論文】

- 1) Ishikawa M, Ngo YX, Nishikawa I, Kato H, Maeda R, Mizuno R, Mizuno J, Izumi K, Yanagisawa H, Sada A. Spatial organization of epithelial heterogeneity through undulating structures of the skin and oral mucosa. 2026, in press. Journal of Invest Dermatol.

<https://doi.org/10.1016/j.jid.2026.02.014>.

- 2) Haga K, Kamimura Y, Yamazaki M, Funayama A, Saito-H Y, Kida M, Tanuma J, Izumi K. Quantitative and longitudinal monitoring of cancer cell invasion in a three-dimensional in vitro model of oral cancer using optical coherence tomography. Sci Reps. 15, 2025, Article number: 45449. <https://doi.org/10.1038/s41598-025-28471-y>
- 3) Yoshiba N, Maekawa T, Sekiguchi K, Kaku M, Sirisereephap K, Surboyoy M, Sato-Yamada Y, Rosenkranz A, Hosoya A, Ohkura N, Kakihara Y, Maeda T, Hajishengallis G, Izumi K, Yoshiba K. Loss of integrin alpha7-mediated signaling induces a dendritic cell-like phenotype in macrophages cultured on laminin-211/221 isoforms. J of Biological Chemistry. Vol 301, No. 8, 110419. <https://doi.org/10.1016/j.jbc.2025.110419>
- 4) Yamamoto I, Igawa K, Kondo N, Sakurai Y, Fujimura A, Takabatake K, Huang P, Michiue H, Ibaragi S, Izumi K. The Early Response After Radiation Therapy on Three-Dimensional Oral Cancer Model Using Patient-Derived Cancer-Associated Fibroblasts. International Journal of Translational Medicine. Vol 5, No. 1, 12. <https://doi.org/10.3390/ijtm5010012>
- 5) 泉 健次, 井川和代, 下川卓志, 濱野 毅. 重粒子線が細胞に与える影響を調べる新しいアプリケーション ～ヒト口腔扁平上皮がん3次元インビトロモデルの応用展開～. 2025, 799号, p8-12, アイソトープニュース.

【研究費獲得】

- 1) 小林亮太(研究代表者), 泉 健次: 画像イメージングを応用した角膜移植培養口腔粘膜上皮細胞シートの品質評価法の開発。令和6年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 24K15822, 2024.
- 2) 高田 翔(研究代表者): 口腔粘膜インビトロモデルを用いた化学療法誘発性口内炎に対する治療薬と投与方法探索。令和6年度(継続)日本学術振興会補助金(研究活動スタート支援), 24K23576, 2024.
- 3) 泉 健次(研究代表者): 細胞運動能を指標とする間葉系幹細胞の非破壊品質評価法の規格化。令和6年度(継続)日本学術振興会補助金 基盤研究(B)「一般」, 24K03319, 2024.
- 4) 齋藤夕子(原 夕子)(研究代表者), 泉 健次: 海洋生物由来接着剤とペプチド修飾を併用したインプラント周囲軟組織の新規付着技術。令和7年度(新規)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研

究(C)「一般」, 22K10016, 2025.

- 5) 田沼順一 (研究代表者), 泉 健次: シングルセル RNA-Seq 解析を利用した口腔癌微小環境の分子機構の解明. 令和 5 年度(継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 23K09150, 2024.
- 6) 井川和代 (研究代表者), 泉 健次: 血管網を有する口腔がん三次元培養モデルを用いた治療効果評価法の検証. 令和 5 年度(継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 23K11918, 2024.
- 7) Putri Pramita Larasati: Evaluation of ultra-high dose-rate radiotherapy (FLASH-RT) using a 3D oral cancer in vitro model, and analysis of simultaneous effects of FLASH-RT on normal oral mucosa using a new three-dimensional organotypic in vitro oral cancer model with four co-cultured cell types. 未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト, 令和 6 年度採用, 2024-2028.
- 8) 泉 健次: 培養細胞を利用した基礎医学生物学から臨床応用・患者治療に直結する口腔の高度再生医療を目指す橋渡し研究. ロート製薬株式会社との共同研究, 2025.6-2026.5

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Izumi K : 3D Cell Culture Platform Technique for Normal Oral Mucosa and Oral Cancer in my lab. University of Paradeniya, Sri Lanka, 2025 年 5 月 23 日.
- 2) 泉 健次: 歯科再生医療への貢献 ~培養口腔粘膜開発からの展開~. 第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会 新潟. 2025 年 10 月 17 日.

【学会発表】

- 1) Izumi K, Yortchan W, Yamada Y, Yoshiba N, Aizawa Y, Tanaka R, Annisa M, Larasati PP, Kobayashi M, Kobayashi M, Ishikawa M, Sada A. Manufacturing an ex-vivo produced oral mucosa equivalent using RGD-peptide conjugation. 2026 IADR Mar 26, 2026, San Diego.
- 2) Yuka Aizawa, Kenta Haga, Tatsuya Abe, Satoshi Maruyama Manabu Yamazaki, Junichi Tanuma, Putri P. Larasati, Kenji Izumi, Kei Tomihara: Development and application of a 3D organotypic in vitro oral cancer model composed of patient-derived cells. 第 84 回日本癌学会学術総会, 金沢, 2025 年 9 月 26 日, 第 84 回日本癌学会学術大会プログラム集 181 頁, <https://conference-apps-online.net/web/jca2025/all.html>, 2025.
- 3) 田中凜太郎, 相澤有香, Witsanu Yortchan, 小林 雅,

Mutiara Annisa1, Putri Pramita Larasati1, Meircurius Surboyo, 前川知樹, 荒井良明, 泉 健次: 口腔粘膜ヒト初代培養細胞を用いた 3 次元創傷治癒モデルの開発とその特徴解析. 令和 7 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2025 年 11 月 8 日, 新潟歯学会雑誌 55(2): 28-29, 2025.

- 4) 田中凜太郎, 相澤有香, Witsanu Yortchan, 小林 雅, Mutiara Annisa, Putri Pramita Larasati, Meircurius Surboyo, 上野山敦士, 前川知樹, 荒井良明, 泉 健次: 口腔粘膜ヒト初代培養細胞を用いた 3 次元創傷治癒モデルの開発. 第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025 年 10 月 17-18 日, 日本歯周病学会会誌 67(秋季特別): 159 頁, 2025.
- 5) 三沼 蓮, Witsanu Yortchan, 相澤有香, 小林亮太, 泉 健次, 飯田佑輔, 山崎達也: 粗視化解析によるヒト培養口腔粘膜上皮細胞シートの新たな非侵襲的品質評価法の開発. 2025 年度 IEICE 信越支部大会, 長岡, 2025 年 9 月 20 日.
- 6) Yortchan W, Yoshiba N, Aizawa Y, Tanaka R, Annisa M, Larasati PP, Kobayashi M, Izum K. Effect of RGD peptide-conjugation on epithelial adhesion to collagen scaffold. 令和 7 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2025 年 7 月 12 日, 新潟歯学会雑誌 55(2): 22-23, 2025
- 7) 高 昇将, 青柳裕仁, 金谷 貢: セルロースナノファイバーの添加量が義歯安定剤の粘着強さにおよぼす影響について. 日本歯科理工学会第 83 回学術講演会, 名古屋, 2025 年 4 月 19-20 日, 日歯理工誌 44(Special Issue 83): 71 頁, 2025.
- 8) 金谷 貢, 長谷川健二, 青柳裕仁, 高 昇将, 泉 健次: 低エネルギー電子線照射が CAD/CAM 冠用コンポジットレジンの接触角, 接着強さと破壊様式に与える影響. 日本歯科理工学会第 83 回学術講演会, 名古屋, 2025 年 4 月 19-20 日, 日歯理工誌 44(Special Issue 83): 56 頁, 2025.

【その他-特許出願・特許取得】

- 1) 泉 健次, 小林亮太, 飯田佑輔, 三沼 蓮: 解析方法, 解析装置及びプログラム. 国際特許出願 (出願人: 新潟大学) PCT/JP2025/014501 WO2025/220610, 2025 年 4 月 11 日.
- 2) 特許取得: 泉 健次, 水野 潤, 小松隆文, 水野綾介 (出願人: 新潟大学, 早稲田大学, 小松精機工作所) 特許第 7738261 号 転写用金型及び転写用金型の製造方法. : 立体細胞培養体および立体細胞培養体の製造方法. 2025 年 9 月 4 日.

【受賞】

- 1) 相澤有香：4 種類の細胞の共培養による腫瘍微小環境を模倣した口腔がん 3 次元モデルの開発と応用。第 70 回日本口腔外科学会総会・学術大会 最優秀口演発表賞，2025 年 11 月 16 日。

予防歯科学分野

【著書】

- 1) 小川祐司：Ⅱ編 知識編 タバコと口腔(尾崎哲則・埴岡 隆・小島美樹・田野ルミ編)。歯科衛生士のための禁煙支援ガイドブック第 2 版，57-64 頁，医歯薬出版，東京，2026。

【論文】

- 1) Thwin KM, Tassanapong N, Han PW, Ogawa H. Cognitive function and multiple psychological symptoms related to multi-dimensional oral health-related quality of life in Myanmar adults. *Discover Public Health*, in press, 2026.
- 2) Okubo H, Soyama Y, Kaneko N, Takehara S, Sakurai M, Nakagawa H, Ogawa H: Association between Shift Work and Periodontal Disease in the Japanese Manufacturing Industry: A Propensity Score Analysis. *Community Dent Health*, in press, 2026.
- 3) Widita E, Rodestawati B, Hanindriyo L, Vega CAW, Nur'aini B, Jang J-H, Takehara S. Oral Health Status and Its Relation to Frailty in Older Adults: A Cross-Sectional Study. *BMC Geriatr*, in press, 2026.
- 4) Sarmet M, Mayerl CJ, Steer KE, Borges LS, de Campos PS, Takehara S, Kagiya K, Kumei Y, Mangilli LD, Zeredo JLL. Marmoset (*Callithrix jacchus*) Swallowing Physiology: Novel Dysphagia Model Across Lifespan. *Integr Comp Biol*, 66: icafl157, 2026.
- 5) Khaing PT, Han YMZ, Zaww K, Kyaw MS, Thwin KM, Orui M, Kunii Y, Hamaie Y, Kyaw SS, Tsuboi M, Egawa S. A remote access qualitative study protocol to investigate the coping strategies in the mindset of the affected adults after the 2025 Myanmar earthquake. *Tohoku J Exp Med*, 267 (3): 263-272, 2025.
- 6) Ramadhani A, Minagawa K, Takehara S, Kaneko N, Yamada T, Kitazawa M, Sone H, Fitrah YA, Nohno K, Ogawa H. Periodontitis and Mild Cognitive Impairment Risk in Diabetic Patients: Insights From an Exploratory Analysis. *Dent J (Basel)* 13(11): 505, 2025.
- 7) Rani H, Azizan AA, Walad NIA, Hassan SAA, Dom TNM, Yeoh DSH, Tay JWC, Rosli MSA, Aun NSM,

- Aziz AFA, Thwin KM, Tew IM. Challenges and recommendations for oral healthcare of older adults in a long-term care facility. *Healthcare*, 13(20): 2642, 2025.
- 8) Tamura K, Nohno K, Ogawa H. Association of Occlusal Support With All-Cause 10-Year Mortality in Healthy, Community-Dwelling, 80-Year-Old Adults. *International dental journal*, 75(6):103909, 2025.
- 9) Chairunisa F, Takehara S, Nohno K, Ogawa H. Exploring the Association Between Periodontal Inflammation and Serum Aspartate Aminotransferase: Findings From a Longitudinal Study Among the Japanese Older Population. *J Int Soc Prev Community Dent*, 15(5) 426-434, 2025.
- 10) Chan AKY, Lin CP, Ijarogbe O, Kateeb E, Ogawa H, Shah SM, Fernandez F, Chen TC, Renn TY, Chu CH, Chang WJ. Promoting Oral Health for Older Adults in the Asia-Pacific Region. *Int Dent J*, 75(Suppl 2): 100886, 2025.
- 11) Zheng FM, Lin CP, Ijarogbe O, Kateeb E, Ogawa H, Shah SM, Fernanodez F, Chen TC, Renn TY, Chu CH, Chang WJ. Managing Early Childhood Caries in Asia-Pacific Region. *Int Dent J*, 75(Suppl 2): 100945, 2025.
- 12) Fabia G, Lin CP, Ijarogbe O, Kateeb E, Ogawa H, Shah SM, Fernandez F, Chen TC, Renn TY, Chu CH, Chang WJ. Special Care Dentistry for People in Asia-Pacific Region. *Int Dent J*, 75(Suppl 2): 100859, 2025.
- 13) Vidiaratri AR, Siregar FR, Alfian MF, Widita E, Hanindriyo L, Takehara S, Ogawa H. Examining the Correlation Between Dental Caries and Chewing Proficiency in Pediatric Populations: A Cross-Sectional Observational Study Utilizing Color-Changeable Chewing Gum. *J Int Oral Health*, 17(4): 293-303, 2025.
- 14) Sarmet M, Takehara S, de Campos PS, Kagiya K, Kumei Y, Mayerl CJ, Mangilli LD, Zeredo JLL. Age-Related Changes in Marmoset (*Callithrix jacchus*) Feeding Behavior and Physiology: Insights of Masticatory and Swallowing Functions. *Am J Primatol*, 87(8): e70070, 2025.
- 15) Ramadhani A, Tanaka A, Minagawa K, Takehara S, Yamada T, Sone H, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Exploring the Changes in Mild Cognitive Impairment Blood-Based Biomarkers after Local Antibiotic Periodontal Treatment in Diabetic Patients: Secondary Analysis of Data from a Randomized Controlled Trial. *Eur J Dent*, 19(3): 749-757, 2025.
- 16) Tun TZ, Thwin KM, Takehara S, Minagawa K, Kaneko N, Ogawa H. Impacts of dental checkups on oral function among Japanese older adults. *Sci Rep*, 15(1):

17622, 2025.

- 17) 小川祐司. 健康寿命延伸のための口腔保健 - 国際保健の潮流を踏まえて-. 日本健康教育学会誌 33(2), 132-139, 2025.
- 18) 田中 梓, 皆川久美子, Ramadhani Aulia, 大久保光, 濃野 要, 竹原祥子, 小川祐司. 2型糖尿病患者における歯周治療後の脳梗塞リスク因子 LAB とアディポネクチンの関連性の検討. 口腔衛生学会雑誌 75 (2), 88-96, 2025.

【商業誌】

- 1) 竹原祥子: 巻頭 Topic ザンビアの歯科医療. 歯界展望 142(2):1-4, 2026.
- 2) 小川祐司: 国際交流だより FDI 理事会報告. 日本歯科医師会雑誌 78(9), 562-563, 2025.
- 3) 小川祐司: World Health Report 2025 年 FDI 年次大会報告. 日本歯科評論 85(12), 174-175, 2025.
- 4) 竹原祥子: 特定非営利活動法人 歯科保健医療国際協力協議会ニュースレターNo.87 号.
- 5) 竹原祥子: 魚沼コホート住民向け研究活動報告書「健康かわらばん」.
- 6) 小川祐司: World Health Report 新潟大学歯学部における海外 Student Exchange Program. 日本歯科評論 85(6), 174-175, 2025.
- 7) 竹原祥子: 南魚沼市行政広報誌 3 月号, 魚沼市行政広報誌 3 月号, 湯沢町行政広報誌 3 月号魚沼コホート住民向け研究活動報告書.
- 8) 竹原祥子: 魚沼基幹病院職員向けの広報誌 3 月号, 魚沼コホート住民向け研究活動報告書.

【研究費獲得】

- 1) 小川祐司: 糖尿病の心筋梗塞リスクに対する抗菌的歯周治療の有用性に関するランダム化比較試験基盤研究(C), 23K09478, 2025.
- 2) 小川祐司, 竹原祥子, 金子 昇, 皆川久美子, 高 昇将, Kaung Myat Thwin, 星野剛志, 田村浩平, 大久保 光: 8020 達成が超高齢期の NCDs 発症予防、フレイル対応、QOL に及ぼす影響について 8020 推進財団 指定研究, 2025.
- 3) 竹原祥子: 歯科標榜のない病院における歯科医療提供体制: 多職種協働による口腔管理モデルの構築, 勇美記念財団 在宅医療推進のための調査研究等への助成, 2025.
- 4) 竹原祥子: 歯科標榜のない病院における入院患者に対する歯科介入の取り組み事例の分析, 公益財団法人 8020 推進財団 8020 研究事業 公募研究, 2025.
- 5) 金子 昇, 濃野 要: 口腔細菌叢のメタゲノム解析による口臭症の病態解明. 日本学術振興会科学研究

費補助金 基盤研究(C), 22K10338, 2025.

- 6) Thwin KM : Development and efficacy assessment of an oral health education program for older adults with depressive symptoms in Myanmar. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K20102, 2025.
- 7) Thwin KM : Fostering healthy preschool initiatives in Myanmar: A school-centred multidimensional approach. The Borrow Foundation, J24G0163, 2025.
- 8) 高 昇将: 保湿作用と抗菌作用を両立したセルローズナノファイバーを用いた新規義歯安定剤の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K19941, 2025.
- 9) 皆川久美子: 唾液検査と質問紙調査を併用した糖尿病患者の歯周病スクリーニング方法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K20099, 2025.
- 10) 星野剛志: 高齢者に対するモバイル端末のテキストメッセージを活用した口腔衛生指導の有効性検証 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16218, 2025.
- 11) 田村浩平: 過疎地域の高齢者に対する ICT を用いた双方向型口腔保健指導ツールの考案. 日本学術振興会科学研究費助成事業 若手研究, 25K20473, 2025
- 12) 永島和裕: 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト, 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 次世代研究者挑戦的研究プログラム, 2025.
- 13) Tassanapong N : Oral Hypofunction Across Borders. FUTOKUKAI Foundation Grants, J25G0165, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Thwin KM: Research Proposal Writing Webinar Seminar. Myanmar Association of Japan Alumni, MAJA Education Center, Yangon, Myanmar, March 7-8, 2026.
- 2) Ogawa H: Oral health for older people -challenge in Asia-. Workshop On Geriatric Dentistry "Geriatric Oral Health Assessment In Asia", Yogyakarta, Indonesia, January 23-24, 2026.
- 3) Hoshino T: Questionnaire survey of oral functional status in Asia. Workshop On Geriatric Dentistry "Geriatric Oral Health Assessment In Asia", Yogyakarta, Indonesia, January 23-24, 2026.
- 4) Thwin KM: Early-life Intervention for Better Oral Health: Lessons from Japan's School Oral Health Promotion. DPH Webinar Series of Faculty of Dentistry at Universiti Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia, November 21, 2025.
- 5) Ogawa H: Country impact case study. Fifth Regional

Forum of WHO Collaborating Centre in the Western Pacific, Manila, Philippines, November 5, 2025.

- 6) Thwin KM: Basic Research Methodology and Proposal Writing: from Idea to Approval. CDE Talk of University of Dental Medicine, Mandalay, Myanmar, September 30, 2025.
- 7) Thwin KM: Research Proposal Writing and Basic Research Methodology. Special Seminar of Myanmar Association of Japan Alumni, MAJA Education Center, Yangon, Myanmar, September 27, 2025.
- 8) Ogawa H: An update on the phase-down and elimination of dental amalgam by 2030. National Institute for Minamata Disease forum, Minamata, September 27, 2025.
- 9) Ogawa H: What is optimal oral health for older people to achieve healthy aging? Hong Kong International Dental Expo and Symposium 2025, Hongkong, China, August 22, 2025.
- 10) Ogawa H: WHO's Global Oral Health Agenda and Action Plan for 2030. 80th Anniversary of Dental Services, Department of Health, Hong Kong, China Celebration Symposium, Hongkong, China, June 14, 2025.
- 11) 小川祐司: Phasing out of dental amalgams use in Japan, as part of SDGs achievements. 第25回日本歯科医学会 国際セッションオンライン, 2025年9月.
- 12) 小川祐司: アフリカにおける口腔保健プロジェクト. 第9回アフリカ開発会議 (TICAD9) テーマ別イベント, 2025年8月.
- 13) 竹原祥子: NPO 法人 歯科保健医療国際協力協議会 (JAICOH) 「東アフリカにおける地域歯科保健医療活動の問題点」, 2025年11月.

【学会発表】

- 1) Valenzuela O, Minagawa K, Kaname N, Ogawa H: Periodontitis and tooth number as predictors of functional independence at age 90. 2026 IADR/AADOCR/CADR General Session & Exhibition, San Diego, California, March 25-28, 2026.
- 2) Tassanapong N, Thwin KM, Han PH, Ogawa H: Association between Multiple Psychological Symptoms and Multi-Dimensional of Oral Health-Related Quality of Life in Myanmar Adults. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia. February 8-9, 2026.
- 3) Han PH, Thwin KM, Lin WT, Takehara S, Ogawa H: Association between Snacking Behaviors and Early Childhood Caries among Myanmar Preschool Children: A Cross-Sectional Study. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia. February 8-9, 2026.
- 4) Tun TZ, Thwin KM, Takehara S, Ogawa H: Depressive Symptoms and Oral Health in Japanese Older Adults. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia. February 8, 2026.
- 5) Thwin KM, Tassanapong N, Han PH, Ogawa H: Association between cognitive function and multi-dimensional oral health-related quality of life among Myanmar adults. The 36th Annual Scientific Conference of South-East Asia Association for Dental Education, Taipei, Taiwan. November 7, 2025.
- 6) Thwin KM, Lin WT, Han PH, Takehara S, Ogawa H: Parental socioeconomic determinants of early childhood caries among Myanmar preschool children: A cross-sectional study. The 36th Annual Scientific Conference of South-East Asia Association for Dental Education, Taipei, Taiwan. November 7, 2025.
- 7) Thwin KM: Association between dry eye and periodontal disease in community-dwelling Japanese adults: data from the Uonuma cohort study. The 79th Annual Congress of Japan Clinical Ophthalmology, Osaka, Japan. October 9, 2025.
- 8) Thwin KM, Takehara S, Ogawa H: Effects of COVID-19 Hospitalization and Psychological Factors on Oral Health-Related Quality of Life. The 25th Scientific Meeting of the Japanese Association for Dental Science, Yokohama, Japan. September 8, 2025.
- 9) Thwin KM, Lin WT, Takehara S, Ogawa H: Association between Multiple Psychological Symptoms and Severe Periodontitis among Myanmar Adults. The 17th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry, Bali, Indonesia. September 2-4, 2025.
- 10) Okubo H, Soyama Y, Takehara S, Kaneko N, Ogawa H: Risk Factors for Incident Decayed Teeth Among Japanese Workers: A 2-Year Follow-up Study Using Dental Checkup Data. The 17th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry, Bali, Indonesia. September 2-4, 2025.
- 11) Ramadhani A, Minagawa K, Takehara S, Kaneko N, Yamada T, Kitazawa M, Sone H, Fitrah YA, Nohno K, Ogawa H: MCI risk in diabetic patients with

- periodontitis: An exploratory study. 103rd General Session & Exhibition of the IADR, Barcelona (Spain), June 25-28, 2025.
- 12) Minagawa K, Ramadhani A, Okubo H, Nohno K, Takehara Ogawa H: Relationship Between LAB and Adiponectin Following Periodontal Treatment in Type 2 Diabetes Patients. 103rd General Session & Exhibition of the IADR, Barcelona (Spain), June 25-28, 2025.
 - 13) 清原宏之, 清水栄一, 牧野由佳, 竹原祥子, 江上由里子, 小川祐司: ケニア・タンザニア・ザンビアにおける一次医療レベルの口腔保健サービス提供と課題. 第40回日本国際保健医療学会学術大会, 東京都, 2025年11月1-2日.
 - 14) 伊藤加代子, 船山さおり, 濃野 要, 勝良剛詞, 金子 昇, 田中恵子, 井上 誠: 口腔乾燥症専門外来における漢方薬使用および効果に関する検討. 三学会合同学術大会 (第45回日本歯科薬物療法学会, 第43回日本歯科東洋医学会, 第34回日本口腔感染症学会), 東京, 2025年10月18-19日, 三学会合同学術大会抄録集, 2025.
 - 15) 星野剛志, 金子 昇, 葭原明弘, 岩崎正則, 諏訪間加奈, 小川祐司: 高齢者における血漿中抗 *Porphyromonas gingivalis* 抗体価と孤立性収縮期高血圧との関連. 第25回日本歯科医学会学術大会, 横浜市, 2025年9月26-28日, 日本歯科医師会雑誌, 78(4): 366, 2025.
 - 16) 田村浩平, 濃野 要, 小川祐司: 地域在住80歳健康高齢者における咬合支持喪失と10年生存率との関連. 第25回日本歯科医学会学術大会, 横浜市, 2025年9月26-28日, 日本歯科医師会雑誌, 78(4): 363, 2025.
 - 17) 大久保 光, 曾山善之, 金子 昇, 竹原祥子, 小川祐司: 製造業事業所における交替勤務と歯周病の関連について. 第25回日本歯科医学会学術大会, 横浜市, 2025年9月26-28日, 日本歯科医師会雑誌, 78(4): 361, 2025.
 - 18) 伊藤加代子, 濃野 要, 船山さおり, 金子 昇, 田中恵子, 井上 誠: 口腔乾燥症の知識および受診行動に関するWeb調査. 第35回日本口腔内科学会・第38回日本口腔診断学会, 仙台市, 2025年9月5-7日, 日本口腔内科学会・日本口腔診断学会抄録集, 80, 2025.
 - 19) 諏訪間加奈, 岩崎正則, 伊藤由美, 中村夢衣, 柴田佐都子, 竹原祥子, 葭原明弘: 食事摂取におけるNa/K比と現在歯数との関連第二報: 調味料・食品との関連. 第74回日本口腔衛生学会学術大会一般口演, 新潟市, 2025年5月18日.
 - 20) 中村夢衣, 岩崎正則, 伊藤由美, 諏訪間加奈, 柴田佐都子, 竹原祥子, 葭原明弘: 食事摂取におけるナトリウム/カリウム (Na/K) 比と現在歯数との関連 (魚沼コホート研究) 第一報. 第74回日本口腔衛生学会学術大会一般口演, 新潟市, 2025年5月18日.
 - 21) 大久保 光, 曾山善之, 金子 昇, 竹原祥子, 小川祐司: 事業所内歯科診療所にて実施した歯科健診事後措置に関するアンケート調査. 令和7年度第36回甲信越北陸口腔保健研究会総会・学術大会, 新潟市, 2025年5月17日, 口腔衛生会誌, 75(3): 178, 2025.
 - 22) 高 昇将, 青柳裕仁, 木村龍弥, 三井田慶斗, 金谷貢, 魚島勝美: セルロースナノファイバーの添加量が義歯安定剤の粘着強さにおよぼす影響について. 日本歯科理工学会第83回学術講演会, 愛知, 2025年4月19-20日.
 - 23) Ramadhani A, Minagawa K, Takehara S, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: The Changes in Mild Cognitive Impairment (MCI) Blood-Based Biomarkers Following Scaling with and without Local Antibiotic Adjunct in Periodontitis Patients with Type 2 Diabetes Mellitus (T2DM). 令和7年度新潟歯学会総会, 新潟市, 2025年4月12日, 新潟歯学会誌, 55(1): 22-23, 2025.
 - 24) Chairunisa F, Takehara S, Nohno K, Ogawa H: Longitudinal study of the association between periodontal disease and aspartate aminotransferase (AST) among Japanese older adults. 令和7年度新潟歯学会総会, 新潟市, 2025年4月12日, 新潟歯学会誌, 55(1): 23, 2025.
 - 25) 中村夢衣, 諏訪間加奈, 柴田佐都子, 竹原祥子, 葭原明弘: 地域住民でのナトリウム, カリウム食事摂取量と現在歯数との関連. 第58回新潟歯学会総会, 新潟大学, 新潟市, 2025年4月12日.
- 【受賞】**
- 1) Ogawa H: 2026 IADR Distinguished Service Award, 104th IADR/AADOCR/CADR General Session & Exhibition, March 25, 2026.
 - 2) Thwin KM: Association between dry eye and periodontal disease in community-dwelling Japanese adults: data from the Uonuma cohort study. The 79th Annual Congress of Japan Clinical Ophthalmology, Dry Eye Society, Dry Eye Research Award 2025, October 9, 2025.
 - 3) Valenzuela O: Effectiveness of Antibiotic Periodontal Treatment on Volatile Sulfur Compound Levels in Diabetic Patients. the Best Country-Regional Award from the Asian Academy of Preventive Dentistry (AAPD) Conference
 - 4) 星野剛志: 高齢者における血漿中抗 *Porphyromonas*

gingivalis 抗体価と孤立性収縮期高血圧との関連. 第25回日本歯科医学会学術大会 ポスター賞 若手研究者部門, 2025年9月28日.

- 5) 高 昇将: セルロースナノファイバーの添加量が義歯安定剤の粘着強さにおよぼす影響について. 日本歯科理工学会第83回学術講演会 企業賞 (クラレノリタケデンタル), 2025年4月19日.

【その他】

- 1) Thwin KM: “Advancing Global Oral Health: Insights from WHOCC at Niigata University”. Inbound undergraduate students of the student exchange program of the Niigata University, March 13, 2026.
- 2) Thwin KM: Consultant for future studies in Japan and research proposal writing for scholarships. Education Event of Myanmar Association of Japan Alumni, MAJA Education Center (Online Event), March 7-8, 2026.
- 3) Thwin KM: Organizing Committee and Contact Person. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia, February 8-9, 2026.
- 4) Thwin KM: Chairperson of a poster presentation session. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia, February 9, 2026.
- 5) Takehara S: Training for Trainers (primary health workers), Tanzania, January 19-21, 2026.
- 6) Takehara S: Training for Trainers (primary health workers), Kenya, January 14-16, 2026.
- 7) Ogawa H: Brief tobacco interventions (5Rs). FDI NDA Workshop, Kuala Lumpur, Malaysia (online), December 16, 2025.
- 8) Thwin KM: Poster “Division of Preventive Dentistry”. The 60th Anniversary of Faculty of Dentistry, Niigata University, November 1, 2025.
- 9) Okubo H, Thwin KM, Takehara S, Ogawa H: Preparation group for WHO CC Poster 2025, October 27, 2025.
- 10) Thwin KM: “Advancing Global Oral Health: Insights from WHOCC at Niigata University”. Inbound undergraduate students of the student exchange program of the Niigata University, October 7, 2025.
- 11) Takehara S: Training for Trainers (primary health workers), Zambia, September 15-17, 2025.
- 12) Hoshino T: Lecture on “Oral Functional Status in Asia”. Inbound visit program of the Malaya University’s participants to Niigata University, Niigata, July 24, 2025.
- 13) Minagawa K : Lecture on “Child Health Management & Dental Care in Early Childhood”. Inbound visit program of the Malaya University’s participants to Niigata University, Niigata, July 23, 2025.
- 14) Thwin KM: Coordinator and Contact Person. Inbound visit program of the Malaya University’s participants to Niigata University, July 21-25, 2025.
- 15) Thwin KM: Lecture on “Current Activities of WHOCC Niigata University”. Inbound visit program of the Malaya University’s participants to Niigata University, July 22, 2025.
- 16) Okubo H, Thwin KM, Takehara S, Ogawa H: Preparation group for WHO CC Annual Report for the 2024-2025, July 12, 2025.
- 17) Thwin KM: Coordinator and Contact Person. Inbound visit program of the Chulalongkorn University’s undergraduate students to Niigata University, June 2-4, 2025.
- 18) Thwin KM: Lecture on “Current Activities of WHOCC Niigata University”. Inbound visit program of the Chulalongkorn University’s undergraduate students to Niigata University, June 2, 2025.
- 19) Ishida Y, Thwin KM, Ogawa H: Coordinating group for the student exchange programs of the Niigata University, Faculty of Dentistry, June 1, 2025-March 31, 2026.
- 20) Thwin KM: Lecture on “Current Activities of WHOCC Niigata University”. Inbound visit program of the Universiti Kebangsaan Malaysia’s participants to Niigata University, May 29, 2025.
- 21) Minagawa K : Lecture on “Child Health Management & Dental Care in Early Childhood”. Inbound visit program of the Universiti Kebangsaan Malaysia’s participants to Niigata University, Niigata, May 29, 2025.
- 22) Hoshino T: Lecture on “Oral Functional Status in Asia”. Inbound visit program of the Universiti Kebangsaan Malaysia’s participants to Niigata University, Niigata, May 28, 2025.
- 23) Thwin KM: Coordinator and Contact Person. Inbound visit program of the Universiti Kebangsaan Malaysia’s participants to Niigata University, May 26-30, 2025.
- 24) Thwin KM: Lecture on “Current Activities of WHOCC Niigata University”. Inbound visit program of the Malmo University’s participants to Niigata University, May 20, 2025.
- 25) Thwin KM: Coordinator and Contact Person. Special lecture program of the Yonsei University’s participants to Niigata University, May 16, 2025.
- 26) Thwin KM: 新潟大学国際連携活動データベース 「ミャンマーにおける研究について」 2025年11

月.

- 27) 田村浩平, 濃野 要, 小川祐司: 歯を失うと寿命にも影響? 80 歳女性で“咬合支持”の重要性が明らかに. HealthDay Japan 国内ニュース, 2025 年 11 月 4 日.
- 28) 小川祐司: 国際交流活動の現状と展望. 新潟大学歯学部創立 60 周年記念講演会, 新潟市, 2025 年 11 月 1 日.
- 29) 小川祐司: UHC とオーラルヘルス課題と今後. 第 25 回深井健康科学研究所コロキウム, 東京, 2025 年 10 月 26 日.

う蝕学分野

【論文】

- 1) Asahi Y, Kuriki N, Okamoto M, Motooka D, Nakamura S, Maezono H, Kittipit Klanliang, Shimaoka T, Iida T, Ebisu S, Noiri Y, Hayashi M: Microbiome of apical intracanal and extraradicular biofilms from the same roots of teeth with persistent apical periodontitis: an observational study. *Int Endod J*, 59(5), 806-818, 2026.
- 2) Baldeon-Gutierrez R, Ohkura N, Yoshiba N, Takahara S, Gomez-Kashimoto S, Ida T, Edanami N, Yoshiba K, Takenaka S, Noiri Y: Hyperglycemia in obese type 2 diabetes mellitus rats affects pulp wound healing. *J Oral Biosci*, 67(4): 100683, 2025.
- 3) Edanami N, Yoshiba K, Ibn Belal RS, Yoshiba N, Takenaka S, Ohkura N, Takahara S, Ida T, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kasimoto S, Thongtade P, Noiri Y: Role of dystrophic calcification in reparative dentinogenesis after rat molar pulpotomy. *Int J Mol Sci*, 26(15): 7130, 2025.
- 4) Takahara S, Ohkura N, Yoshiba N, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kasimoto S, Edanami N, Ida T, Takenaka S, Yoshiba K, Noiri Y: Influence of tooth maturity on healing outcomes in regenerative endodontics. *J Dent Res*, 104(10): 1147-1157, 2025.
- 5) Edanami N, Yoshiba K, Ibn Belal RS, Yoshiba N, Takenaka S, Ohkura N, Takahara S, Ida T, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kasimoto S, Thongtade P, Noiri Y: Expression of small integrin-binding ligand N-linked glycoproteins during early pulp wound healing in rat molars (SIBLNG proteins in early pulp healing). *ODEP*, 5(1): 44-53, 2025.

【商業誌】

- 1) 野杵由一郎: 口腔ケアロボット『g.eN』の歩み. 日

本歯科評論: 85(7) 116-119, 2025.

- 2) 野杵由一郎: 『研究講座』 AI 時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療③ - 第 3 回長生きを切り拓く口腔ケアロボットの未来につながるイベントについて - . 大阪歯科保険医新聞 1545: 4-4, 2026.
- 3) 野杵由一郎: 『研究講座』 AI 時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療 - ②削って詰めるから診て管理するへ - . 大阪歯科保険医新聞 1541: 4-4, 2025.
- 4) 野杵由一郎, 佐藤莉沙子: 新潟大学のう蝕予防プログラム (NUCRA) への唾液のう蝕関連細菌検査「サリバチェックラボ」の活用. *GC サークル* 196: 14-19, 2025.
- 5) 野杵由一郎: 『研究講座』 AI 時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療 - ①Modern endodontics の実際と技術革新後の歯内療法 - . 大阪歯科保険医新聞 1537: 4-4, 2025.
- 6) 野杵由一郎: これからのう蝕予防管理—歯科衛生士の役割と対応. *歯科衛生士だより* 88:1-3, 2025.

【研究費獲得】

- 1) Noiri Y, Takahashi R, Sotozono M, Takenaka S, Komatsu Y: A comprehensive analyses of the microbiome and their function in root caries using a next-generation sequencing. Nakao Foundation Worldwide for Oral Health The 6th Foundation Nakao, J25G0072-2, 2025.
- 2) 竹中彰治, 茂呂寛, 清水詩子, 山村昌平, 瀧脇雄介, 野杵由一郎: 在宅高齢者の誤嚥性肺炎リスクを感知する血中抗体価を指標とした携帯型迅速検査の創出. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (B), 24K02763, 2025.
- 3) 井田貴子, 大倉直人, 野杵由一郎: 細胞外微小環境制御因子としての 5 型コラーゲンを新機軸とした炎症制御機構の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (C), 25K13002, 2025.
- 4) 大倉直人, 立川正憲, 中馬吉郎, 吉羽永子, 竹中彰治: 口腔-脳連関での *P. gingivalis* 外膜小胞の内在化機構および送達経路の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (C), 25K13017 2025.
- 5) 枝並直樹, 野杵由一郎: ラット実験モデルを用いた各種歯内療法後の新生セメント質形成メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (C), 23K09164, 2025
- 6) 竹中彰治, 茂呂寛, 清水詩子, 野杵由一郎: 認知症に対応し在宅看護を支援する感染バイオマーカーの携帯型迅速検査デバイスの開発. 日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的研究 (萌芽), 24K22229, 2025

- 7) 外園真規: *In situ* デンタルバイオフィームモデルを用いたプロバイオティクスの評価. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 24K19874, 2025.
- 8) 永田量子: 磁気ビーズによる口腔ピロリ菌の分離培養法を確立し口腔 *Dysbiosis* を検索する. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 918713, 2025.
- 9) 高原信太郎: 活性酸素種除去剤を併用した異種歯髄幹細胞移植による新規再生歯内療法の開発. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 25K24062, 2025.
- 10) 齋藤瑠郁: 非感染性疾患への応用を見据えた免疫調節作用による新規歯周炎治療薬の開発. 日本学術振興会科学研究費基金 特別研究員奨励費, 25KJ1339, 2025.
- 11) 大倉直人: 細胞外小胞内在化機構を利用した新規薬物輸送技術の創出. 令和7年度新潟大学 U-go グラント, 2025
- 12) 高橋竜平, 竹中彰治, 野村由一郎: 根面う蝕の新規病因論の創出と病態概念のイノベーション研究. 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, J25H0001, 2025.
- 13) 佐藤大地, 外園真規, 野村暢彦, 野村由一郎: *In situ* dental biofilm から得られた外膜小胞 (Membrane vesicle; MV) を標的に病原性バイオフィームの制御を目指す研究. 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, J25H0001, 2025
- 14) 野村由一郎: 長生きを切り拓く一口腔ケアロボットの未来につながる臨床研究を！. クラウドファンディング, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Naoto Ohkura: Analyses of internalization mechanism and transporting pathway of outer membrane vesicles derived from *Porphyromonas gingivalis*. International Collaborative SYMPOSIUM on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, 8-9 February 2026.
- 2) 野村由一郎: 『長生きを切り拓く 口腔ケアロボットの”未来”につながる研究』. 第9回ACFF日本支部総会・特別講演・研究成果報告, 東京, 2026年3月15日.
- 3) 野村由一郎: ・なぜ痛みは起きるのか？—しくみと緩和のヒント 講演2: 『知る・診る・対応する 歯の痛みと象牙質知覚過敏症』. 新潟大学医学部医学科 第13回学外会議 2026, 新潟, 2026年3月7日.
- 4) 野村由一郎: 『歯や口腔の疾患とバイオフィーム—AI時代の口腔疾患の予防と対策—』. 第一三共ヘルスケア株式会社 2025年度研究成果発表会特別講演, 東京, 2026年3月2日.
- 5) 野村由一郎: 講演3: 『長生きを切り拓く一口腔ケアロボットの”未来”につながる包括的検討—』. 第29回日本抗加齢歯科医学研究会, 東京, 2026年2月14日.
- 6) 野村由一郎: 震災時の口と歯のケアに関する講演会. 気仙沼市立中学における口と歯の教育講演会, 気仙沼, 2025年12月1日.
- 7) 野村由一郎: 新潟大学病院歯科におけるう蝕予防管理システムの臨床的評価. 第9回国公立大学歯科臨床研究推進会議, 博多, 2025年9月29日.
- 8) 野村由一郎: AI時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療. 沖縄県歯科医師会 令和7年度歯科医療従事者技術向上支援研修会, 那覇, 2025年9月5日.
- 9) 野村由一郎: AI時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療. 2025年度大阪府歯科保険医協会 特別講演会, 大阪, 2025年7月13日.
- 10) 竹中彰治: デンタルバイオフィーム制御の最前線 II-洗口液の普及トリプルA(3A)-. 第39回日本バイオフィーム学会学術集会ランチョンセミナー, 新潟, 2025年7月6日, 同学術集会プログラム・抄録集: 22頁, 2025.

【学会発表】

- 1) Jutharat Manuschai, Maki Sotozono, Shoji Takenaka, Ryouhei Takahashi, Rui Saito, Daichi Sato, Ryoko Nagata, Takako Ida, Yuichiro Noiri: THE EFFECTS OF PROBIOTIC AND ESSENTIAL SUPPLEMENTS ON PERIODONTITIS-ASSOCIATED BIOFILMS, International Collaborative SYMPOSIUM on Development of Human Research in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, 8-9 February 2026.
- 2) Momoka Kondo, Naoto Ohkura, Mai Inagaki, Shoji Takenaka, Sakura Mana, Masanori Tachikawa: Transport characteristics of periodontal pathogen *P. gingivalis*-derived nanoparticles at the human blood-brain barrier. Cerebral Vascular Biology (CVB) 15th International Conference 2025, Ann Arbor, USA, 2025, June 29-July 2nd, 2025.
- 3) 國友麻友, 大倉直人, 近藤もも香, 矢田浩晃, 稲垣舞, 立川正憲: 歯周病原菌由来外膜小胞の脳内分布: 神経細胞および軟髄膜への集積. 日本薬学会 146年会, 大阪市, 2026年3月29日, 2026.
- 4) 稲垣舞, 大倉直人, 立川正憲: ヒト血液脳関門にお

ける歯周病原性細菌由来ナノ粒子の輸送システム. 第 48 回日本分子生物学会年会, 横浜, 2025 年 12 月 4 日, 2025.

- 5) 佐藤莉沙子, 竹中彰治, 齋藤瑠郁, 野杵由一郎: 新潟大学版う蝕リスク評価法を用いたう蝕予防管理の有効性. 日本歯科保存学会 2025 年度秋期学術大会(第 163 回), 長崎, 2025 年 11 月 7 日, 日本歯科保存学会学術大会プログラム: 82 頁, 2025.
- 6) 高原信太郎, 大倉直人, Rosa Baldeon-Gutierrez, Susan Gomez-Kasimoto, Pemika Thongtade, 竹中彰治, 廣瀬陽菜, 吉羽永子, 松崎英津子, 野杵由一郎: 異種歯乳頭由来幹細胞を用いた再生歯内療法における有用性の評価. 日本歯科保存学会 2025 年度秋季大会 (第 163 回), 長崎, 2025 年 11 月 6 日, 2025 年度秋季大会 (第 163 回) プログラム: 79 頁, 2025.
- 7) 大倉直人, 立川正憲, 大嶋淳, Rosa Edith Baldeon Gutierrez, 高原信太郎, Susan Gomez Kasimoto, 竹中彰治, 吉羽永子, 野杵由一郎: *P. gingivalis* 由来外膜小胞の内在化機構および輸送経路の同定. 第 68 会秋期日本歯周病学術大会, 新潟, 2025 年 10 月 17 日, 日本歯周病学会誌 67 巻 suppl-2 号, 141 頁, 2025.
- 8) Pemika Thongtade, 大倉直人, 佐藤友里恵, Rosa Baldeon-Gutierrez, 高原信太郎, Meiwan Fang, Meircurius Surboyo, Susan Gomez-Ksimoto, 吉羽永子, 野杵由一郎: Wound healing reaction after pulpotomy of maxillary molars in SARM1 knockout rats. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025 年 9 月 7 日, 第 67 回歯科基礎医学会学術大会抄録集 77 頁, 2025.
- 9) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 磯野俊仁, 寺尾豊: マクロライド誘導体 EM982 の Toll-like receptor 2 シグナルに対する作用解析. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025 年 9 月 5-7 日, 同学術大会抄録集: 119 頁, 2025.
- 10) 大倉直人, 井田貴子, 山本信一, 竹中彰治, 野杵由一郎: 高齢者へのう蝕処置に対して全部断髄を行った 1 症例. 第 46 回日本歯内療法学会学術大会, 塩尻, 2025 年 7 月 19-20 日, 日本歯内療法学会学術プログラム・抄録集, 116 頁, 2025.
- 11) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 竹中彰治, 野杵由一郎, 寺尾豊: エリスロマイシンを改変した免疫調節薬の開発研究. 令和 7 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2025 年 7 月 12 日, 新潟歯学会雑誌 55(2): 19-20 頁, 2025.
- 12) 佐藤大地, 大倉直人, 外園真規, Rosa Baldeon-Gutierrez, Susan Gomez-Kasimoto, 高原信太郎, Jutharat Manuschai, 井田貴子, 竹中彰治, 野杵由一郎: ヒト歯髄幹細胞およびマウス前骨芽細胞における歯周病関連細菌 *Porphyromonas gingivalis*,

Fusobacterium nucleatum が放出する外膜小胞の内在化機構解析. 第 39 回日本バイオフィルム学会学術集会, 新潟, 2025 年 7 月 6 日, 第 39 回日本バイオフィルム学会学術集会プログラム・抄録集: 46 頁

- 13) Susan Gomez-Kasimoto, Naoto Ohkura, Rosa Baldeon-Gutierrez, Shintaro Takahara, Takako Ida, Naoki Edanami, Shoji Takenaka, Nagako Yoshiba, Yuichiro Noiri: Impact of high Glucose on differentiative potency in periodontal ligament cells and dental pulp stem cells. 日本歯科保存学会 2025 年度春季大会 (第 162 回), 松山, 2025 年 6 月 6 日, 2025 年度春季大会 (第 162 回) プログラム: 73 頁, 2025.
- 14) 井田貴子, 大倉直人, Gomez Kasimoto Susan Kiara, Rosa Baldeon-Gutierrez, 枝並直樹, 竹中彰治, 野杵由一郎: 歯根膜における 5 型コラーゲンの組織学的解析, 日本歯科保存学会 2025 年度春季大会 (第 162 回), 松山, 2025 年 6 月 5-6 日, 2025 年度春季大会 (第 162 回) プログラム: 23 頁, 2025.
- 15) 佐藤莉沙子, 外園真規, 野杵由一郎: 全自動歯ブラシ g.eN の有用性とマウススクリーンジェル(MA-T®) の効果に関する研究. 第 68 回春季歯周病学会学術大会, 那覇, 2025 年 5 月 24 日, 日本歯周病学会誌 第 67 巻(春季特別号): 150 頁, 2025.

【研究会発表】

- 1) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 磯野俊仁, 寺尾豊: 免疫調節作用を有するエリスロマイシン誘導体の探索とその作用解析. 第 10 回口腔微生物研究会, 北九州, 2025 年 9 月 8 日.

【受賞】

- 1) 高原信太郎: Influence of Tooth Maturity on Healing Outcomes in Regenerative Endodontics.新潟大学学生優秀論文賞, 新潟大学研究推進機構, 2025 年 8 月 7 日
- 2) 大倉直人: SVCT2-GLUT1 mediated ascorbic acid transport pathway in rat dental pulp and its effects during wound healing. 2025 年度 日本歯科保存学会学術賞, 2025 年 6 月 5 日.
- 3) 大倉直人: 歯髄創傷治癒および歯髄再生過程におけるリン酸トランスポーター(Pit-1)の免疫組織学的解析. 2025 年度 日本歯科保存学会 ジーシー優秀論文賞, 2025 年 6 月 5 日.
- 4) 齋藤瑠郁: 日本歯科保存学会 奨励賞, 2025 年 6 月 5 日.
- 5) Rosa Baldeon-Gutierrez : Wound-healing Processes After Pulpotomy in the Pulp Tissue of Type 1 Diabetes Mellitus Model Rats. Ashraf F. Fouad Basic Science

小児歯科学分野

【著書】

- 1) 大島邦子ほか:小児在宅歯科医療の手引き 第2版. 公益社団法人 日本障害者歯科学会 診療ガイドライン作成委員会, 医歯薬出版, 東京, 2025.
- 2) 福井朝望ほか:口腔機能発達不全症の診断(離乳完了後). 患者にしっかり説明できる口腔機能発達不全症読本, 42-72頁, クインテッセンス出版, 東京, 2025.
- 3) 早崎治明:第63回日本小児歯科学会大会② 生涯の確かな礎を目指して 小児歯科を取り巻く環境の変化 - 歯科衛生士の人材育成と市場の現状 -. 月刊小児歯科臨床 12月号, 22-27頁, 東京臨床出版, 東京, 2025.
- 4) 福井朝望ほか:口腔機能発達不全症についての取り組み. 日本アンチエイジング学会 学会誌華齡 vol.18 総説2, 27-30頁, 2025.12 学会 HP 掲載
- 5) 大島邦子:重症心身障害, 感覚器障害および発音・構音障害. 歯科衛生士講座 障害者歯科学 第4版, (野本たかと 他編), 36-37頁, 48-50頁, 永末書店, 京都, 2026.
- 6) 中村由紀:26 小児歯科・口腔外科疾患 口臭. 今日の小児治療指針 第18版(伊藤秀一 他編), 904頁, 医学書院, 東京, 2026.

【論文】

- 1) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Quispe-Salcedo A, Okada Y, Sato T, Ohshima H: Intentionally perforating the pulp chamber floor promotes M2 macrophage polarization in the dental pulp following tooth replantation in mice. *J Oral Biosci* 67(3): 100681, 2025.
- 2) Tsukuno S, Nakamura Y, Nakajima T, Sasakawa Y, Hozawa M, Sotome T, Yonemoto Y, Imamura T, Hayasaki H: Food-capture patterns and their influence on respiratory behavior. *Appetite* 214: 108189, 2025.
- 3) Kusashio N, Hasegawa Y, Yoneda H, Shiramizu M, Nakamura Y, Yamamoto T, Ono T: The Impact of Asymmetrical Occlusion on Children in the Mixed Dentition Period: A Cross-Sectional Study. *Int J Paediatr Dent* 36(2): 288-297, 2026.

【研究費獲得】

- 1) 大島邦子, 早崎治明, 大島勇人, 佐野拓人: 再植歯の人為的髄床底穿孔と神経伝達シグナル調節によ

る歯髄再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09411, 2025.

- 2) 朴沢美生: 複合センサを用いた口腔内圧のコントロールと口唇の発達変化の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 23K19683, 2025.
- 3) 築野沙絵子: 小児において食品の種類や摂取方法は捕食時呼吸運動に影響を及ぼす. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 24K20076, 2025.
- 4) 松原まなみ, 早崎治明, 中村由紀: 早産児の口腔発達支援プログラムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K10901, 2025.
- 5) 中村由紀: 離乳食の『食べ方』支援を強化するスマートフォン画像解析評価システムの構築. 令和7年度 JSPF 研究助成, 2025.
- 6) 清水唯菜: 口腔衛生指導がもたらす一時保護施設入所児のセルフ・エスティーム向上の可能性. 公益財団法人富徳会研究助成 歯科衛生学および歯科衛生教育学研究者研究助成金, 2025.
- 7) 高野聖真: RGB-D カメラを用いた摂食時口唇運動の客観評価. 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト(次世代プロジェクト) 研究費, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 中村由紀: 我々の一時保護施設における口腔衛生支援 - 実践と展望 -. 第10回日本子ども虐待防止歯科研究会・学術大会, 新潟, 2025年11月30日, 同学術大会プログラム・抄録集: 10頁, 2025.

【学会発表】

- 1) Fukui A, Hori Y, Terajima M, Bando R, Kiyokawa Y, Ibano N, Iwase Y, Saitoh I: Oral management in childhood using oral function training, lingual frenotomy, and a tongue crib. Korean Academy of Pediatric Dentistry 2025 Conference, Seoul, South Korea, 2025年4月26-27日, 2025.
- 2) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Quispe-Salcedo A, Okada Y, Sato T, Ohshima H: Early revascularization promotes M2 macrophage polarization following tooth replantation. 2025 IADR APR Conference & 35th ISDR Conference, New Delhi, India, 2025年9月18-21日, 2025.
- 3) Fukui A, Kajimoto K, Ohshima A, Mizuno N, Terajima M, Iwase Y, Saitoh I: A Case of Oral Function Management After Early Occlusal Treatment for a Child with Functional Class III Malocclusion. International

Association of Pediatric Dentistry, Cape Town, Republic of South Africa, 2025年10月22-25日, 2025.

- 4) Kusashio N, Hozawa M, Sotome T, Nakajima T, Takano S, Yonemoto Y, Nakamura N, Hayasaki H: Assessment of intervention effects on lip closure training using a composite sensor. 第63回日本小児歯科学会大会, 新潟, 2025年5月29-30日, 小児歯誌 63(大会抄録号): 305頁, 2025.
- 5) 中村由紀, 清水唯菜, 大島邦子, 早崎治明: 咽頭絞扼反射による義歯製作に苦慮した低汗性外胚葉形成不全症児の1例. 第63回日本小児歯科学会学術大会, 新潟, 2025年5月29-30日. 小児歯誌 63(大会抄録号) 29頁, 2025.
- 6) 築野沙絵子, 中村由紀, 中島 努, 笹川祐輝, 福地憲太, 米本裕貴, 早崎治明: 捕食パターンに応じた呼吸運動の変化. 第63回日本小児歯科学会大会, 新潟, 2025年5月29-30日, 小児歯誌 63(大会抄録号): 145頁, 2025.
- 7) 中島 努, 高野聖真, 米本裕貴, 中村由紀, 福地憲太, 草塩奈央, 早崎治明: RGB-Dカメラを用いた口唇の三次元動作解析手法の開発. 第63回日本小児歯科学会大会, 新潟, 2025年5月29-30日, 小児歯誌 63(大会抄録号): 146頁, 2025.
- 8) 福井朝望, 梶本京子, 大島亜希子, 水野憲子, 寺嶋雅彦, 岩瀬陽子, 齋藤一誠: 早期咬合治療後に口腔機能管理を行った1例. 第63回日本小児歯科学会大会, 新潟, 2025年5月29-30日, 小児歯誌 63(大会抄録号): 230頁, 2025.
- 9) 近藤淳子, 坂本裕里子, 筒井亜香里, 中村夢衣, 清水唯菜, 朴沢美生, 中村由紀, 早崎治明: 低ホスファターゼ症兄妹児に対する長期口腔管理の2例. 第63回日本小児歯科学会大会, 新潟, 2025年5月29-30日, 小児歯誌 63(大会抄録号): 237頁, 2025.
- 10) 山本耕大, 今村 孝, 草塩奈央, 中村由紀: スプーン内の離乳食残量の数値化に向けたデータ収集方法の検討とデータ前処理システムの構築. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門講演会, 山形, 2025年6月4-6日, ロボティクス・メカトロニクス講演会講演概要集 2025 巻: 2P2-O08, 2025.
- 11) 米本裕貴, 中島 努, 中村由紀, 早崎治明: 箸と茶碗を用いた摂食における利き手と非利き手の協調運動. 令和7年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2025年7月12日, 新潟歯学会誌 55(2): 21-22頁, 2025.
- 12) 腰越佐和子, 中島 努, 中村由紀, 早崎治明: 自食時のスプーン操作と頭部・体幹姿勢の協調: 小児と成人の比較. 令和7年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2025年7月12日. 新潟歯学会誌 55(2): 22頁, 2025.

- 13) 小松明衣, 今村 孝, 佐藤拓実, 中村由紀: 口腔衛生指導におけるリアルタイム視覚情報提示システムの構築. 2025年度電子情報通信学会信越支部大会, 長岡, 2025年9月20日.
- 14) 松原まなみ, 八巻和子, 中井愛, 尾関久子, 小松岳, 堀部めぐみ, 海原康孝, 中村由紀, 齋藤一誠: 新生児の口腔機能発達支援を目的としたケアの実施状況 ~全国周産期センターNICU/GCUの実態調査~. 第66回日本母性衛生学会学術集会, 東京, 2025年10月10-11日, 母性衛生 66(3):259頁, 2025.
- 15) 松原まなみ, 宇田川直子, 柳本朋子, 亀井百恵, 萩原由実子, 中村由紀, 海原康孝, 齋藤一誠, 早崎治明: 乳幼児における口腔機能の発達と咀嚼の問題に関する実態調査. 第66回日本母性衛生学会学術集会, 東京, 2025年10月10-11日, 母性衛生 66(3):273頁, 2025.
- 16) 朴沢美生, 中村由紀, 中島 努, 笹川祐輝, 築野沙絵子, 五月女哲也, 草塩奈央, 早崎治明: 複合センサーを用いた小児の洗口時の口腔機能評価. 第43回日本小児歯科学会北日本地方会, 札幌, 2025年10月11日, 小児歯誌 64(地方会抄録号): 9頁, 2026.
- 17) 磯邊嘉葉, 今村 孝, 中島 努, 中村由紀: 小児期口唇形状計測に向けたRGB顔画像セグメンテーションモデルの構築と歯科医による精度評価. 第26回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会, 広島, 2025年12月10-12日.

【受賞】

- 1) 磯邊嘉葉, 今村 孝, 中島 努, 中村由紀: 小児期口唇形状計測に向けたRGB顔画像セグメンテーションモデルの構築と歯科医による精度評価. 第26回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 優秀講演賞, 2025年12月10-12日.

生体歯科補綴学分野

【著書】

- 1) 加来賢: ブリッジの設計. クラウンブリッジ補綴学 第7版 (小川匠 他編), 112-116, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2026.
- 2) 秋葉陽介: 厚生労働科学研究班による金属アレルギー診療と管理の手引き 2025, 「金属アレルギー診療と管理の手引き 2025」検討委員会, 33-38頁, 藤田医科大学総合アレルギーセンター, 東京, 2025.
- 3) 秋葉陽介: 歯の移植・再植 Q&A (秋葉陽介 他編), 119-121, 131-134, 142-146, 147-148頁, デンタルダイ

ヤモンド社, 東京, 2025.

【論文】

- 1) Luai AF, Zawawi NDA, Rusli F, Lin GSS, Nagasawa M, Rani H, Park YS, Dom TNM, Kadir RA: Impact of Virtual Reality and Haptic Simulators in Dental Education and Training Among Dental Students: An Umbrella Review. *Eur J Dent Educ Online* ahead of print, 2026.
- 2) Kobayashi M, Dobashi A, Phyu HP, Ono Y, Kaku M. Laminin 411 is the predominant laminin isoform in mouse periodontal ligament cells and facilitates cell adhesion and proliferation via integrin $\alpha 6\beta 1$. *Biochem Biophys Res Commun*. 794:153077, 2026.
- 3) Thant L, Dobashi A, Kitami M, Phyu HP, Kobayashi M, Ono Y, Kakihara Y, Matsumoto M, Kaku M. Chemical Digestion-Assisted Proteomics Reveals the Extracellular Matrix Profile of Human Periodontal Ligament and its Alterations in Cultured Cell-Derived Extracellular Matrix. *Mol Cell Proteomics*. 24(12):101460, 2025.
- 4) Felszeghy S, Kada A, Jackson A, Didilescu A, Quinn B, Meisha D, Pasqualini D, Valenzuela DAP, Adanir N, Cuellar EC, Spagnuolo G, Rederiene G, Gul G, Duncan H, Ahmed HMA, Pesce JAT, Ahmed K, Andriukaitiene L, Zadrožny L, Ponto-Wolska M, Cox MJ, Pino MFS, Hopp MPR, Nagasawa M, Pang M, Liukkonen M, Mutluay M, Manchorova N, Flacco N, Arrouf NE, Barakat NW, Huhtela O, Lingström P, Byrne S, Zafar S, Bencharit S, Bergman S, Örtengren U, Chau RCW: Beyond the Drill: Can Digital Gadgets Redefine the Future of Dental Education? *Eur J Dent Educ Online* ahead of print, 2025.
- 5) Zhang T, Nagasawa M, Koide H, Kooanatkul C, Nila T, Uoshima K. Recruitment of Rat Bone Marrow-Derived Cells to Dental Implants Immediately After Installation. *J Oral Implantol Online* ahead of print, 2025.
- 6) Sáez-Chandía J, Castillo-Quispe S, Okamoto K, Kurahashi A, Kodaira K, Aihara K, Suzuki-Barrera K, Kaku M, Mikami Y, Terunuma M, Yamamura K, Hayashi T, Saeki M, Kakihara Y. Effects of Freeze-Dried Sake Lees and Rice Koji Extract on Osteoporosis in a Postmenopausal Mouse Model. *Nutrients*. 17(19):3077, 2025.
- 7) Chau RCW, Neshka M, Pantea M, Rampf S, Liukkonen M, Rice DP, Morton D, Bandiaky ON, Nagasawa M, Bágyi K, Quinn BF, Carramolino-Cuéllar E, Galán-Gil S, Flacco N, Pasqualini D, Shazib MA, Schick SG, Yarmukhamedov B, Ackerman K, Arias-Herrera S, Palotie UE, Kada AA, Bouyahyaoui N, Quenta-Silva E, Rederiene G, Arrouf NE, Rodríguez-Hopp MP, Suominen AL, Edgar H, Shanks N, Jackson A, Hendron B, Usta SN, Lingström P, Örtengren U, Maggio M, Sondagar N, Abuzaid MM, Ponto-Wolska M, Lam WYH, Regulski PA, Huhtela O, Zadrožny L, Pang M, Bergman S, Felszeghy S, Bencharit S, Sittoni-Pino MF: Shaping the Future of Dentistry: How Digital VR-Haptic Thinkers Are Revolutionizing Education by Thinking Big for Better Future in Oral Care. *Eur J Dent Online* ahead of print, 2025.
- 8) Chau RCW, Felszeghy S, Sittoni-Pino MF, Arias-Herrera S, Bencharit S, Maggio M, Mutluay M, Rice DP, Lam WYH, Usta SN, Quinn BF, Tricio J, Nagasawa M, Pantea M, Imre M, Tancu AMC, Ranauta A, Tezvergil-Mutluay A, Korpisaari S, Leinonen K, Liukkonen M, Huhtela OS, Örtengren UT, Lingström P: Optimizing Preclinical Skill Assessment for Handpiece-Naïve Students: A Strategic Approach. *Dent J (Basel)* 13(8): 363, 2025.
- 9) Yoshida N, Maekawa T, Sekiguchi K, Kaku M, Sirisereephap K, Surboyo M, Sato-Yamada Y, Rosenkranz A, Hosoya A, Ohkura N, Kakihara Y, Maeda T, Hajishengallis G, Izumi K, Yoshida K. Loss of integrin $\alpha 7$ -mediated signaling induces a dendritic cell-like phenotype in macrophages cultured on laminin-211/221 isoforms. *J Biol Chem*. 301(8):110419, 2025.
- 10) Lin AJ, Sedky RA, Ben Dor B, Liang L, Ha V, Nagasawa M, Ohyama H: Student Self-Assessment Skills and Gender in the United States, Egypt and Japan: An Observational Study in Preclinical Dentistry. *Clin Teach* 22(4): e70133, 2025.
- 11) Kakoki M, Hagaman JR, Terajima M, Nagasawa M, Uoshima K, Yamauchi M, Smithies O, Kansaku K: Proximal aortic aneurysms in mice underexpressing transforming growth factor- $\beta 1$. *J Physiol Sci* 75(2): 100024, 2025.
- 12) Bencharit S, Quinn B, Sittoni-Pino MF, Arias-Herrera S, Schick SG, Rampf S, Byrne S, Shazib MA, Örtengren U, Lam WYH, Liukkonen M, Rice D, Nagasawa M, Ranauta A, Zafar S, Bágyi K, Greany TJ, Luai AF, Øilo M, Rederiene G, Stolberg R, Gül G, Tricio J, Chau RCW, Pantea M, Mutluay M, Lingström P, Klein O, Usta SN, Suominen L, Felszeghy S: Insights from the global education survey on the use of VR-haptics in dental education. *Front Dent Med* 6:1576646, 2025.

【商業誌】

- 1) 秋葉陽介: 歯科金属アレルギー患者への対応と医科歯科連携, 歯界展望, 145(6): 1054-1071, 2025.
- 2) 秋葉陽介: 掌蹠膿疱症 Bench-to-Clinic 歯科からみた

掌蹠膿疱症の病態と診療連携, *Monthly Book Derma*, 359: 33-40, 2025.

【研究費獲得】

- 1) 加来賢, 小野喜樹, 柿原嘉人, 松本雅記: 細胞外マトリックスが制御する幹細胞分化の解明と歯根膜再生への応用. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 24K02630, 2025.
- 2) 秋葉陽介, 秋葉奈美, 山本雅哉, 江口香里, 小松周平: 環境応答性薬剤供給可能な細胞移植材料による骨増生法開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25K13082, 2025.
- 3) 秋葉陽介, 秋葉奈美, 江口香里: 対学習のための評価 (Assessment as learning) と「対話型論証 (Dialogue argument)」を導入し, 問題発見解決能力涵養を目指した歯科臨床推論演習. 令和 7 年度新潟大学学長教育助成制度, 2025.
- 4) 秋葉奈美, 魚島勝美, 照沼美穂, 秋葉陽介: 抗酸化物質による移植細胞の長期生存, 長期機能発現を可能にする新規骨増生法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09272, 2025.
- 5) 長澤麻沙子: 生物学的視点から見たアバットメントスクリュー締付けトルク値の科学的根拠探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09271, 2025.
- 6) Rosales Marcelo, 加来賢: Impact of Age-Related Changes in Osteocyte Network on Bone Quality: Tissue Level 3D Imaging Using a Novel Light Sheet Microscope. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25K13101, 2025.
- 7) 江口香里, 秋葉陽介, 魚島勝美, 照沼美穂: チタン結晶構造制御と VUV 照射による骨結合促進可能なインプラント表面開発. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09292, 2025.
- 8) 小野喜樹: 脱細胞化組織と内在性タンパクの補充による新規歯根膜再生法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K19942, 2025.
- 9) 土橋梓: 歯根膜-骨連関による力学的刺激の階層的な応答メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 25K20326, 2025.
- 10) 山本悠: 深層プロテオミクスによる顎骨タンパクの定量解析とその加齢変化. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 25K20325, 2025.
- 11) 小林水輝: 人工材料と細胞外マトリックスによるハイブリッド再生歯の開発. 新潟大学フェローシップ事業, JPMJFS2114, 2025.
- 12) 柿原嘉人, 加来賢, 三上剛和: 骨芽細胞のI型コラーゲンと基質小胞の分泌経路における Rab タンパク

質の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09117, 2025.

- 13) 北見恩美, 加来賢: 歯根膜恒常性維持メカニズムの理解にもとづく予知性の高い自家歯牙移植術の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09293, 2025.
- 14) 北見公平, 加来賢, 齋藤功: 加齢マウス歯根膜組織の深層プロテオーム解析: 組織応答を担う細胞外環境の変化. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09412, 2025.
- 15) 横山詩子, 加来賢, 宮川繁: ファロー四徴症に対する自己血管新生を誘導するヒト由来脱細胞化血管グラフトの開発. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構, 難治性疾患等実用化研究事業, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Nagasawa M, Eguchi K, Rosales M, Uoshima K: Exploring the Effective Use of VR for Preclinical Tooth Preparation Training. IADR Digital Innovation Symposium 2026. -Transforming Oral Health: Simulations, AI, and Beyond. San Diego, CA, USA, 2026 Mar 24, 2026.
- 2) Nagasawa M, Eguchi K, Rosales M, Uoshima K: Evaluating the Effectiveness of VR-haptic Device in Tooth Preparation Training and Self-Assessment Ability for the First-Time Dental Turbine Users. HAiDENERS Hybrid Summit Helsinki, 2026 Feb 23, 2026.
- 3) Nagasawa M, Uoshima K: Effective way to use VR machines for achievement of clinical dental skills. 2025 VR-Haptic Thinkers Meetup, London, UK. 2025 Jun 5, 2025.
- 4) 加来賢: 多色蛍光ラベリング技術を応用した細胞系譜解析, 細胞系譜解析を応用した生命現象の理解. 第 134 回日本補綴歯科学会学術大会, 長崎, 2025 年 5 月 16-18 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 159, 2025.
- 5) 長澤麻沙子: 新時代のデジタル「補綴歯科教育」を考える. 第 134 回日本補綴歯科学会学術大会, 長崎, 2025 年 16-18 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 155 頁, 2025.

【学会発表】

- 1) Ochoa-Escate D, Eguchi K, Akiba N, Yu HL, Akiba Y, Mizuno J: Beyond Drilling: DLC-Coated Instruments as Biological Enhancers for Implant Osseointegration. 104th General Session & Exhibition of the IADR/ 55th Annual Meeting & Exhibition of the AADOCR/ 50th Annual Meeting of the CADR, San Diego, CA, USA,

- 2026 Mar 25-28, Abstracts & Program e-book: Presentation Number 0108, 2026.
- 2) Arrouf NE, Manchorova NA, Pang MW, Bencharit S, Chau CW, Felszeghy S, Ahmed KE, Andriukaitiene L, Arias-Herrera S, Byrne SJ, Camilleri J, Cox MJ, Duncan H, Gul G, Rederiene G, Gudsoorkar P, Nagasawa M, Liukkonen M, Lingström P, Pantea M, Pino D, Pasqualini D, Quinn BF, Price D, Stolberg R, Bergman S, Spagnuolo G, Voog-Oras U, Zadrozny L, Didilescu AC: Mapping Global Adoption of VR-Haptic Technologies in Dental Education. 104th General Session & Exhibition of the IADR/ 55th Annual Meeting & Exhibition of the AADOCR/ 50th Annual Meeting of the CADR, San Diego, CA, USA, 2026 Mar 25-28, Abstracts & Program e-book: Presentation Number 0150, 2026.
 - 3) Yamamoto Y, Kaku M: Immediate Denture Fabrication Using an Intraoral Scanner in Patients with Compromised Maxillary Dentitions. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Kuala Lumpur, Malaysia, 2026 Feb 8-9, Abstracts & Program Page 102, 2026.
 - 4) Hlaing Pwint Phyu, Dobashi A, Kobayashi M, Ono Y, Kaku M: Proteomic Profiling Reveals Distinct Extracellular Matrix Landscapes in Different Bone Types. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Kuala Lumpur, Malaysia, 2026 Feb 8-9, Abstracts & Program Page 107, 2026.
 - 5) Tun N, Nagasawa M, Katsumi U: Analyzing Possible Osteocyte Network Formation in New Bone Area after Bone Transplantation using Different Bone Quality Models. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Kuala Lumpur, Malaysia, 2026 Feb 8-9, Abstracts & Program Page 70, 2026.
 - 6) Ochoa-Escate D, Eguchi K, Akiba N, Akiba Y: From Mechanics to Biology: DLC-Coated Drills as a Paradigm Shift in Implant Bed Preparation. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Kuala Lumpur, Malaysia, 2026 Feb 8-9, Abstracts & Program Page 69, 2026.
 - 7) Luai AF, Zawawi NDA, Lin GSS, Nagasawa M, Rani H, Park YS, Dom TNM, Kadir RA: Impact of VR and Haptic Simulators in Dental Education and Training among Dental Students: An Umbrella Review. The 36th South-East Asian Association of Dental Education's Annual Scientific Conference, Taipei, Taiwan, 2025 Nov 7-9, e-book: Presentation Number P42, 2026.
 - 8) Lam WYH, Chau CW, Nagasawa M, Schick SG, Ranauta A, Lingstrom P, Bencharit S, Sittoni-Pino MF, Felszeghy S, Quinn B: Transforming Dental Education: Global Insights On Haptic Vr Challenges. The 2025 FDI World Dental Congress. Shanghai, China, 2025 Sep 9-12, Abstracts & Program Page 60, 2025.
 - 9) Ono Y, Mizukoshi M, Dobashi A, Kobayashi M, Hlaing PP, Kaku M: Identification of periodontal ligament stem cells through cell proliferation dynamics. IADR/PER General Session & Exhibition. Barcelona, Spain. 2025 Jun 25-28, Presentation ID: 3013, 2025.
 - 10) Dobashi A, Thant L, Hlaing PP, Kobayashi M, Ono Y, Kaku M: Chemical Digestion-Assisted Proteomics of Human Periodontal Ligament Cell-Derived Extracellular Matrix. IADR/PER General Session & Exhibition. Barcelona, Spain. 2025 Jun 25-28, Presentation ID: 2836, 2025.
 - 11) Kobayashi M, Hlaing PP, Dobashi A, Ono Y, Kaku M: TGF- β Modulates Extracellular Matrix Composition in Human Periodontal Ligament Cells. IADR/PER General Session & Exhibition. Barcelona, Spain. 2025 Jun 25-28, Presentation ID: 3365, 2025 IADR General Session, 2025.
 - 12) Rampf S, Schick SG, Sittoni-Pino MF, Arias-Herrera SE, Bencharit S, Maggio M, Chau C, Lam W, Greany T, Usta SN, Quinn BF, Tricio J, Nagasawa M, Pantea M, Ranauta A, Audsley B, Tezvergil-Mutluy A, Mutluy M, Huhtela OS, Felszeghy S, Ortengren UT, Lingström P: Optimizing Preclinical Skill Development for Handpiece-Naïve Students: A Strategic Approach. IADR/PER General Session & Exhibition. Barcelona, Spain. 2025 Jun 25-28, Abstracts & Program Page 0154, 2025.
 - 13) 小林水輝、Pwint Phyu Hlaing、土橋梓、小野喜樹、加来賢: 歯根膜細胞の細胞外マトリックスが誘導するシグナル伝達経路と再生基材開発への応用. 第25回日本再生医療学会総会, 神戸, 2026年3月19-20日, プログラム・予稿集: 497頁, 2026.
 - 14) 中村隆, 野口貴史, 加来賢, 宮城悦子, 横山詩子: 成長性を有するヒト培養細胞由来血管グラフトの開発. 第103回日本生理学会大会学術大会, 東京, 2026年3月12日, プログラム番号: 3P-078, 2026.
 - 15) 江口香里, Ochoa Dagny, 秋葉奈美, 秋葉陽介: 細胞応答に基づくチタン表面に対する真空紫外線照射の最適条件の探索. 第45回日本口腔インプラント学会中国・四国支部学術大会, 岡山, 2025年12月13-14日, 同学術集会プログラム・予稿集: 64頁, 2025.

- 16) 小林水輝, Hlaing Pwint Phyu, 土橋 梓, 小野喜樹, 加来賢: 低重力が頭蓋骨の細胞外マトリックス組成に及ぼす影響の解析. 第 45 回日本口腔インプラント学会中国・四国支部学術大会, 岡山, 2025 年 12 月 13-14 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 68 頁, 2025.
- 17) Hlaing Pwint Phyu, 小林水輝, 土橋梓, 小野喜樹, 加来賢: 骨の部位によって異なる細胞外マトリックス組成ならびにコラーゲン架橋の解析. 第 45 回日本口腔インプラント学会中国・四国支部学術大会, 岡山, 2025 年 12 月 13-14 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 69 頁, 2025.
- 18) オチョア ダグニー, 江口香里, 秋葉奈美, 秋葉陽介: Redefining implant site preparation: Biological advantages of DLC-coated drills. 第 45 回日本口腔インプラント学会中国・四国支部学術大会, 岡山, 2025 年 12 月 13-14 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 41 頁, 2025.
- 19) 秋葉陽介, 秋葉奈美, 江口香里: 知識構成型ジグソー法による歯科医学専門科目の能動的学修化と学習効果の検討. 令和 7 年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会・総会, 高崎, 2025 年 11 月 30 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 21 頁, 2025.
- 20) 江口香里, ロサレス・マルセロ, 秋葉奈美, 秋葉陽介, 加来賢: 歯型彫刻教育におけるルーブリック評価の信頼性と学生の自己評価傾向の分析. 令和 7 年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会・総会, 高崎, 2025 年 11 月 30 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 22 頁, 2025.
- 21) 小林水輝, Hlaing Pwint Phyu, 土橋梓, 小野喜樹, 加来賢: 脱細胞化歯根膜細胞シートを用いた歯根膜再生促進機構の解明. 第 4 回細胞シート工学イノベーションフォーラム, 東京, 2025 年 11 月 28 日, プログラム・予稿集: 13 頁, 2025.
- 22) 中村隆, 野口貴史, 加来賢, 宮城悦子, 横山詩子: 周期的加圧培養法による移植部位の成長を可能にするヒト培養細胞由来脱細胞化血管グラフトの開発. 第 4 回細胞シート工学イノベーションフォーラム, 東京, 2025 年 11 月 28 日, プログラム・予稿集: 28 頁, 2025.
- 23) Hlaing Pwint Phyu, Dobashi A, Kobayashi M, Ono Y, Kaku M, Unique compositional changes of extracellular matrix and collagen crosslinks in mandibular bone in aged mice. 第 55 回日本口腔インプラント学会学術大会, 福岡, 2025 年 10 月 24-26 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 220 頁, 2025.
- 24) Tun Nila, 長澤麻沙子, 魚島勝美: The effect of collagen cross-link deficiency on osteocyte network formation of newly formed bone tissue after bone transplantation. 第 55 回 日本口腔インプラント学会学術大会, 福岡, 2025 年 10 月 24-26 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 166 頁, 2025.
- 25) Ochoa Escate Dagny, 江口香里, 秋葉奈美, 秋葉陽介: Diamond-like carbon-coated drills enhance osseointegration and bone healing. 第 55 回 日本口腔インプラント学会学術大会, 福岡, 2025 年 10 月 24-26 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 154 頁, 2025.
- 26) 小野喜樹, 土橋梓, 小林水輝, Hlaing Pwint Phyu, 加来賢: 細胞増殖活性に基づく歯根膜幹細胞の細胞動態解析. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025 年 9 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 126 頁, 2025.
- 27) 土橋梓, Hlaing Pwint Phyu, 小林水輝, 小野喜樹, 加来賢: 化学的消化法を用いた歯根膜細胞外マトリックスのプロテオーム解析. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025 年 9 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 193 頁, 2025.
- 28) 秋葉陽介, 秋葉奈美, 江口香里: 歯科医学教育における改良型知識構成型ジグソー法に基づく学習システムの開発と評価. 第 44 回日本歯科医学教育総会および学術大会, 千葉, 2025 年 8 月 28-29 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 69 頁, 2025.
- 29) Hlaing Pwint Phyu, Lay Thant, Dobashi A, Kobayashi M, Ono Y, Kaku M: Proteomic Insights into Age-related Changes in Bone Extracellular Matrix Composition, 第 43 回日本骨代謝学会学術大会, 熊本, 2025 年 7 月 24-26 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 165 頁, 2025.
- 30) 小林水輝, Hlaing Pwint Phyu, 土橋梓, 小野喜樹, 加来賢: ECM プロテオミクスによる TGF- β が歯根膜細胞に及ぼす影響の解析. 第 57 回日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2025 年 6 月 7-8 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 144 頁, 2025.
- 31) Hlaing PP, Thant L, Dobashi A, Kobayashi M, Ono Y, Kaku M, Analysis of Age-related Changes in Extracellular Matrix Composition and Collagen Crosslinking of Bone, 第 57 回日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2025 年 6 月 7-8 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 143 頁, 2025.
- 32) Rosales JMR, Eguchi K, Kaku M; Objective Evaluation in Dental Digital Sculpting Education. 第 134 回日本補綴歯科学会学術大会, 長崎, 2025 年 5 月 16-18 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 208 頁, 2025.
- 33) 小野喜樹, 土橋梓, 小林水輝, Hlaing Pwint Phyu, 加来賢: 細胞増殖活性に基づく新規歯根膜幹細胞の同定. 第 134 回日本補綴歯科学会学術大会, 長崎, 2025 年 5 月 16-18 日, 同学術集会プログラム・予稿集:

171, 2025.

- 34) 山本悠, 加来賢: 即時義歯製作における口腔内スキャナーの活用, 第 134 回日本補綴歯科学会学術大会, 長崎, 2025 年 5 月 16-18 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 339 頁, 2025.
- 35) Kooanantkul C, Nagasawa M, Koide H, Uoshima K: Histological investigation of periodontal tissue after vertical root fracture repair with 4-META/MMA-TBB resin mixed with nano-hydroxyapatite and enamel matrix derivative. 第 134 回日本補綴歯科学会学術大会, 長崎, 2025 年 5 月 16-18 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 288 頁, 2025.
- 36) Tun N, Nagasawa M, Zhang T, Katsumi U: Analyzing the changes of transplanted and recipient bone tissues focusing on osteocyte network reconstruction and bone quality. 第 134 回日本補綴歯科学会学術大会, 長崎, 2025 年 5 月 16-18 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 210 頁, 2025.
- 37) ロサレス・マルセロ, 江口香里, 加来 賢: 新潟大学歯学部におけるデジタル歯型彫刻実習の取り組みとその効果. 第 16 回日本デジタル歯科学会学術大会, 東京, 2025 年 5 月 10-11 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 88 頁, 2025.
- 38) 高昇将, 青柳裕仁, 金谷貢: セルロースナノファイバーの添加量が義歯安定剤の粘着強さにおよぼす影響について. 日本歯科理工学会第 83 回学術講演会, 名古屋, 2025 年 4 月 19-20 日, 日本歯科理工学会誌 44 Special Issue 83 : 71 頁, 2025 年.
- 39) 金谷貢, 長谷川健二, 青柳裕仁, 高昇将, 泉健次: 低エネルギー電子線照射が CAD/CAM 冠用コンポジットレジンとの接触角, 接着強さと破壊様式に与える影響. 日本歯科理工学会第 83 回学術講演会, 名古屋, 2025 年 4 月 19-20 日, 日本歯科理工学会誌 44 Special Issue 83: 56 頁, 2025 年.
- 40) Kooanantkul C, Nagasawa M, Koide H, Uoshima K: 4-META/MMA-TBB レジンにナノハイドロキシアパタイトとエナメルマトリックスデリバティブを混合して用いた歯根破折修復処置後の組織学的観察. 第 58 回新潟歯学会総会, 新潟, 2025 年 4 月 12 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 12 頁, 2025.

【研究会発表】

- 1) Masako Nagasawa: International Collaborative Reserach in Dental Education: On Clinical Skill Training and Self-Assessment Ability. Special Lecture in the Department of Prosthodontics, School of Dentistry, National Taiwan University. Taipei, Taiwan. 2025 Nov 7.
- 2) 山本悠: 即時義歯製作における口腔内スキャナー活用の有用性. 令和 7 年度全国歯科大学・歯学部 若手歯科医師臨床症例発表会. 東京, 2026 年 3 月 14 日.
- 3) 加来賢: 低重力が頭蓋骨の細胞外マトリックス組成に及ぼす影響の解析. 第 11 回あしなが予防医学研究会, 筑波, 2026 年 2 月 28 日.
- 4) 小野喜樹: 細胞増殖活性に基づく新規歯根膜幹細胞の同定. 第 7 回オーラルサイエンス研究会, 新潟, 2025 年 11 月 9-10 日.
- 5) 小林水輝: TGF- β がヒト歯根膜細胞に及ぼす影響の解析. 第 6 回 結合組織学会若手セミナー, 大阪, 2025 年 6 月 6 日.

【受賞】

- 1) Dagny Ochoa: Arthur Frechette 2024 New Investigator Award 1st place, Diamond-Like Carbon-Coated Drill Enhance Osseointegration: In Vivo Study. 104th General Session & Exhibition of the IADR, 2026 Mar 26.
- 2) Hlaing Pwint Phyu: Proteomic Profiling Reveals Distinct Extracellular Matrix Landscapes in Different Bone Types. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Poster presentation award 3rd place, Feb. 8-9, 2026
- 3) 山本悠: 即時義歯製作における口腔内スキャナー活用の有用性. 令和 7 年度 全国歯科大学・歯学部 若手歯科医師臨床症例発表会 優秀賞. 2026 年 3 月 14 日.
- 4) 秋葉陽介 (代表者), 秋葉奈美, 江口香里: 知識構成型ジグソー方による専門講義科目の能動的学習, 令和 6 年度新潟大学学長教育賞, 2025 年 5 月 23 日.
- 5) 秋葉陽介: 無構造ナノレベル超平滑チタン表面を使用した血中チタン接着タンパク質探索を基点としたオッセオインテグレーション機構解明. 第 54 回日本口腔インプラント学会学術大会 優秀研究発表賞, 2025 年 10 月 24 日.
- 6) 加来賢: A loss of primary cilia by a reduction in mTOR signaling correlates with age-related deteriorations in condylar cartilage. 令和 7 年度 新潟大学優秀論文表彰. 2025 年 8 月.
- 7) 小林水輝: TGF- β がヒト歯根膜細胞に及ぼす影響の解析. 第 6 回 結合組織学会若手セミナー優秀発表賞, 2025 年 6 月 6 日.
- 8) 小野喜樹: 細胞増殖活性に基づく新規歯根膜幹細胞の同定. 第 134 回日本補綴歯科学会学術大会, 課題口演賞, 2025 年 5 月 18 日.
- 9) 小野喜樹: 細胞増殖活性に基づく新規歯根膜幹細胞の同定. 日本補綴歯科学会学術大会, 優秀論文賞, 2025 年 5 月.

顎顔面口腔外科学分野

【著書】

- 1) 富原 圭, 他 : 口腔解剖学第 3 版, 前田健康, 天野修, 阿部伸一, 馬場麻人 [編], 第 23 章, 骨折の解剖学, 281-288 頁, 医歯薬出版株式会社 2025
- 2) 富原 圭, 他: 今日の治療指針 2026, 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 [編], 医学書院 2026

【論文】

- 1) Zhang L, Guo Y, Sumita Y, Hirai H, Yamazaki M, Hayashi T, Tanuma JI, Tomihara K. Does chemotherapy improve the prognosis in patients with jaw osteosarcoma? A systematic review and meta-analysis. *Int J Oral Maxillofac Surg.* 2026;55(1):10-19.
- 2) Zhang LE, Guo Y, Yamazaki M, Hirai H, Tanuma JI, Tomihara K. Perineural invasion predicts poor prognosis in oral squamous cell carcinoma: A systematic review and meta-analysis. *J Stomatol Oral Maxillofac Surg.* 2026;127(4):102745.
- 3) Kurokawa A, Niimi K, Kanemaru H, Soga M, Yamashita M, Sakuma H, Tomihara K, Yoshida K, Kobayashi T, Ohuchi A. Incidence of oral reactions of immune-related adverse events caused by immune checkpoint inhibitors. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 2025;37(5):1051-1055.
- 4) Saito Y, Hirai H, Kobayashi R, Kasahara A, Kiguchi T, Sumita Y, Uenoyama A, Tomihara K. A Retrospective study of Best Supportive Care as Initial Treatment for Oral Squamous Cell Carcinoma. *Cureus.* 2025;17(8):e89319.
- 5) Hirai H, Nikkuni Y, Kobayashi R, Kiguchi T, Sumita Y, Saito Y, Uenoyama A, Funayama A, Tomihara K. Utility of the apparent diffusion coefficient in the differential diagnosis of oral malignant lymphoma. *Cureus* 17(11):e97006, 2025.
- 6) Yamada A, Tsuzuno T, Tabeta K, Tomihara K, Nagata M. Human demineralized bone matrix as a cell transplant scaffold for bone regenerative cell therapy. *Oral Science International.* 2025; 23(1).
- 7) Kasahara A, Kobayashi T, Tomihara K, Yamada A, and Nagata M. Clinical evaluation of the effect of cultured autogenous periosteal cells on bone regeneration using the stratified CT value three-dimensional image analysis method. *Oral Science International.* 2025; 22(2).
- 8) Uenoyama A, Hirai H, Saito Y, Kiguchi T, Takashima S, Tomihara K. A case of Stevens-Johnson syndrome triggered by Mycoplasma infection. *J Oral Sci.* 2026;68(1):44-47.
- 9) Kuroshima T, Kinoshita N, Nishii N, Oikawa Y, Kugimoto T, Hirai H, Tomioka H, Michi Y, Harada H. Survival Impact and Risk Factors of Cervical Lymph Node Metastasis in Maxillary Gingival Squamous Cell Carcinoma: A Retrospective Study of 81 Patients. *Head Neck.* 2026;48(1):219-226
- 10) Kiyomi A, Yoshida K, Koide C, Takahashi Y, Kurokawa A, Tomihara K, Sugiura M. Prevalence and Management Gaps in Methotrexate-Related Oral Mucositis Among Rheumatoid Arthritis Patients: A Questionnaire-Based Study. *Oral Science International.* 2026;23(1).
- 11) Soutome S, Hamada T, Nishi H, Iwata E, Nakahara H, Yamamoto T, Matsumura T, Nishikawa M, Tomihara K, Ueki K, Noda M, Shimanishi M, Funahara M, Kawahara M, Yamamura Y, Matsuda S, Yoshida K, Kanazawa S, Otsuji M, Natsume N, Umeda M. Prevention of oral mucositis in patients undergoing cancer chemotherapy using betamethasone mouthwash: A multicenter randomized controlled trial protocol. *PLoS One.* 2026;21(4):e0345991.
- 12) Asakura T, Diep TTT, Ueda Y, Yamada A, Tsuzuno T, Takahashi N, Miyata M, Tabeta K, Nagata M, Matsuda K. Analysis of the Effect of Human Type I Collagen-Derived Peptide on Bone Regenerative Capacity and Comparison with Various Collagen Materials In Vivo. *Medicina (Kaunas).* 2025;61(1):57.
- 13) Sakurai K, Tomihara K, Yamazaki M, Tanuma JI, Yamada SI. High CD36 Expression Predicts Aggressive Invasion and Recurrence in Oral Squamous Cell Carcinoma. *Int J Mol Sci.* 2025;26(24):12071.
- 14) Surboyo MDC, El Fadhlallah PM, Sato-Yamada Y, Sirisereephap K, Fang M, Maeda T, Tomihara K, Tabeta K, Yoshida N, Rosenkranz AL, Maekawa T. The effects of Zoledronate administration routes on the reproducibility of BRONJ in rodent models: A systematic review. *Bone.* 2025;199:117563.
- 15) Sasagawa K, Domon H, Hirayama S, Maekawa T, Isono T, Tabeta K, Terao Y. Secretory leucocyte protease inhibitor regulates bone metabolism and inflammation in experimental mouse periodontitis. *Communications Biology.* 2025 8(1):760
- 16) Haga K, Kamimura Y, Yamazaki M, Funayama A, Saito Y, Kida M, Tanuma JI, Izumi K. Quantitative and

longitudinal monitoring of cancer cell invasion in a three-dimensional in vitro model of oral cancer using optical coherence tomography. *Sci Rep.* 2025; 27;15(1):45449.

- 17) Piriyaarasath K, Hasegawa M, Iwamoto Y, Kamimura R, Yusuf ASH, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K. Effects of treadmill running on anxiety-and craniofacial pain-like behaviors with histone H3 acetylation in the brain of mice subjected to social defeat stress. *Plos one.* 2025;20(1):e0318292.
- 18) Iwamoto Y, Piriyaarasath K, Yusuf ASH, Hasegawa M, Kakihara Y, Sato T, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K. Daily Administration of Agmatine Reduced Anxiety-like Behaviors and Neural Responses in the Brains of Male Mice with Persistent Inflammation in the Craniofacial Region. *Nutrients.* 2025;17(11):1848.
- 19) Sato-Yamada Y, Surboyo MDC, Rosenkranz AL, Ujita T, Fang M, Ei Fadhlallah PM, Maekawa T, Sato Y, Yoshida N, Maeda T. Macrophage induces angiogenesis via HIF signaling in denervated muscle following nerve injury. *Scientific reports.* 15 (1), 26239-26239, 2025.
- 20) Sakuma H, Kanemaru H, Kurokawa A, Soga M, Yamashita M, Nozawa-Kobayashi M, Niimi K, Kobayashi T. Prevalence of MRONJ in patients treated with antiresorptive agents for glucocorticoid-induced osteoporosis. *Oral Maxillofac Surg.* 2025 Apr 16;29(1):84
- 21) 隅田賢正, 平井秀明, 齋藤夕子, 木口哲郎, 小林亮太, 相澤有香. 偽上皮性過形成を伴い悪性腫瘍との鑑別を要した多形腺腫の一例. *日本口腔外科学会雑誌* 72:123-129,2026.
- 22) 星野直人, 吉田謙介, 矢吹 剛, 古賀雅良, 多川洋史, 貝瀬眞由美, 富原 圭, 外山 聡. 薬剤師を対象とした e-learning によるがん化学療法の口腔粘膜炎に関する教育. *日本口腔ケア学会雑誌* 20(2):34-40,2025.

【研究費獲得】

- 1) 隅田賢正：若年性口腔扁平上皮癌組織の mRNA シーケンシングによるドライバー遺伝子の探索. 令和 5-7 年度 日本学術振興会科学研究補助金. 若手, 代表 23K15969.
- 2) 小林亮太：画像イメージングを応用した角膜移植用培養口腔粘膜上皮細胞シートの品質評価法の開発 令和 6-8 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 代表 24K15822.
- 3) 木口哲郎：口腔扁平上皮癌における細胞内細菌叢の同定とその特性解析. 令和 6-9 年度 新潟大学医

歯学総合病院臨床研究支援パッケージコンテスト, 代表.

- 4) 平井秀明：MRONJ の新規発症予防一分泌型白血球プロテアーゼ阻害因子の作用解明— 令和 7-9 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 代表 25K13223
- 5) 齋藤夕子：海洋生物由来接着剤とペプチド修飾を併用したインプラント周囲軟組織の新規付着技術. 令和 7-9 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C) 代表 25K13047
- 6) 磯野俊仁：上皮成長因子受容体を介した肺炎球菌感染メカニズムの解明. 令和 7-8 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究 25K18795
- 7) 相澤有香：口腔がん関連線維芽細胞を標的とする白血球治療薬 AM80 による新規治療法の創出, 令和 8-9 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究 26K20290
- 8) 富原 圭：歯周炎併発 BRONJ モデルの作成とその治療法展開, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C) 分担 24K13065
- 9) 富原 圭：死細胞由来の異所性核酸がもたらす口腔がん免疫逃避機構の解明, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C) 分担 24K13126
- 10) 富原 圭：口腔内超音波診断における粘膜下層穿破は T1 舌癌の後発頸部リンパ節転移を予見する, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C) 分担 25K13183
- 11) 富原 圭：再生医療に用いる細胞加工物の遺伝的安定性と安全性向上の方策を総合的に検討する, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C) 分担 25K13064
- 12) 富原 圭：先天性無歯症治療薬開発に向けた患者レジストリ構築, 共同研究費 J22K0083
- 13) 富原 圭：培養骨膜シートの製造法の技術研究および技術支援, 共同研究費 J25K0088
- 14) 富原 圭：エイズ患者・H I V 感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究, 受託研究費 J25J0066
- 15) 富原 圭：令和 7 年度, (公社) 日本口腔外科学会による「アジア諸国の口腔外科研修生」の支援事業費 補助金.
- 16) Zhang Luqing：令和 7 年度, 新潟大学次世代研究者挑戦的研究支援金. J26H0002
- 17) Guo Yihan：令和 7 年度, 新潟大学次世代研究者挑戦的研究支援金. J26H0002

【受賞】

- 1) 相澤有香, 羽賀健太, 上野山敦士, 井川和代, 平井

秀明, 富原 圭 : 4 種類の細胞の共培養による腫瘍微小環境を模倣した口腔がん 3 次元モデルの開発と応用. 2025 年 11 月 14 日. 第 70 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2025. 最優秀口演発表賞

- 2) Prasiddha Mahardhika El Fadhlallah, Meircurius Dwi Condro Surboyo, Masayoshi K, Rosenkranz A, Tomihara K, Maekawa T. Investigation of therapeutic efficacy of microparticle-formulated erythromycin in a BRONJ attributed to periodontitis model. The 70th Annual Meeting of the Japan Society for Oral Surgery (JSOMS). Fukuoka. Nov 14-16, 2025. Best Poster Presentation Award.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Tomihara K. Applications of AI and Bioinformatics in Clinical Practice of Oral Surgery. Rundown Conference National Congress of the Indonesian Association of Oral and Maxillofacial Surgeons 2025. Makassar, Indonesia, August 28, 2025.
- 2) Tomihara K. Reconstructing Oral Surgery: Reconstruction Oral Surgery: Applications of AI and Bioinformatics in Clinical Practice. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. Kuala Lumpur, Malaysia. Feb 8-9, 2026.
- 3) 富原 圭 : International Academy of Contemporary Dentistry (iACD) Japan 学術講演会 2025. 口腔外科診療の再構築 : AI とバイオインフォマティクスの応用. 横浜市, 2025 年 11 月 28 日.

【国際学会】

- 4) Tomihara K. AI-Based preoperative risk stratification to reduce IAN injury in lower third molar extraction. The 16th Joint conference and PG convention of Nepalese association and Japanese society of Oral and Maxillofacial Surgeons. Kathmandu, Nepal. Feb 13-14, 2026.
- 5) Shrestha A, Miya N, Upadhyaya C, Thoenissen P, Tomihara K. Exploring Trends in Maxillofacial Trauma for Preventive Strategies in South Asia-A Systematic Review and Meta-analysis of 74 studies. The 16th Joint conference and PG convention of Nepalese association and Japanese society of Oral and Maxillofacial Surgeons. Kathmandu, Nepal. Feb 13-14, 2026.
- 6) Zhang L, Yamazaki M, Hirai H, Tanuma JI, Tomihara K. The Role and Machine Learning Analysis of Perineural Invasion-Related Gene Expression in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma. International Collaborative

Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026. Kuala Lumpur, Malaysia. Feb 8-9, 2026.

- 7) Prasiddha Mahardhika El Fadhlallah, Meircurius Dwi Condro Surboyo, Koga M, Rosenkranz A, Tomihara K, Maekawa T. Microarticle-Delivered Erythromycin Restores Bone Remodeling in Periodontitis-Associated BRONJ. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026. Kuala Lumpur, Malaysia. Feb 8-9, 2026.
- 8) Yusuf ASH, Anugrah H, Iwamoto Y, Kato T, Hasegawa M, Okamoto K, Fujii N, Yamamra K. Pre-conditioning Treadmill Running Attenuates Craniofacial Pain- and Anxiety-like Behaviors and Neural Alterations Induced by Persistent Masseter Muscle Inflammation in Mice. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026. Kuala Lumpur, Malaysia. Feb 8-9, 2026.
- 9) Guo Y, Zhang L, Tomihara K. Siglec9 defines a myeloid-driven immunosuppressive microenvironment in head and neck squamous cell carcinoma. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026. Kuala Lumpur, Malaysia. Feb 8-9, 2026.
- 10) Miya N, Shrestha A, Ghimire B, Zhang L, Hirai H, Upadhyaya C, Tomihara K. Beyond Thrombocytosis: The Role of Platelet Phenotype and Activation Status in Predicting Outcomes to Systemic Therapy in Head and Neck Cancer. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026. Kuala Lumpur, Malaysia. Feb 8-9, 2026.
- 11) Kanai S, Oishi A, Abe T, Kiguchi T, Yamazaki N, Tanura J, Okuda S, Tomihara K : Reviving Microbial Genomes from Archived FFPE Oral Cancer Tissues: A Metagenomic Approach to Explore Tumor-Associated Microbiota. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026. Kuala Lumpur, Malaysia. Feb 8-9, 2026. Poster Presentation.
- 12) Shrestha A, Miya N, Upadhyaya C, Thoenissen P, Tomihara K. Exploring Trends in Maxillofacial Trauma for Preventive Strategies in South Asia: A Systematic Review and Meta-analysis of 74 studies. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026.

Kuala Lumpur, Malaysia. Feb 8-9, 2026. Poster Presentation.

- 13) Kobayashi R, Kodama Y, Isono T, Ominato R, Sato M, Nihara J, Wakatsuki H, Miyata M, Tomihara K: Congenital Oropharynx Lymphatic Malformation in a Pediatric Cleft Palate Patient Treated with Speech Aid: A Case Report. 2025 Oct 20-24. 15th International Congress on Cleft Lip/Palate and Related Craniofacial Anomalies. P-76-5, 2025.
- 14) Izumi K, Yortchan W, Yamada Y, Yoshida N, Aizawa Y, Tanaka R, Annisa M, Lalasati PP, Kobayashi M, Ishikawa M, Sada A : Manufacturing an Ex-Vivo Produced Oral Mucosa Equivalent Using RGD Peptide-Conjugation. 2026 March 26, 2026 IADR/AADOCR/CADR General Session & Exhibition.

【国内学会】

- 1) 黒川 亮, 吉田謙介, 青海杏奈, 杉浦宗敏, 金丸博子, 曾我麻里恵, 船山さおり, 善本 佑, 笹川花梨, 那須優介, 田中恵子, 中村夢衣, 宍戸 香, 齋藤千愛, 星野直人, 古賀雅良, 富原 圭, 大内章嗣: 薬学部教育における歯科との職種間連携に関する取り組み. 2025年4月26日-27日. 新潟市. 第22回日本口腔ケア学会総会・学術大会/第5回国際口腔ケア学会総会・学術大会 プログラム集 36頁. 2025.
- 2) 磯野俊仁, 平井秀明, 富原圭: 肺炎球菌は好中球エラスターゼによる上皮成長因子受容体分解を促進し, 肺胞上皮の修復を阻害する. 2025年5月15日-17日. 松本市. 第79回口腔科学会学術集会 第79回口腔科学会学術集会プログラム抄録集 200頁, 2025.
- 3) 小林亮太, 平井秀明, 上野山敦士, 齋藤夕子, 隅田賢正, 木口哲郎, 磯野俊仁, 山崎 学, 田沼順一, 林 孝文, 富原 圭: 噛みタバコ使用者に発生した頬粘膜扁平上皮癌の1例. 2025年5月31日-6月1日. 札幌市. 第51回公益財団法人日本口腔外科学会 北日本支部学術集会 プログラム抄録集 53頁, 2025
- 4) 隅田賢正, 平井秀明, 齋藤夕子, 上野山敦士, 木口哲郎, 小林亮太, 磯野俊仁, 金井爽海, 富原圭: 人工透析患者に生じた急性壊死性潰瘍性歯肉炎から広範な顎骨壊死に至った一例. 第51回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 札幌市, 2025年5月31日-6月1日, 第51回日本口腔外科学会北日本支部学術集会プログラム・抄録集 75頁, 2025.
- 5) 小林亮太, 児玉泰光, 大湊 麗, 佐藤真由美, 丹原 惇, 若槻華子, 宮田昌幸, 富原 圭: 軟口蓋に浸潤したリンパ管腫を併発した軟口蓋裂患児に対するスピーチエイドによる構音獲得の試み. 2025年10月23-24日. 京都府. 第49回日本口蓋裂学会総会・学術集会
- 6) 齋藤夕子, 金井爽海, 大石章寛, 磯野俊仁, 小林亮太, 木口哲郎, 隅田賢正, 上野山敦士, 平井秀明, 富原 圭: 口腔内多発腫瘤を契機に Cowden 症候群と診断された1例. 第70回日本口腔外科学会総会・学術大会, ハイブリット開催, 2025年11月15日. 第70回日本口腔外科学会総会・学術大会学術集会プログラム抄録集 341頁, 2025.
- 7) 金井爽海, 上野山敦士, 平井秀明, 齋藤夕子, 隅田賢正, 木口哲郎, 小林亮太, 笠原 映, 磯野俊仁, 富原 圭: エナメル上皮腫と歯原性角化嚢胞が併発した1例. 第63回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 札幌市, 2025年5月31日-6月1日, 第51回日本口腔外科学会北日本支部学術集会プログラム・抄録集 65頁, 2025.
- 8) 小林 凜, 金井爽海, 福島 慎, 平井秀明, 富原圭: 顎変形症術後のプレート除去術後に顔面神経下顎縁枝麻痺を生じた1例. 2025年11月7日. 第118回関東形成外科学会新潟地方会.
- 9) 園辺 悠, 相澤有香, 張 魯慶, 新國 農, 山崎 学, 濃野 要, 林 孝文, 田沼順一, 富原 圭: EGFR 標的PCE療法の個別化に向けた宿主因子の解析: 腫瘍関連血小板の関与における新知見と未来戦略. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2025年11月8日. 令和7年度新潟歯学会第2回例会抄録集 12頁, 2025.
- 10) 大石章寛, 金井爽海, 阿部達也, 木口哲郎, 山崎学, 田沼順一, 奥田修二郎, 富原 圭: ヒトマイクrobiオーム研究の新展開—舌癌組織における細菌ゲノムの同定. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2025年11月8日. 令和7年度新潟歯学会第2回例会抄録集 12頁, 2025.
- 11) 木口哲郎, 平井秀明, 上野山敦士, 齋藤夕子, 隅田賢正, 小林亮太, 磯野俊仁, 福島 慎, 富原 圭: 術後適応障害に対し多職種連携による退院支援を行った進行下顎歯肉癌の1例. 2025年11月14-16日. 福岡市. 第70回日本口腔外科学会総会・学術大会
- 12) 相澤有香, 羽賀健太, 上野山敦士, 井川和代, 平井秀明, 富原 圭: 4種類の細胞の共培養による腫瘍微小環境を模倣した口腔がん3次元モデルの開発と応用. 2025年11月14日-16日 .福岡市. 第70回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会
- 13) 相澤有香, 羽賀健太, 上野山敦士, 井川和代, 平井

- 秀明, 富原 圭: 4 種類の細胞の共培養による腫瘍微小環境を模倣した口腔がん 3 次元モデルの開発と応用. 2025 年 11 月 14 日. 第 70 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2025.
- 14) 大石章寛, 山田 葵, 永田昌毅, 富原 圭: 自家骨膜細胞培養技術に基づく骨造成治療の臨床応用. 2025 年 11 月 22 日. 札幌市. 第 61 回日本口腔組織培養学会学術大会・総会. 15 頁. 2025
- 15) 大石章寛, 湯浅恵伍, 木口哲郎, 平井秀明, 富原 圭: 上顎洞内に迷入したインプラントの摘出症例と考察. 2025 年 11 月 29-30 日. 松江市. 第 29 回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 239 頁. 2025
- 16) 富原 圭, 大石章寛. インプラント摘出のはずが... 予期せぬ連鎖的アクシデント-医療安全の視点から-. 2025 年 11 月 29-30 日. 松江市. 第 29 回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 195 頁. 2025
- 17) LEE Seung Kuk, 富原 圭. 骨質 D4 に対する二段階アンダードリリングを併用した DIO インプラント即時埋入症例. 2025 年 11 月 29-30 日. 松江市. 第 29 回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 165 頁. 2025
- 18) 小出知嘉子, 高橋由紀子, 清海杏奈, 吉田謙介, 黒川 亮, 富原 圭, 杉浦宗敏, 大島裕由, 清水孝祐. 外来リウマチ患者におけるメトトレキサート服用による口内炎の実態と対応策に関するアンケート調査. 第 58 回日本薬剤師会学術大会. 京都市, 京都. 2025 年 11 月 12-13 日.
- 19) 三村俊平, 大川加奈子, 長崎 司, 新井萌生, 吉田智美, 山田貴大, 松田拓樹, 竹内涼子, 佐久間英伸, 長谷部大地, 富原 圭, 堀 一浩, 丹原 惇. 顎変形症患者における咀嚼能力測定用グミゼリーを用いた咀嚼機能の定量的比較. 第 35 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会. 北九州, 福岡県. 2025 年 6 月 5-6 日.
- 20) 宇佐美雄司, 佐藤 淳, 後藤 哲, 斎藤夕子, 丸岡豊, 高木純一郎, 鹿野 学, 柴 秀樹, 吉川博政: 卒後臨床研修歯科医師における HIV/AIDS に関する認識についての検討. 第 39 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, ハイブリット開催, 2025 年 12 月 5 日. 第 70 回日本口腔外科学会総会・学術大会 学術集会プログラム抄録集 437 頁, 2025.
- 21) 隅田賢正, 平井秀明, 斎藤夕子, 木口哲郎, 小林亮太, 相澤有香, 富原 圭: 偽上皮性過形成を伴い悪性腫瘍との鑑別を要した多形腺腫の一例. 2026 年 1 月 22-23 日. 宇都宮市, 第 44 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会
- 22) 黒川 亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 田中恵子, 中村夢衣, 富原 圭, 大内章嗣: ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) により生じた口腔粘膜炎の 1 例— BNCT 後、重篤化した口腔粘膜炎から学ぶ多職種プロアクティブ介入の必要性—. 第 35 回一般社団法人日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 2026 年 3 月 6-8 日. 第 35 回一般社団法人日本有病者歯科医療学会総会・学術大会プログラム: 113 頁, 2026.
- 23) Zhang L, Zhu S, Yamazaki M, Hirai H, Tanuma JI, Tomihara K. Prognostic value of perineural invasion in head and neck squamous cell carcinoma: A systematic review and meta-analysis. The 84th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association. Kanazawa, Ishikawa. Sep 25-27, 2025.
- 24) Zhang L, Yamazaki M, Tomihara K. Tumor-nerve interactions via perineural invasion contribute to immune remodeling and poor prognosis in head and neck cancer. The 70th Annual Meeting of the Japan Society for Oral Surgery (JSOMS). Fukuoka. Nov 14-16, 2025.

口腔解剖学分野

【論 文】

- 1) Kawasaki M, Kawasaki K, Fukushima M, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Fujita A, Nihara J, Ichikawa K, Kudo T, Ghafoor S, Sharpe PT, Fukusumi Y, Kawachi H, Maeda T, Franco B, Ohazama A. Distinct involvement of X-inactivation in organogenesis. *J Dent Res*, In Press
- 2) Meguro F, Kawasaki K, Kakihara Y, Kawasaki M, Fukushima M, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Nihara J, Kudo T, Fujita A, Ichikawa K, Osawa K, Maeda T, Tabeta K, Saeki M, Ohazama A. DNA repair during embryonic epidermal stratification. *Dev Dyn*, In Press
- 3) Kantaputra P, Boonpiem N, Guven Y, Tripuwabhut K, Kalayci T, Imren E, Sengtae N, Pianmee C, Pruksametanan A, Tongsima S, Ngamphiw9, Kawasaki K, Ohazama A, Cairns JRK. Genetic variants in DVL3 are associated with root maldevelopment, tooth agenesis, mesiodens, and oral exostoses. *Int Dent J* 76(1):104019, 2025.
- 4) Kawasaki K, Kawasaki M, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Fukushima M, Saito N, Suda D, Kudo T, Fujita A, Nihara J, Franco B, Ohazama A. Early increased cell proliferation compensates subsequent hypoplasia of the ossicle. *Front Cell Dev Biol* 13:1627730, 2025.
- 5) Chainaphorn P, Ngamphiw C, Tongsima S, Chintakanon K, Kawasaki K, Cox TC, Ohazama A,

Ketudat Cairns JR, Kantaputra PN. Genetic Variants in KIF7 May Contribute to Supernumerary Tooth Formation. *Int Dent J* 75(5):100928, 2025.

- 6) Sari FT, Kawasaki M, Kawasaki K, Utama V, Kesuma A, Fukushima M, Kudo T, Fujita A, Ichikawa K, Sato-Yamada Y, Shimizu I, Minamino T, Nihara J, Ohazama A. Senescence in palatal rugae development. *J Oral Biosci* 67(4):100688, 2025.
- 7) Kantaputra PN, Apivatthakakul A, Kaewgahya M, Tongsima S, Ngamphiw C, Sastraraji T, Sukantamala P, Carlson BM, Kawasaki K, Cairns JRK, Sonsuwan N, Ohazama A. Heimler syndrome with tooth agenesis, microdontia, delayed tooth eruption, abnormal enamel and dentin mineralization, root maldevelopment, arachnodactyly, and PEX1 mutation. *Int Dent J* 75(4):100821, 2025.
- 8) Graham Jr JM, Sanchez-Lara PA, Ohazama A, Kawasaki K, Arold ST, Kantaputra PM. A novel KDF1 variant is associated with multiple natal teeth, tooth agenesis, and root maldevelopment. *Int Dent J* 75(4):100860, 2025.

【研究費獲得】

- 1) 川崎 真依子, 大峽 淳, 川崎勝盛: 歯の形成における DNA 損傷/修復のメカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09434, 2025.
- 2) 川崎勝盛, 川崎 真依子, 大峽 淳: 歯の発生における一次線毛の長さの意義の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25K13048, 2025
- 3) 丹原 惇, 大峽 淳, 川崎 真依子: 組織幹細胞の恒常性メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K13064, 2025.
- 4) 藤田 瑛, 大峽 淳, 川崎 真依子: 舌小帯の発生機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K13109, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Atsushi Ohazama. Senescence in midface formation. FDCU International symposium 2025. Bangkok, 23rd May, 2025.
- 2) 大峽 淳. 発生学の世界. ペリオフォーラム. 新潟. 10月19日 2025.
- 3) Atsushi Ohazama. X-inactivation in palate development. 15th International Congress of cleft lip/palate and related craniofacial anomalies. Kyoto. 20-24 October, 2025.
- 4) 大峽 淳. 日常臨床で見るものの裏側. 渋谷区歯科医師会歯友会. 東京, 3月4日, 2026

【学会発表】

- 1) 田沼順一, 丸山智, 阿部達也, 羽賀健太, Kesma A, 川崎真依子, 山崎学. がん性悪液質モデル動物の作製, 及びサルコペニアに対する QOL 改善の解析. 第84回 日本癌学会学術総会. 金沢. 9月25日~27日, 2025.
- 2) Utama V, Kawasaki M, Kesuma A, Fukushima M, Kawasaki K, Ohazama A. Enamel formation by Ofd1 is via X-inactivation. International collaborative symposium on development of human resource in paractical oral health and treatment. Kuaka Lumpur, 8-9th February, 2026.

【受賞】

- 1) 川崎真依子; 令和7年度新潟大学優秀論文表彰

口腔生理学分野

【書籍】

- 1) 岡本圭一郎 (分担執筆)
発酵・醸造の新展開: 育種、プロセス DX から精密発酵、アップサイクルまで. 427-435 頁, エヌ・ティール・エス. 東京 2025 年 (ISBN: 4860439538).

【論文】

- 1) Yuya Iwamoto, Kajita Piriyaprasath, Andi Sitti Hajrah Yusuf, Mana Hasegawa, Yoshito Kakihara, Tsutomu Sato, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto. Daily Administration of Agmatine Reduced Anxiety-like Behaviors and Neural Responses in the Brains of Male Mice with Persistent Inflammation in the Craniofacial Region. *Nutrients* 17(11) 1848-1848 2025.
- 2) Jorge Sáez-Chandía, Stephanny Castillo-Quispe, Keiichiro Okamoto, Atsushi Kurahashi, Kazuya Kodaira, Kotaro Aihara, Kiyoko Suzuki-Barrera, Masaru Kaku, Yoshikazu Mikami, Miho Terunuma, Kensuke Yamamura, Takafumi Hayashi, Makio Saeki, Yoshito Kakihara. Effects of Freeze-Dried Sake Lees and Rice Koji Extract on Osteoporosis in a Postmenopausal Mouse Model. *Nutrients* 17 3077- 2025.
- 3) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Charng-Rong Pan, Yuhei Tsutsui, Keiichiro Okamoto, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue. Effects of potassium on laryngeal induced swallowing rate in rats. *American Journal of Physiology-Gastrointestinal and Liver Physiology*. 328(5):G502-512.2025.
- 4) Sta Maria MT, Hasegawa Y, Yoshimura S, Suzuki T, Ono

- Y, Sakata M, Shiramizu M, Hori K, Yamamura K, Ono T. Impact of Chewing Behavior Change on Cognition and Cerebral Hemodynamics. *JDR Clin Trans Res*. Nov 26:23800844251388317. doi: 10.1177/23800844251388317. Online ahead of print.
- 5) Miyazaki Y, Ono Y, Suzuki T, Hasegawa Y, Yoshimura S, Sta Maria MT, Hori K, Yamamura K, Ono T. Habitual attentional mastication boosts prefrontal activity during chewing: A randomized trial. *J Prosthodont Res*. 2026 Jan 5. doi: 10.2186/jpr.JPR_D_25_00084. Online ahead of print.
- 6) 岡本圭一郎, 柿原嘉人, 野中由香莉, 多部田康一, 山村健介. 米発酵食品の健康機能性について—歯学部からの取り組み— *日本醸造協会誌* 121(2) 7178.2026.

【研究費獲得】

- 1) 山村健介(代表者)認知症高齢者の包括的な食支援モデルの構築. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B). 22H03375.2022 (継続).
- 2) 岡本圭一郎(代表者)トレッドミル走がストレス誘発性の顔面痛を軽減する脳メカニズム 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C). 23K09391 2025(継続).

【招待講演、シンポジウム】

- 1) Keiichiro Okamoto. Stress, No Enemy, Just Life! Managing psychological stress, Can Sake HELP? Minilecture Series, University of Peradeniya (Kandy, スリランカ), 2025年5月23日.
- 2) 岡本圭一郎. 人生100年時代の健康長寿は「食」から「米由来食品でストレスを解消する」新潟大学研究企画推進部 社会連携課 新潟大学公開講座 (新潟市) 2025年11月22日.
- 3) 岡本圭一郎. 歯科医が語る 酒は百薬の長、か? ~ 酒粕、甘酒、日本酒と健康を考える~第68回秋季日本歯周病学会学術大会 (新潟市) 市民公開講座 2025年10月18日.
- 4) 岡本圭一郎. 公開シンポジウム「地域の特色を生かした大学の取組×学術とスタートアップの両輪での推進に向けて」日本学術会議若手アカデミー (新潟市) 2025年9月16日.

【学会】

- 1) Takumi Kato, Andi Sitti, Hajrah Yusuf, Yuya Iwamoto, Mana Hasegawa, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto. Treadmill running preconditioning attenuates craniofacial nociception via region-specific

- modulation in the trigeminal pathway. 第103回日本生理学会 (東京) 2026年3月10日
- 2) Andi Sitti, Hajrah Yusuf, Yuya Iwamoto, Takumi Kato, Mana Hasegawa, Rantaro Kamimura, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto. Preconditioning treadmill running attenuates craniofacial pain-like behaviors and limbic neural changes associated with craniofacial inflammation in mice. 第103回 日本生理学会 (東京) 2026年3月10日.
- 3) Andi Sitti, Hajrah Yusuf, Aditya Anugrah, Yuya Iwamoto, Takumi Kato, Mana Hasegawa, Keiichiro Okamoto, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura. Preconditioning Treadmill Running Attenuates Craniofacial Pain- and Anxiety-like Behaviors and Neural Alterations Induced by Persistent Masseter Muscle Inflammation in Mice. International Collaborative Symposium on Development of human resources in practical oral health and treatment. Kuala Lumpur, Malaysia. 2026年2月9日.
- 4) Charng-Rong Pan, Hokuto Hamashima, Yuhei Tsutsui, Keiichiro Okamoto, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue. Laryngeal heat stimulation evokes the swallowing reflex in anesthetized rats. 第16回三叉神経領域の感覚運動統合機構研究会 (千葉). 2025年11月29日.
- 5) Takanori Tsujimura, Charng-Rong Pan, Hokuto Hamashima, Yuhei Tsutsui, Midori Yoshihara, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Makoto Inoue. Involvement of TRPV1 receptor in the initiation of swallows evoked by heat stimulation in anesthetized rats Neuroscience (San Diego, SA) 2025.
- 6) 柿原嘉人, Jorge Sáez-Chandía, Stephanny Castillo-Quispe, 岡本圭一郎, 加来 賢, 照沼美穂 酒粕と米麴抽出物の骨粗鬆症改善効果. 第65回新潟生化学懇話会 (長岡市). 2025年10月18日.
- 7) 長谷川真奈, 岡本圭一郎, 岩本佑耶, 藤井規孝, 山村健介. トレッドミル運動がストレス誘発性の顔面痛と脳内エピジェネティック変化に及ぼす影響. 第25回日本歯科医学会学術大会. 2025年9月26日.
- 8) 柿原嘉人, 岡本圭一郎 米発酵食品に含まれる物質の脂肪細胞への影響. 第25回日本歯科医学会学術大会. 2025年9月26日.
- 9) 岩本佑耶, 長谷川真奈, 岡本圭一郎, 山村健介, 藤井規孝: アグマチンは顎顔面部の持続性炎症に伴う不安行動と中枢神経機能の変調を改善する. 日本補綴歯科学会第134回学術大会. 長崎. 2025年5月17-18日.

- 10) 長谷川真奈, 岡本圭一郎, 岩本佑耶, 山村健介, 藤井規孝: トレッドミル運動によるストレス誘発顔面痛と不安の軽減効果は運動頻度に依存する. 日本補綴歯科学会第134回学術大会. 長崎. 2025年5月17-18日.
- 11) 加藤哲也, 松尾小百合, 小林琢也, 熊谷美保, 森川和政, 山村健介, 黒瀬雅之: 簡易型粘度計の小型化・低コスト化への取り組み. 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 第36回学術大会. (北海道石狩郡当別町) 2025年9月14日-15日.
- 5) Yamamoto T, Ujita T, Sato-Yamada Y, Ichiki T, Kishimoto N, Terunuma M, Seo K: HCN2 channels: a potential therapeutic target for orofacial neuropathic pain after trigeminal nerve injury, *J Oral Facial Pain Headache*. 2026 Jan;40 (1): 151-156. doi: 10.22514/jofph.2026.013.
- 6) Nasu Y, Terunuma M: From metabolism to mood regulation: astrocytes as a driver of depression. *Front Cell Neurosci*. 2026 Mar 4;20:1776649. doi: 10.3389/fncel.2026.1776649.

【受賞】

- 1) 長谷川真奈, 岡本圭一郎, 岩本佑耶, 藤井規孝, 山村健介: トレッドミル運動がストレス誘発性の顎顔面痛と脳内エピジェネティック変化に及ぼす影響. ポスター賞 若手研究者部門. 第25回日本歯科医学会学術大会. 2025年9月26-28日.

【商業誌】

- 1) 市木貴子: 消化管におけるセンシング機構, 生体の科学 特集 味と匂いの脳科学, 76(4) 369-374, 2025年8月.

【著書】

- 1) 照沼美穂: 「V編 生体と薬物」執筆 歯科衛生士国家試験ポイントチェック①人体の構造と機能/歯・口腔の構造と機能/疾病の成り立ち及び回復過程の促進 令和4年版出題基準準拠 医歯薬出版 第1版第4刷, 東京, 2026.

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Agetsuma M, Hatakeyama A, Yamada D, Kuniishi H, Ito C, Takeuchi E, Tsuji S, Tsutsumi M, Ichiki T, Otomo K, Yoshioka T, Kobayashi T, Noritake A, Aoki Y, Nemoto T, Yukawa H, Saitoh A, Nabekura J, Sekiguchi M: Minimally invasive, wide-field two-photon imaging of the brainstem at cellular resolution. *Cell Rep Methods*. 2025 Apr 21;5(4): 101010. doi: 10.1016/j.crmeth.2025.101010.
- 2) Sáez-Chandía J, Castillo-Quispe S, Okamoto K, Kurahashi A, Kodaira K, Aihara K, Suzuki-Barrera K, Kaku M, Mikami Y, Terunuma M, Yamamura K, Hayashi T, Saeki M, Kakihara Y. Effects of Freeze-Dried Sake Lees and Rice Koji Extract on Osteoporosis in a Postmenopausal Mouse Model. *Nutrients*. 2025 Sep 27;17(19):3077. doi: 10.3390/nu17193077.
- 3) Nasu Y, Kishikawa S, Imai M, Yokoyama N, Iida I, Tabeta K, Terunuma M: Ammonia reduces glutamine synthetase expression in astrocytes via activation of Hippo-Yap signaling pathways. *Commun Biol*. 2025 Dec 13;8(1):1810. doi: 10.1038/s42003-025-09191-5.
- 4) Hatakeyama A, Ito C, Yamada D, Ichiki T, Sakai T, Yukawa H, Saitoh A, Nabekura J, Sekiguchi M, Agetsuma M: Protocol for wide-field brainstem imaging largely preserving the overlying cerebellum. *STAR protocols*. 2025 Dec 19;6(4): 104258-104258. doi: 10.1016/j.xpro.2025.104258.

【研究費獲得】

- 1) 照沼美穂 (代表): 口腔感染症から紐解く正中隆起ペリニューロナルネットの機能. 日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的研究 (萌芽), 24K22181.
- 2) 照沼美穂 (代表): 新たな不安発症の分子基盤解明のための日丁共同研究. 日本学術振興会科学研究費基金 国際共同研究強化 (B), 22KK0140.
- 3) 照沼美穂 (代表): 2025年度 学術研究動向等調査に関する委託研究. 日本学術振興会学術システム研究センター
- 4) 照沼美穂 (分担): 乳歯歯髄細胞は糖尿病治療の一助となる. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤 (B), 25K02832.
- 5) 照沼美穂 (分担): 抗酸化物質による移植細胞の長期保存、長期機能発現を可能にする新規骨増生法の開発. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤 (C), 23K09272.
- 6) 照沼美穂 (分担): チタン結晶構造制御とVUV照射による骨結合促進可能なインプラント表面開発. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤 (C), 23K09292.
- 7) 照沼美穂 (分担): 抗不安モデルマウスを用いたストレス耐性神経回路の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤 (C), 23K068043.
- 8) 市木貴子 (代表): 革新的イメージング技術による

脳腸関連メカニズムの解明. JST 戦略的創造研究推進事業 さきがけ「生体多感覚システム」領域, J23829130.

- 9) 市木貴子 (代表): 消化管におけるアレルギー受容メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (B), 24K02119.
- 10) 市木貴子 (分担): 新たな不安発症の分子基盤解明のための日丁共同研究. 日本学術振興会科学研究費基金 国際共同研究強化 (B), 22KK0140.
- 11) 那須優介 (代表): 歯周病原細菌による菌血症がもたらす精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 24K23544.
- 12) 那須優介 (代表): 歯周病原細菌による視床下部血管バリア機能破綻メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 25K20266.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 照沼美穂: 脳恒常性におけるグリア細胞特異的代謝機構の役割. 第 68 回日本神経化学学会大会, 愛知, 2025 年 9 月 12 日.
- 2) Miho Terunuma: The influence of nutrition and the oral microbiome on systemic diseases. Congress of the "Carol Davila" University of Medicine and Pharmacy. October 23-25, 2025.
- 3) 照沼美穂: 脳内アンモニア代謝の制御機構と疾患や老化との関わり. 第 98 回日本生化学学会大会, 京都, 2025 年 11 月 3-5 日.
- 4) 照沼美穂: 快感の分子基盤と薬物依存症. BPCNP2015 合同年会, 京都, 2025 年 11 月 11-15 日.
- 5) 照沼美穂: アミノ酸と脳健康. 日本栄養食糧学会 関東支部大会シンポジウム 第 115 回シンポジウム「脳科学 x 栄養科学のフロンティア」, 東京, 2025 年 12 月 16 日.
- 6) 照沼美穂: 摂取タンパク質の感受と脳への影響. 日本農芸化学会 2026 年度京都大会, 京都, 2025 年 3 月 9-12 日.
- 7) 市木貴子: 内臓感覚の in vivo イメージングによる脳腸関連の解明. 第 48 回日本神経科学大会, 新潟, 2025 年 7 月 27 日.
- 8) 市木貴子, 照沼美穂: In vivo イメージングを用いた腸管における栄養感知メカニズムの解析. 第 67 回歯科基礎医学学会学術大会, 北九州, 2025 年 9 月 6 日.
- 9) 市木貴子: 生体内イメージングから読み解く内臓感覚と脳腸軸のメカニズム. PSJ Beacon Symposium 2025「外界に適応するためのアロスタシス制御の神経メカニズム」, 東京, 2025 年 12 月 5 日.

- 10) 市木貴子: 迷走神経と腸管神経系の in vivo イメージングが明らかにする脳腸関連メカニズム, 第 103 回 日本生理学会大会, 東京, 2026 年 3 月 10 日.
- 11) Takako Ichiki, Miho Terunuma: How the gut "tastes" nutrients: Live imaging of gut-brain signaling, International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, マレーシア クアラルンプール, 2026 年 2 月 8 日.

【国際学会発表】

- 1) Yusuke Nasu, Miho Terunuma: Regulatory mechanism of astrocytic glutamine synthetase expression via Hippo-YAP pathway. CINP-AsCNP 2025 Joint Congress, Melbourne, Australia, June 15-18, 2025.
- 2) Yusuke Nasu, Miho Terunuma: Regulation of glutamate-ammonia metabolism through astrocytic Hippo-YAP pathway. ISN-ASN 2025, New York, USA, August 19-22, 2025.
- 3) Tomofumi Otsuki, Joao Pedro Junqueira, Jumpei Matsumoto, Tsuyoshi Setogawa, Daisuke Uta, Hiroshi Nishimaru: Alteration of locomotion and licking in paclitaxel-induced neuropathic pain model mice during goal-directed behavior. Society for Neuroscience Annual Meeting 2025 (San Diego, California, USA), November 15-19, 2025.

【国内学会発表】

- 1) 那須優介, 多部田康一, 照沼美穂: 歯周病原細菌性菌血症による精神疾患発症機構の検討. 第 68 回日本神経化学学会大会, 愛知, 2025 年 9 月 11-13 日.
- 2) Stephanny Castillo-Quispe, Miho Terunuma, Yoshito Kakihara: Effects of compounds in rice fermented food on differentiation in bone metabolic cells. 第 25 回日本歯科医学学会学術大会, 横浜, 2025 年 9 月 26-28 日.

【研究会発表】

- 1) 市木貴子: 脳腸関連の神経機構: in vivo イメージングによる腸管の栄養感知メカニズムの解析, 生理研研究会 食理学研究会 2025, 2025 年 10 月 17 日.
- 2) 市木貴子: In vivo イメージングが明かす脳腸軸と内臓過敏の新機構, 大阪大学蛋白質研究所セミナー 大阪, 2025 年 11 月 5 日.
- 3) Stephanny Castillo-Quispe, Miho Terunuma, Yoshito Kakihara: Metabolome-Based Identification of Sake Lees-Derived Compounds that Modulate Osteoclast Differentiation. 第 65 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2025 年 10 月 18 日.

- 4) Muhamamd Fadhli Putranto, Mamiko Imai, Nozomi Yokoyama, Miho Terunuma: Generation of mouse model of hyperammonemia using ammonium chloride. 第 65 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2025 年 10 月 18 日.
- 5) Han Lu, Takako Ichiki, Miho Terunuma: Expression of GABA receptors in the gastrointestinal tract and potential involvement in vagal activation by dietary GABA. 第 65 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2025 年 10 月 18 日.
- 6) 柿原嘉人、Jorge Sáez-Chandía、Stephanny Castillo-Quispe、照沼美穂: 酒粕と米麴抽出物の骨粗鬆症改善効果. 第 65 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2025 年 10 月 18 日.

【その他】

- 1) 照沼美穂: Ammonia reduces glutamine synthetase expression in astrocytes via activation of Hippo-YAP signaling pathways. オルガネラ研究会, 新潟県新潟市, 2025 年 6 月 6 日.
- 2) 照沼美穂: 神経伝達物質を基軸とした神経科学研究. ながひさ科学振興財団学術委員セミナー, 京都府京都市, 2025 年 12 月 6 日.

【受賞】

- 1) Yusuke Nasu: Yusuke Nasu, Miho Terunuma: Regulatory mechanism of astrocytic glutamine synthetase expression via Hippo-YAP pathway. **JSNP Excellent Presentation Award for CINP**, CINP-AsCNP 2025 Joint Congress, Melbourne, Australia, June 17, 2025.
- 2) Stephanny Castillo-Quispe: Stephanny Castillo-Quispe, Miho Terunuma, Yoshito Kakihara: Metabolome-Based Identification of Sake Lees-Derived Compounds that Modulate Osteoclast Differentiation. 優秀発表賞, 第 65 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2025 年 10 月 18 日.
- 3) Stephanny Castillo-Quispe: 捨てない未来へ: 新潟酒粕キノコが変える地域・食・健康の三重奏. 「こいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト 2025 特別賞
- 4) 市木貴子: 令和 7 年度新年俸制教員特別報奨, 新潟大学, 2026 年 3 月 10 日
- Matsuda K : Analysis of the Effect of Human Type I Collagen-Derived Peptide on Bone Regenerative Capacity and Comparison with Various Collagen Materials In Vivo. *Medicina (Kaunas)* 61(1):57, 2025.
- 2) Nakajima M, Kapate N, Clegg JR, Ikeda-Imafuku M, Park KS, Kumbhojkar N, Suja VC, Prakash S, Wang LLW, Tabeta K, Mitragotri S : Backpack-carrying macrophage immunotherapy for periodontitis. *J Control Release* 377 : 315-323, 2025.
- 3) Sasagawa K, Domon H, Hirayama S, Maekawa T, Isono T, Tabeta K, Terao Y : Secretory leucocyte protease inhibitor regulates bone metabolism and inflammation in experimental mouse periodontitis. *Commun Biol* 8 : 760, 2025.
- 4) Motosugi S, Takahashi N, Mineo S, Sato K, Tsuzuno T, Aoki-Nonaka Y, Nakajima N, Takahashi K, Sato H, Miyazawa H, Taniguchi K, Terai S, Tabeta K : Enrichment of *Porphyromonas gingivalis* in colonic mucosa-associated microbiota and its enhanced adhesion to epithelium in colorectal carcinogenesis: Insights from in vivo and clinical studies. *PLoS One* 20 : e0320383, 2025.
- 5) Nakajima M, Yanagawa M, Takikawa H, Tran Thien T, Zegarra-Caceres L, Yan C, Tabeta K : Advances in Local Drug Delivery for Periodontal Treatment: Present Strategies and Future Directions. *Biomolecules* 662 : 124544, 2025.
- 6) Yamada-Hara M, Amaya L, Wang Z, Byun JW, Takahashi N, Sharma S, Chang H, Tanaka A, Zeng L, Malakoutikhah Z, Ganguly S, Vu MC, Levin M, Schwartz D, Heath J, Herdman S, Corr M, Raz E, Bertin S : ROR γ t Inhibition Reduces Protumor Inflammation and Decreases Tumor Growth in Experimental Models of Lung Cancer. *Cancer Immunol Res* 13 : 1418-1434, 2025.
- 7) Yasui Y, Hirayama S, Domon H, Tabeta K, Terao Y : Functional rewiring of three pneumococcal proteins into plasminogen binders. *Microbiol Immunol* 69 : 486-492, 2025.
- 8) Leander MA, Karimah Z, Kuswandani SO, Lessang R, Masulili SLC, Sulijaya B, Hutomo DI, Rahdewati H, Tabeta K, Tadjoeidin FM : The Association of Periodontal Status, Salivary Flow Rate, Salivary Cortisol Levels, and Cytokine Levels with Cognitive Status in Elderly Subjects. *Geriatrics (Basel)* 10(5) : 127, 2025.
- 9) Surboyo MDC, El Fadhlallah PM, Sato-Yamada Y, Sirisereephap K, Fang M, Maeda T, Tomihara K, Tabeta K, Yoshiba N, Rosenkranz AL, Maekawa T : The effects of Zoledronate administration routes on the reproducibility of BRONJ in rodent models: A systematic

歯周診断・再建学分野

【論文】

- 1) Asakura T, Tran Thi Thuy Diep, Ueda Y, Yamada A, Tsuzuno T, Takahashi N, Miyata M, Tabeta K, Nagata M,

- review. Bone 199 : 117563, 2025.
- 10) Ando D, Lwin HY, Aoki-Nonaka Y, Matsugishi-Nasu A, Minato Y, Warita Y, Takahashi N, Tabeta K : Ferulic acid suppresses *Porphyromonas gingivalis* biofilm formation via the inhibition of autoinducer-2 production and receptor activity. Arch Oral Biol 178 : 106365, 2025.
 - 11) Endo M, Domon H, Hirayama S, Takizawa F, Ushida A, Tabeta K, Terao Y : Ozone ultrafine bubble water sterilizes *Porphyromonas gingivalis* and neutralizes its virulence factors. PLoS One 20 : e0334259, 2025.
 - 12) Aoki-Nonaka Y, Matsugishi-Nasu A, Lwin HY, Minato Y, Ando D, Warita Y, Takahashi N, Tabeta K: Antimicrobial and antibiofilm effects of a leucine-substituted rice peptide against *Porphyromonas gingivalis* and *Fusobacterium nucleatum*. Microbial Pathogenesis 209 : 108052, 2025.
 - 13) Yamada A, Tsuzuno T, Tabeta K, Tomihara K, Nagata M : Human Demineralized Bone Matrix as a Cell Transplant Scaffold for Bone Regenerative Cell Therapy. Oral Sci Int 23 : 1, 2025.
 - 14) Nasu Y, Kishikawa S, Imai M, Yokoyama N, Iida I, Tabeta K, Terunuma M: Ammonia reduces glutamine synthetase expression in astrocytes via activation of Hippo-YAP signaling pathways. Commun Biol 8, 1810, 2025.
 - 15) Yanagawa M, Nakajima M, Ikeda-Imafuku M, Fukuta T, Yoshimura K, Yan C, Zegarra LC, Takikawa H, Thien TT, Koizumi R, Tabeta K. Development of Biocompatible Fatty Acid-Based Ionic Liquids for the Effective Topical Treatment of Periodontitis. ACS Omega 11(1):1495-1504.
 - 16) Tran D, Takahashi N, Tsuzuno T, Motosugi S, Ueda Y, Yamada A, Aoki-Nonaka Y, Nagata M, Tabeta K: The favorable role of recombinant collagen peptide in periosteal cell-derived osteoregeneration. Regen Ther 31:101064, 2026.
 - 17) 保苺崇大, 野中由香莉, 濃野要, 杉原俊太郎, 新井恭子, 鎗田将史, 宮沢春菜, 山本裕子, 佐藤友則, 高橋直紀, 小松康高, 小牧基浩, 多部田康一, 両角俊哉 : スケーリング・ルートプレーニングおよび Er:YAG レーザーを用いた歯肉縁下スケーリングによる生体ストレス反応 : パイロット研究. 日歯周誌 67 (3) : 111-121, 2025.
 - 18) 岡本圭一郎, 柿原嘉人, 野中由香莉, 多部田康一, 山村健介 : 米発酵食品からの健康機能性についてー歯学部からの取り組みー. 日本醸造協会誌 121 (2) : 71-79, 2026.
 - 1) 多部田康一 (研究代表者) : ePISA Ready : 歯周炎症の“見える化”ーPHR 搭載に向けた実装前検証. 令和7年度日本歯科医学会プロジェクト研究費, 2025.
 - 2) 多部田康一 (研究代表者) : ePISA Ready : 歯周炎症の“見える化”ーPHR 搭載に向けた実装前検証. 令和7年度日本歯科医学会プロジェクト研究費, 2025.
 - 3) 多部田康一(研究分担者) : 骨膜細胞由来マトリクソームを基軸とした新規骨再生モダリティの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 研究代表者 : 高橋直紀, 25K13001, 2025.
 - 4) 多部田康一(研究分担者) : 老化幹細胞の変容機構解明とその制御による再生能力賦活化. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者 : 前川知樹, 25K02810, 2025.
 - 5) 野中由香莉 (研究代表者) : 選択的ジペプチジルペプチダーゼ阻害薬による糖尿病関連歯周炎に対する創薬研究. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究(C), 24K12945, 2025.
 - 6) 野中由香莉 (研究分担者) : 糖非発酵グラム陰性細菌のペプチド代謝機構を標的とした抗菌薬開発. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究(C), 研究代表者 : 阪本泰光, 24K09765, 2025.
 - 7) 中島麻由佳 (研究代表者) : MPN ナノ粒子によるバイオフィルム標的 DDS の開発研究. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 25K20281, 2025.
 - 8) 杉田典子 : 歯周炎と死亡率の関連性におけるエネルギー代謝調節遺伝子の役割. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12911, 2025.
 - 9) 佐藤圭祐 : GCF 中 micro RNA 解析による咬合性外傷診断新規バイオマーカーの探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 25K13031, 2025.
 - 10) 原 実生(研究代表者) : 歯周病原細菌による呼吸器上皮バリア機能破綻と肺がん発症機構を解明する. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K19892, 2025.
 - 11) 原 実生(研究分担者) : 口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 国際共同研究加速基金(海外連携研究), 研究代表者 : 前川知樹, 23KK0160, 2025.
 - 12) 原 実生 (研究分担者) : 老化幹細胞の変容機構解明とその制御による再生能力賦活化. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者 : 前川知樹, 25K02810, 2025.
 - 13) 田村 光 (研究代表者) : 炎症性組織破壊における性差の関連機序解析. 日本学術振興会科学研究費基金研究活動スタート支援, 25K24091, 2025.
 - 14) 保苺崇大 (研究代表者) : 呼吸器マイクロバイオームの動態に着目した歯周病による COPD 増悪メカニズ

【研究費獲得】

- ムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K15185, 2025.
- 15) 松岸 葵 (研究代表者): 歯周病が脂質代謝へ及ぼす影響—TRPV1 チャネルを介したメカニズムの解明—. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究, 24K19893, 2025.
 - 16) 都野隆博 (研究代表者): 培養骨膜細胞シートにおける部位特異的な細胞特性に着目した高効率化骨再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K19875, 2025.
 - 17) 都野隆博 (研究分担者): 口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 国際共同研究加速基金(海外連携研究), 研究代表者: 前川知樹, 23KK0160, 2025.
 - 18) 峯尾修平 (研究代表者): ヒト培養骨膜細胞由来エクソソームによる新規骨再生技術の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 25K20264, 2025.
 - 19) 笹川花梨 (研究代表者): ロイコトリエン拮抗剤の炎症制御・骨代謝促進に着目した新規骨再生療法の開発. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究, 25K20265, 2025.
 - 20) 笹川花梨 (研究代表者): NF- κ B を介した再生ニッチ制御による骨再生迅速化技術の開発. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 24K23614, 2025.
 - 21) 那須優介 (研究代表者): 歯周病原細菌による菌血症がもたらす精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 24K23544, 2025.
 - 22) 那須優介 (研究代表者): 歯周病原細菌による視床下部血管バリア機能破綻メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 25K20266, 2025.
 - 23) 滝澤史雄: 肺炎重症化因子のプロテオーム解析を基盤とした老化と肺炎重症化の関連性の探索, 日本学術振興会 特別研究員 PD, 2025.
 - 24) 柳川万由子 (研究代表者): イオン液体 (IL) を用いた歯周塗布薬の開発研究. 令和7年度新潟大学新次世代プロジェクト (旧フェローシップ) 支援事業研究費, J25H0001, 2025.
 - 25) 安井惟人: “やさしい創薬研究”イノベーション(AIM)に着目した肺炎の創薬研究. 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト (新次世代プロジェクト) 研究費, 2025.
 - 26) 植田優太 (研究代表者): 骨膜細胞移植を基軸とした新規骨再生療法の開発研究. 令和7年度新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト研究費, J25H0001, 2025.
 - 27) 遠藤 愛: ポスト長寿社会の研究〜モデル生物実験系の作製と *in vivo* シミュレーション〜, 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト 2025.
 - 28) 小泉瑠果 (研究代表者): cellular backpack(BP)を用いた歯周免疫治療開発研究. 令和7年度新潟大学新次世代プロジェクト支援事業研究費, J25H0001, 2025.
 - 29) 山内瑞起: 時代環境共通因子の同定と時代ごとの細菌叢再構築による未来口腔疾患科学, 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, 2025.
- 【講演・シンポジウム】**
- 1) Tabeta K : Developing Novel Modalities for Periodontal Disease. Guest Lecture in TIIKG2025 Meeting, Macassar, Indonesia, February 21, 2025.
 - 2) Tabeta K : The present and future of periodontics, Kathmandu University and Niigata University International Meeting, Dhulikhel, Nepal, April 27, 2025.
 - 3) 多部田康一: 歯周病の感染制御を目指したモダリティ開発. 第79回NPO法人日本口腔科学会学術集会, 長野, 2025年5月16日.
 - 4) 滝澤史雄: ウルトラファインバブル技術を応用した新規消毒液の開発と作用解析. 第10回口腔微生物研究会, 福岡, 2025年9月8日.
 - 5) 多部田康一: 歯周病と生涯の健康. 三条市大学講座, 三条市, 2025年10月3日.
 - 6) 中島麻由佳: ドラッグデリバリーシステムから拓く歯周病治療の新たな可能性. 第68回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025年10月17日.
 - 7) 多部田康一: 歯周病学のアップデートと歯周基本治療の再確認. 新潟大学歯学部同窓会山形支部, 山形, 2025年11月23日.
- 【学会発表】**
- 1) Warita Y, Aoki-Nonaka Y, Minato Y, Hidaka K, Ando D, Hnin Yu Lwin, Matsugishi-Nasu A, Takahashi N, Sakamoto Y, Tabeta K: Dipeptidyl peptidase inhibitor suppresses alveolar bone resorption by experimental periodontitis, The 104th general session & exhibition of the IADR, San Diego, California, USA, March 25-28, 2026.
 - 2) Lorena Zegarra, Mayuka Nakajima, Mayuko Yanagawa, Yan Chunyang, Honoka Takikawa, Truong Tran, Ruka Koizumi, Keisuke Sato, Koichi Tabeta: A novel Ionic Liquid as an alternative to antibiotics in

- Periodontal Therapy. 104th General Session & Exhibition of the International Association for Dental, Oral, and Craniofacial Research, San Diego, California, USA, March 25-28, 2026.
- 3) Honoka Takikawa, Mayuka Nakajima, Mayuko Yanagawa, Lorena Zegarra, Ruka Koizumi, Truong Tran, Keisuke Sato, Koichi Tabeta: Patient-derived biofilm model for antibiofilm drug evaluation. 104th General Session & Exhibition of the International Association for Dental, Oral, and Craniofacial Research, San Diego, California, USA, March 25-28, 2026.
 - 4) Tran D, Takahashi N, Sasagawa K, Tsuzuno T, Motosugi S, Ueda Y, Tran K, Nagata M, Tabeta K: The Role of NF- κ B Inhibition by DHMEQ in Periosteal cell-derived Osteoregeneration. The International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Kuala Lumpur, Malaysia, February 8-9, 2026.
 - 5) Baba M, Yamada-Hara M, Tsuzuno T, Mineo S, Motosugi S, Ueda Y, Kobayashi K, Takahashi N, Tabeta K: Induction of lung inflammation in mice by aerosolized periodontopathic bacteria. The 104th General Session & Exhibition of the IADR, San Diego, USA, March 25-28, 2026.
 - 6) Ueda Y, Takahashi N, Tsuzuno T, Nagata M, Motosugi S, Yamada A, Tran D, Tran K, Kobayashi K, Baba M, Yamada-Hara M, Tabeta K: Osteogenic responses of periosteal cells to bone graft substitutes. The 104th General Session & Exhibition of the IADR, San Diego, USA, March 25-28, 2026.
 - 7) Nasu Y, Terunuma M: Regulatory mechanism of astrocytic glutamine synthetase expression via Hippo-YAP pathway. CINP-AsCNP 2025 Joint Congress, Melbourne, Australia, Melbourne, June 17, 2025.
 - 8) 多部田康一, 植田優太, 高橋直紀, 都野隆博, 本杉駿弥, Tran Diep, 山田 葵, 永田昌毅, 泉 健次: ヒト培養骨膜細胞シートにおける Optical Coherence Tomography を用いた品質評価方法の検討. 第 24 回日本再生医療学会, 横浜, 2025 年 3 月 20 日.
 - 9) 割田悠子, 野中由香莉, 湊裕佳子, 松岸 葵, 安藤大樹, 多部田康一: ペプチド型ジペプチジルペプチダーゼ阻害剤は歯周炎モデルマウスにおいて歯槽骨吸収を抑制する. 第 58 回新潟歯学会総会, 新潟, 2025 年 4 月 12 日, プログラムおよび講演抄録集: 10 頁, 2025.
 - 10) 遠藤 愛, 土門久哲, 平山 悟, 牛田晃臣, 寺尾 豊, 多部田康一: *Porphyromonas gingivalis* およびその病原因子に対するオゾンウルトラファインバブル水の作用解析. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 那覇, 2025 年 5 月 23 日, プログラムおよび講演抄録集: 154 頁, 2025.
 - 11) 安井惟人, 平山 悟, 土門久哲, 寺尾 豊: 肺炎球菌は複数のプラスミノーゲン結合タンパク質を発現しプラスミンへの変換を促進する. 第 98 回日本細菌学会総会, 金沢, 2025 年 5 月 29~31 日, プログラムおよび講演抄録集: 111 頁, 2025.
 - 12) 遠藤 愛, 土門久哲, 平山 悟, 牛田晃臣, 寺尾 豊: オゾンウルトラファインバブル水による *Porphyromonas gingivalis* 殺菌作用およびジンジバイン不活化作用解析. 第 98 回日本細菌学会総会, 金沢, 2025 年 5 月 29~31 日, プログラムおよび講演抄録集: 120 頁, 2025.
 - 13) 柳川万由子, 中島麻由佳, Yan C, Zegarra C, 多部田康一: 歯周治療への応用を目的とした新規脂肪酸由来イオン液体の設計と評価. 令和 7 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2025 年 7 月 12 日, プログラムおよび講演抄録集: 9 頁, 2025.
 - 14) 日高興士, 阪本泰光, 關谷瑞樹, 野中由香莉, 多部田康一, 中村彰宏, 小笠原渉: ポルフィロモナス・ジンジバリス DPP7 を標的とするジペプチド型阻害剤 KGDI-109 の抗菌作用と毒性評価. 第 30 回日本病態プロテアーゼ学会学術集会, 名古屋, 2025 年 8 月 8 日, プログラムおよび講演抄録集: 28 頁, 2025.
 - 15) 滝澤史雄: 肺炎重症化における High-Mobility Group Box 1 の作用解析. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025 年 9 月 5 日, プログラムおよび講演抄録集: 89 頁, 2025.
 - 16) 安井惟人, 平山 悟, 土門久哲, 寺尾 豊: マクロファージ分泌タンパク質 AIM が肺炎球菌に及ぼす影響の解析. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025 年 9 月 5~7 日, プログラムおよび講演抄録集: 119 頁, 2025.
 - 17) 遠藤 愛, 土門久哲, 平山 悟, 滝澤史雄, 寺尾 豊: オゾンウルトラファインバブル水は *Porphyromonas gingivalis* を殺菌しジンジバインおよびリポプロテインを不活化する. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025 年 9 月 5~7 日, プログラムおよび講演抄録集: 167 頁, 2025.
 - 18) 那須優介, 多部田康一, 照沼美穂: 歯周病原細菌性菌血症による精神疾患発症機構の検討. 第 68 回日本神経化学学会大会, 愛知, 2025 年 9 月 12 日, プログラムおよび講演抄録集: 68 頁, 2025.
 - 19) 瀧川ほのか, 佐藤圭祐, 吉田謙介, 多部田康一: 歯周外科治療における予防的抗菌薬適正使用の検討. 第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟市, 2025 年 10 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集: 36

頁, 2025.

- 20) 遠藤 愛, 土門久哲, 滝澤史雄, 平山 悟, 牛田晃臣, 吉田明弘, 寺尾 豊, 多部田康一: 口腔細菌およびその病原因子に対するオゾンナノ水の作用解析. 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025 年 10 月 16 日, プログラムおよび講演抄録集: 31 頁, 2025.
- 21) 植田優太, 高橋直紀, 都野隆博, 永田昌毅, 本杉駿弥, 山田 葵, Tran Diep, Tran Khoa, 小林航大, 馬場水彩妃, 原 実生, 多部田康一: 各種人工足場材料に対するヒト培養骨膜細胞の生物学的応答性の解析. 第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025 年 10 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集: 139 頁, 2025.
- 22) 馬場水彩妃, 原 実生, 都野隆博, 峯尾修平, 本杉駿弥, 植田優太, 小林航大, 高橋直紀, 多部田康一: 歯周病原細菌の気管内噴霧投与による肺炎誘導能の検討. 第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025 年 10 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集: 154 頁, 2025.
- 23) Koushi Hidaka, Yasumitsu Sakamoto, Mizuki Sekiya, Yukari Nonaka, Koichi Tabeta, Akihiro Nakamura, Wataru Ogasawara: Antibacterial activity and toxicity evaluation of dipeptide analogs targeting *Porphyromonas gingivalis* DPP7. 第 62 回ペプチド討論会, 福岡, 2025 年 10 月 21~23 日, プログラムおよび講演抄録集: 10 頁, 2025.
- 24) 瀧川ほのか, 佐藤圭祐, 多部田康一: 歯周外科治療における予防的抗菌薬適正使用の検討, 令和 7 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2025 年 11 月 8 日, プログラムおよび講演抄録集: 11 頁, 2025.

【受賞】

- 1) Nasu Y, Terunuma M: Regulatory mechanism of astrocytic glutamine synthetase expression via Hippo-YAP pathway. JSNP Excellent Presentation Award, CINP-AsCNP 2025 Joint Congress, Melbourne, Australia, June 17, 2025.
- 2) 中島麻由佳: Backpack-carrying macrophage immunotherapy for periodontitis. (Journal of Controlled Release 377: 315-323, 2025), IADR Women in Science Network Distinguished Research Award, 2025 年 6 月 26 日.
- 3) 滝澤史雄: ウルトラファインバブル技術を応用した新規消毒液の開発と作用解析. 新潟歯学会奨励賞, 令和 7 年度新潟歯学会第 58 回総会, 2025 年 4 月 12 日.
- 4) 植田優太: Optical Coherence Tomography を用いた培

養骨膜シートの厚みと骨形成能の関連性の検討. 歯周組織再生医学優秀発表賞(KAKEN Award), 第 68 回春季日本歯周病学会学術大会, 那覇, 2025 年 5 月 23 日.

- 5) Yan Chunyang: Choline and Geranate Ionic Liquid for Subgingival Biofilm Control. (International Journal of Pharmaceutics 662: 124544, 2024), 新潟大学学生優秀論文賞, 2025 年 8 月 7 日.
- 6) 中島麻由佳: Backpack-carrying macrophage immunotherapy for periodontitis. (Journal of Controlled Release 377: 315-323, 2025), 令和 7 年度 (第 12 回) 新潟大学学長賞 (若手教員研究奨励), 2025 年 10 月 3 日.

【その他】

- 1) 多部田康一: 歯周病の感染制御を目指したモダリティ開発. 大阪大学大学院セミナー, 大阪, 2025 年 7 月 10 日.
- 2) 多部田康一: 歯周医学: 研究, 臨床におけるエビデンスの理解. 大阪大学特別講義, 大阪, 2025 年 7 月 10 日.
- 3) 多部田康一: 新潟大学医歯学総合病院歯科の現状と展望. 新潟大学歯学部創立 60 周年記念事業, 新潟, 2025 年 11 月 1 日.
- 4) 田村 光: サイトカインストーム制御分子の検索と作用機構解明. 第 7 回オーラルサイエンス研究会, 新潟, 2025 年 11 月 9 日.
- 5) 柳川万由子: イオン液体 (IL) を用いた歯周塗布薬の開発研究. 博士学生支援プログラムシンポジウム (次世代プロジェクト事業報告会), 新潟, 2026 年 3 月 11 日.
- 6) 小泉瑠果: 共生細菌を用いた感染制御の介入による歯周病治療研究. 博士学生支援プログラムシンポジウム (次世代プロジェクト事業報告会), 新潟, 2026 年 3 月 11 日.

歯科矯正学分野

【著書】

なし.

【論文】

- 1) 丹原 惇, 高橋功次郎, 大森裕子, 大川加奈子: (総説) 歯科矯正学の現在地. 新潟歯学会誌 55(2): 1-10. 2025
- 2) Atarashi C, Osawa K, Saito D, Nishiyama H, Tomihara K, Saito I, Nihara J: Three-dimensional analysis of

maxillary asymmetry in patients with mandibular prognathism. *Maxillofac Plast Reconstr Sur*, in press, 2026.

- 3) Zhuoyang Zheng, Daisuke Saito, Daichi Hasebe, Akinori Funayama, Jun Nihara, Tadaharu Kobayashi: Three-dimensional evaluation of maxillofacial symmetry improvement following orthognathic surgery in patients with asymmetrical jaw deformities. *Oral and Maxillofacial Surgery*, 29(1), 2025.
- 4) Finsa Tisna Sari, Maiko Kawasaki, Katsushige Kawasaki, Vanessa Utama, Alex Kesuma, Makoto Fukushima, Takehisa Kudo, Akira Fujita, Kaya Ichikawa, Yurie Sato-Yamada, Ippei Shimizu, Tohru Minamino, Jun Nihara, Atsushi Ohazama: Senescence in palatal rugae development. *Journal of Oral Biosciences*. 67(4),2025
- 5) Kawasaki Katsushige, Kawasaki Maiko, Sari Finsa Tisna, Utama Vanessa, Kesuma Alex, Fukushima Makoto, Saito Naoaki, Suda Daisuke, Kudo Takehisa, Fujita Akira, Nihara Jun, Franco Brunella, Ohazama Atsushi: Early increased cell proliferation compensates subsequent hypoplasia of the ossicle. *Frontiers in Cell and Developmental Biology*. 13, 2025
- 6) 上村藍太郎, 高橋功次朗, 齋藤大輔, 小林正治, 丹原 惇. 脊髄小脳変性症を伴う Angle ClassIII 骨格性下顎前突症例に対して外科的矯正治療を行った 1 例. *日本顎変形症学会雑誌*. 35(3): 235-245, 2025.
- 7) Meguro F, Kawasaki K, Kakihara Y, Kawasaki M, Fukushima M, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Nihara J, Kudo T, Fujita A, Ichikawa K, Osawa K, Maeda T, Tabeta K, Saeki M, Ohazama A : DNA repair during embryonic epidermal stratification. *Dev Dyn*. 2025
- 8) Masaki Kasahara, Daichi Hasebe, Daisuke Suda, Hidenobu Sakuma, Naoaki Saito, Daisuke Saito, Jun Nihara, Tadaharu Kobayashi: Stability of the maxilla and mandible in patients with dentofacial deformities after multi-segmental Le Fort I osteotomy combined with sagittal split ramus osteotomy. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*,37(3), 475-479,2025.

【商業誌】

- 1) 須佐美隆史, 齋藤 功, 朝日藤寿一, 丹原 惇: 口唇裂・口蓋裂患者に対する最新治療 口唇裂・口蓋裂治療に関する多施設共同研究 世界の流れと日

本の現状, *矯正臨床ジャーナル*, 41(9) 37-54, 2025.

【研究費獲得】

- 1) 三村俊平: アプリケーションを用いた「骨格性下顎前突症患者における咀嚼様相」の定量的解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 25K20364, 2025.
- 2) 岩間 基: Wnt シグナルが加齢マウスにおける矯正学的歯の移動に及ぼす影響の解析. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 24K20430, 2025.
- 3) 小川卓也, 森山啓司, 井関祥子, 土谷 忍, 丹原 惇, 須田直人, 藤原琢也, 黒坂 寛, 早野 暁, 川元龍夫: 頭蓋顎顔面先天異常レジストリを活用した希少遺伝性疾患研究の基盤構築. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(B), 25K02831, 2025.
- 4) (継続分) 丹原 惇, 大峯 淳, 川崎真依子: 組織幹細胞の恒常性メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 24K13064, 2024.
- 5) (継続分) 大川加奈子: 舌圧と口蓋形態を指標とした骨格性開咬症の新たな機能的形態的特徴の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 24K20075, 2024.
- 6) (継続分) 工藤武久: 分子シャペロンの顎顔面形成における役割の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 24K20025, 2024.
- 7) (継続分) 新井萌生: 加齢を伴う SPARC-KO マウスの歯根膜組織の解析. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 24K20054, 2024.
- 8) (継続分) 藤田 瑛, 大峯 淳, 川崎真依子: 舌小帯の発生機構の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 24K13109, 2024.
- 9) (継続分) 松下佳代, 小野和宏, 齋藤有吾, 伊藤通子, 平山朋子, 丹原 惇, 杉山芳生, 田中孝平: コンピテンシーの形成・評価の検討—統合性・分野固有性・エージェンシーに着目して—. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(B), 23K22236, 2023.
- 10) (継続分) 笠原群生, 岡 明, 田倉智之, 丹原 惇, 廣瀬尚人, 渡邊佳一郎, 仁科幸子 (蓮江幸子), 守本倫子, 平田康隆, 今井啓道, 杠 俊介, 依田哲也, 彦坂 信, 関 敦仁, 江口佳孝, 高木岳彦, 石丸哲也, 下島直樹, 鎌田将史, 梅田千鶴, 森田圭一, 原園陽介, 浦田 晋, 吉田朋世, 鈴木法臣, 野田龍也, 竹原健二, 盛一享徳, 育成

医療対象疾患の実態把握に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金, 202417020A, 2024.

- 11) (延長分) 上村藍太郎: 内因性カンナビノイド機構によるグリア機能の調節が関わる痛みの脳内制御機構の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 23K16110, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 丹原 惇: (教授就任講演) 矯正学と矯正臨床ーその現況と展望ー. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2025年11月8日, 新潟歯学会誌, 55(2):26.
- 2) Nihara J: Beyond the Soft Tissue Paradigm - Evaluation of perioral soft tissue properties-. 10th International Orthodontic Congress, Rio De Janeiro, 23 October 2025, Online abstract
"https://wfo2025rio.org/class/91A75D75-6238-4F75-8F7B-76BB7611F3C3", 2025.
- 3) 丹原 惇: 口唇裂・口蓋裂治療における成長後を見据えた“final touchups”のあり方ー成長発育と咬合の関係性に着目してー. 第84回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2025年9月29日~10月1日, 同学会学術大会プログラム・抄録集:100頁, 2025.
- 4) 大川加奈子: 卒後矯正臨床教育におけるエッジワイズの主体的学修を目指した新潟大学の取り組み. 第40回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2025年6月29日, 抄録集: 24-25頁, 2025.

【学会発表】

- 1) Hoang Kim Cuc, Takahiro Yamada, Kojiro Takahashi, Yuko Oomori, Jun Nihara: Presurgical Orthodontic Effects on Curve of Spee in Skeletal Class III Patients. The 2026 IADR/AADOCR/CADR General Session & Exhibition (104th General Session & Exhibition of the IADR, 55th Annual Meeting & Exhibition of the AADOCR, 50th Annual Meeting of the CADR), San Diego, 25-28 March 2026, online abstract
"https://epro02.ativ.me/web/planner.php?id=IADR26", 2026.
- 2) Takahiro Yamada, Jun Nihara: Morphological Changes in the Temporomandibular Joint after Orthognathic Surgery in Mandibular Prognathism with Jaw Deviation. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia, 8-9 February 2026. Program book p89, 2026.

- 3) Hoang Kim Cuc, Jun Nihara : Curve of Spee and Mandibular Tooth Movement in Class III Orthodontic Surgery Patients: A Cephalometric Analysis. The 38th Annual Meeting of TAO, Tainan, 6-7 December 2025, online abstract
"https://www.taoannualmeeting.com/data/editor/files/2025%20tao_e-poster.pdf", 2025.
- 4) 大川 加奈子, 大川 純平, 堀 一浩, 丹原 惇: 舌圧および口唇・頬圧の同時測定による嚥下運動解析法の有用性. 第84回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2025年9月29日~10月1日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 165頁, 2025.
- 5) 三村俊平, 大川加奈子, 長崎 司, 新井萌生, 吉田智美, 山田貴大, 松田拓樹, 竹内涼子, 佐久間英伸, 長谷部大地, 富原 圭, 堀 一浩, 丹原 惇: 顎変形症患者における咀嚼能力測定用グミゼリーを用いた咀嚼機能の定量的比較. 第35回日本顎変形症学会総会・学術大会, 北九州, 2025年6月5日~6日, 日顎変形誌 35(2): 138頁, 2025.
- 6) 三村俊平, 丹原 惇: 上顎左側側切歯・犬歯間の水平埋伏過剰歯を伴う Angle Class I 叢生症例. 第40回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2025年6月29日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 45頁, 2025.
- 7) 大湊 麗, 若槻華子, 宮田昌幸, 小林亮太, 児玉泰光, 佐藤真由美, 井村真美, 市川佳弥, 富原圭, 小野和宏: 一段階法と二段階法における乳幼児期の口腔機能と言語発達の検討. 第49回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2025年10月23日~24日, 日口蓋誌 50(2): 107頁, 2025.
- 8) 小林亮太, 児玉泰光, 大湊 麗, 丹原 惇, 若槻華子, 宮田昌幸, 富原 圭: 軟口蓋に浸潤したリンパ管腫を併発した軟口蓋裂患児に対するスピーチエイドによる構音獲得の試み. 第49回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2025年10月23日~24日, 日口蓋誌 50(2): 115頁, 2025.
- 9) 竹内涼子, 齋藤大輔, 市川佳弥, 丹原 惇, 新美奏恵: 上下顎骨移動術を施行した口蓋裂患者における顎骨安定性の検討. 第49回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2025年10月23日~24日, 日口蓋誌 50(2): 134頁, 2025.
- 10) 小川卓也, 早野 暁, 上岡 寛, 土谷 忍, 五十嵐 薫, 黒坂 寛, 山城 隆, 丹原 惇, 郡司掛香織, 川元龍夫, 藤原琢也, 宮澤 健, 佐藤嘉晃, 須田直人, 森山啓司: 矯正歯科における遺伝性疾患の保険適用に関する実態調査 患者レジストリによる多施設調査. 第49回日本口蓋裂学会総会・

学術集会, 京都, 2025年10月23日~24日, 日口蓋誌 50(2): 145頁, 2025.

【研究会発表】

- 1) 丹原 惇: 一般歯科医の先生方に知っていただきたい矯正歯科治療における近年のトレンドとその留意点. 令和7年度第3回会津方部歯学研究会, 会津若松, 2025年8月23日.

【受賞】

- 1) Kurihara-Okawa K, Okawa J, Nihara J, Takahashi K, Hori K, Nagasaki T, Fukui T, Ono T, Saito I: Tongue pressure production and orofacial muscle activities during swallowing are related to palatal morphology in individuals with normal occlusion. *Clin Invest Orthod* 83(2): 61-69, 2024. 2025年度第9回日本矯正歯科学会論文賞.

【その他】

- 1) 丹原 惇: 新潟大学医歯学総合病院における口唇裂・口蓋裂治療と多機関共同研究への取り組み. 岡山大学病院口唇裂・口蓋裂総合治療センター講演会, 岡山, 2026年3月19日.
- 2) 丹原 惇: シンポジウム「対話型論証は授業と学生の学びをどう変えるか—高校・大学での取組から—」, 東京, 2026年2月22日, "https://shibuya-pxu.tcu.ac.jp/archives/イベント・公開講座/0407_1856/", 2026.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 伊藤加代子, 井上 誠: 第3章更年期・老年期 ドライマウス, 女性外来診療(寺内公一編), p377-380, 株式会社診断と治療社, 東京, 2025.
- 2) 伊藤加代子: CQ108 舌痛症に対しHRTは有効か?, ホルモン補充療法ガイドライン 2025年度版(日本女性医学会編集, 監修), p118-119, 金原出版株式会社, 東京, 2025.
- 3) 井上 誠: II 摂食嚥下にかかわる機能(生理). 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第3版(公益社団法人日本歯科衛生士会監修), p43-55, 医歯薬出版, 東京, 2025.
- 4) 井上 誠: 2. 口腔機能にかかる生理. 口腔リハビリテーション学(覚道健治, 井上 誠, 菊谷 武, 阪井丘芳, 松香芳三編), p32-47, 永末書店, 東京, 2025.

- 5) 井上 誠: 11.表面筋電図. 最新版! 摂食嚥下機能評価—スクリーニングから臨床研究まで, *JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION* 第34巻第4号, p398-405, 医歯薬出版, 東京, 2025.

【論文】

- 1) Taku Suzuki, Hiroshi Hasegawa, Tetsuo Akimoto, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Swallowing safety in an older patient with tongue and pharyngeal morphological variations. *Dysphagia Online* ahead of print, doi: 10.1007/s00455-025-10921-4. 2026.
- 2) Jin Magara, Taku Suzuki, Midori Yoshihara, Wakana Onuki, Anna Sasa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Lingual pressure as a physiological indicator for dysphagia in amyotrophic lateral sclerosis and multiple system atrophy. *Neurodegener Dis Manag* 1-10. Online ahead of print, doi: 10.1080/17582024.2025.2580876. 2025.
- 3) Brendan J Canning, Midori Yoshihara, Nanako Mori, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue, Sonya Meeker, Qi Liu, Bradley J. Undem: ATP release and metabolism by human and guinea-pig airways and P2X receptor dependent effects on bronchopulmonary vagal afferent nerve subtypes. *Br J Pharmacol* 183(5):1071-1084. doi: 10.1111/bph.70238. 2026.
- 4) William Poncin, Simple Futarmal Kothari, Jin Magara, Makoto Inoue, Eduardo Castrillon, Mohit Kothari: Can recordings of tongue motor-evoked potentials be improved? Comparison of two electrode types and their reliability. *J Oral Rehabil* 53(2):439-447. doi: 10.1111/joor.70098. 2026.
- 5) Chisato Aizawa, Reiko Ita, Yuto Ochiai, Anna Sasa, Namon Phetnin, Yoko Kawana, Kazuhiro Ono, Natsuka Takada, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Effect of hyposalivation on fish cake mastication in healthy individuals. *Food Science & Nutrition* 14(1):e71378. doi: 10.1002/fsn3.71378. 2026.
- 6) Hiroteru Kamimura, Hiroshi Suzuki, Azusa Sone, Makoto Miyazawa, Yuzo Kawata, Yuko Komoro, Yosuke Horii, Takanori Tsujimura, Hirohito Sone, Shuji Terai: Focal Hepatic Steatosis Mimicking a Hilar Tumor With Rapid Resolution After Glycemic Control: A Case Report. *Cureus* 18(1):e102666. doi: 10.7759/cureus.102666. 2026.
- 7) Kazuki Ikeura, Yuto Ochiai, Anna Sasa, Kazuhiro Ono, Ryo Takei, Hideaki Washio, Hajime Takahashi, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of Hyposalivation on Masticatory Movements While Eating

- Several Crackers in Healthy Individuals. *J Oral Rehabil* 52(12):2401-2411. doi: 10.1111/joor.70048. 2025.
- 8) Akira Okubo, Takanori Tsujimura, Rumi Ueha, Taku Suzuki, Eri Takei, Anna Sasa, Yuhei Tsutsui, Yuta Nakajima, Jin Magara, Makoto Inoue: The instruction of chewing well affects masticatory activity and bolus flow during rice chewing in healthy humans. *J Oral Rehabil* 52(10):1736-1745. doi: 10.1111/joor.14034. 2025.
 - 9) Yuto Ochiai, Reiko Ita, Kazuhiro Ono, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Effect of Hyposalivation on Bread Mastication in Healthy Individuals. *J Oral Rehabil* 52(9):1461-1473. doi: 10.1111/joor.13987. 2025.
 - 10) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Charng-Rong Pan, Yuhei Tsutsui, Keiichiro Okamoto, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effects of potassium on laryngeal induced swallowing rate in rats. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol* 328(5):G502-G512. doi: 10.1152/ajpgi.00012.2025. 2025.
 - 11) 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠: 薬剤性口腔乾燥症について. 老年歯学, 印刷中.
 - 12) 鈴木 拓, 長谷川 博, 秋本哲男, 辻村恭憲, 井上 誠: 高齢パーキンソン病における誤嚥性肺炎発症例の摂食嚥下評価と介入. 嚥下医学 15(1):37-48, 2026.
 - 13) 孔 憲和, 馬場洋徳, 岩井玄樹, 太田 淳, 前川和也, 高嶋沙緒里, 大橋瑠子, 井上 誠, 香取幸夫, 堀井 新: 内視鏡下輪状咽頭筋切除術が有効であった高齢者封入体筋炎例. 嚥下医学 14(2):202-210, 2025.
 - 14) 伊藤加代子: 老年歯科医学教育の実態調査からみえてきたもの 歯学生に対する老年歯科医学の講義および実習の実態. 老年歯科医学 40(1):23-28, 2025.
 - 15) 岩渕博史, 渡邊 裕, 戸谷収二, 中谷佑哉, 石田孝文, 伊藤加代子: Murata 口腔湿潤計ムーカスを用いた口腔粘膜湿潤度の評価. 歯科薬物療法学会誌 44(1):11-16, 2025.
 - 16) 大西淑美, 伊藤加代子, 相原喜子, 船原まどか, 藤田峰子, 藤村季子, 宮 しほり, 池上由美子: 新型コロナウイルス感染症パンデミックが及ぼす歯科衛生士への影響. 日本口腔ケア学会誌 20(1):18-28, 2025.

【商業誌】

- 1) 伊藤加代子: 唾液腺マッサージ. NICO, 印刷中
- 2) 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠: 自己免疫疾患以外の原因による口腔乾燥症への対応. *JOHNS* 42(2): 177-179, 2026.

- 3) 伊藤加代子, 井上 誠: ここが知りたい口腔ケア わたしが教えるコツとポイント 舌のケアや舌苔について注意すべきことはありますか. *Medical Rehabilitation* 321 増刊号: 16-20, 2025.
- 4) 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠: 透析患者の口腔乾燥と味覚障害. *臨床透析* 41(13):63-68, 2025.
- 5) 辻村恭憲: 口腔機能と口腔環境の重要性. *Medical Practice* 42 (11): 1762, 2025.
- 6) 船山さおり, 伊藤加代子, 井上 誠: “おいしい”を守る How to 味覚障害「(PickUp) 歯科と味覚障害」一口腔環境の重要性. *調剤と情報* 31(13):2312-2317, 2025.
- 7) 伊藤加代子, 井上 誠: もう「不定愁訴」なんて言わない! —他科に学ぶ更年期外来診療のポイント— 項目 16 ドライマウス・舌の痛み. *産科と婦人科* 9(2): 1043-1046, 2025.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者), 吉原 翠 (研究分担者): 脳活動の信号処理を利用した嚥下誘発促進. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B), 課題番号 25K02819, 5,980 千円 (直接経費), 2025.
- 2) 井上 誠 (研究分担者), 辻村恭憲 (研究分担者): 口腔機能に関わる島皮質の役割の解明. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) (研究代表者 那小屋公太), 課題番号 24K13002, 200 千円 (直接経費), 2025.
- 3) 井上 誠 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者), 伊藤加代子 (研究分担者): 生体と食品の併行アプローチによる新たな咀嚼嚥下機能の理解. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) (研究代表者 小野和宏), 課題番号 22K10073, 1,150 千円 (研究期間延長) (直接経費), 2025.
- 4) 井上 誠 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者): 顎・舌の運動と筋量・筋質から咀嚼機能を評価する. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) (研究代表者 渡邊賢礼), 課題番号 23K09513, 150 千円 (直接経費), 2025.
- 5) 井上 誠 (研究分担者), 辻村恭憲 (研究分担者): 拡散テンソル画像を応用した口腔機能改善の神経生理学的解析. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) (研究代表者 白石 成), 課題番号 23K09291, 200 千円 (直接経費), 2025.
- 6) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者), 吉原 翠 (研究分担者): 嚥下誘発機序の神経学的理解に基づく摂食嚥下リハビリテーションの基盤形成. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B), 課

- 題番号 25K02975, 4,700 千円 (直接経費), 2025.
- 7) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者): 嚥下障害における anatomical diagnostic protocol 基盤形成の試み. 文部科学省科学研究費補助金挑戦的研究(萌芽), 課題番号 23K18356, 2,210 千円 (直接経費), 2025.
 - 8) 真柄 仁 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者): 咀嚼嚥下時における舌運動ダイナミクスの解明. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 課題番号 25K13123, 1,300 千円, 2025.
 - 9) 真柄 仁 (研究分担者): レオロジーの異なる炭酸飲料による嚥下機能への刺激効果の解明. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C) (研究代表者 岩森 大), 課題番号 23K01992, 500 千円, 2025.
 - 10) 伊藤加代子 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者): エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となりうるか?. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 課題番号 22K10310, 0 千円 (直接経費), 2025.
 - 11) 吉原 翠 (研究代表者): 咽喉頭酸逆流による嚥下誘発・咀嚼動態の変調および TRPM8 刺激による影響の検証. 文部科学省科学研究費補助金若手研究, 課題番号 21K17060, 1038 千円 (直接経費), 2025.
 - 12) 小貫和佳奈 (研究代表者): 口腔機能低下症患者における咀嚼・嚥下障害の発症と改善機序の解明. 文部科学省科学研究費補助金若手研究, 課題番号 24K19962, 1,100 千円, 2025.
 - 13) 小貫和佳奈 (研究分担者): 筋評価が口腔機能低下症の診断に果たす役割: 舌超音波画像特徴量の探索と筋構造の解析. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C) (研究代表者 池 真樹子), 課題番号 24K13211, 1,100 千円, 2025.
 - 14) 笹 杏奈 (研究代表者): 咀嚼嚥下運動を作用する生体と食品条件の再構成に挑む. 文部科学省科学研究費補助金若手研究, 課題番号 25K20869, 1,000 千円 (直接経費), 2025.
 - 15) 板 離子: マルチユニット筋電図と大脳皮質活動性評価から読み解く舌運動制御メカニズムの解明. 文部科学省科学研究費補助金研究活動スタート支援, 課題番号 21025091, 900 千円 (直接経費), 2025.
 - 16) 船山さおり (研究代表者), 伊藤加代子 (研究分担者), 井上 誠 (研究分担者): 嗅覚と唾液は自発性異常味覚の苦味を説明できるか?. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 課題番号 24K13258, 1,400 千円 (直接経費), 2025.
 - 17) 前川和也 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者), 辻村恭憲 (研究分担者): キレート剤処理を行った食品の摂食嚥下動態と視覚的嗜好性の評価. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 課題番号 25K13339, 1,170 千円 (直接経費), 2025.
 - 18) 井上 誠: 高齢者に適した食品要件を生体機能から考える (研究助成). 東洋食品研究所, 2,000 千円, 2025.
 - 19) 辻村恭憲 (研究代表者): 温度刺激が咀嚼機能と嚥下機能に与える効果とそのメカニズムの解明. ロッテ財団 第 12 回奨励研究助成, 3,000 千円 (直接経費), 2025-2027.
 - 20) 真柄 仁: 食道癌外科手術症例における周術期口腔嚥下機能からみた術後予後評価 (研究助成). 令和 7 年度 8020 財団研究事業, 700 千円, 2025.
 - 21) 井上 誠: 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究 (共同研究). にいがた摂食嚥下障害サポート研究会, 250 千円, 2025.
 - 22) 井上 誠: 菓子の咀嚼性差の要因検証 (共同研究). 亀田製菓株式会社, 833 千円, 2025.
 - 23) 井上 誠: オトガイ下部への筋電気刺激が摂食嚥下関連に与える影響 (共同研究). 株式会社 MTG, 2,766 千円, 2025 (2023 年からの継続).
 - 24) 井上 誠: キレート剤を用いて製造した介護食用野菜 (共同研究). 東洋食品研究所, 136 千円, 2025 (2023 年からの継続).
 - 25) 伊藤加代子: エクオール産生能と口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症等の口腔症状およびエストロゲンレセプター発現との関連に関する研究 (共同研究). 大塚製薬株式会社栄養科学研究所, 2025.
 - 26) 井上 誠: 唾液分泌低下が魚肉練製品摂食にもたらす影響 (共同研究). 一正蒲鉾, 380 千円, 2025.
 - 27) 井上 誠: 摂食嚥下治療登録医等養成研修に関する受託事業費 (受託事業). 新潟県歯科医師会, 1,920 千円, 2025.
 - 28) 井上 誠: 摂食嚥下治療フォローアップ研修 (受託事業). 新潟県歯科医師会, 1,260 千円, 2025.
 - 29) 板 離子: 令和 7 年度長寿科学関連国際学会派遣事業 公益財団法人長寿科学振興財団 200 千円 2025
 - 30) 真柄 仁 (研究代表者), 辻村恭憲 (研究分担者), 井上 誠 (研究分担者), 筒井雄平 (研究分担者): Phox2b ニューロンを起点とした咀嚼と嚥下機構のクロストーク解明. 新潟大学 令和 7 年度 国際共同研究加速 Grant, 850 千円, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Measurement of Tongue Muscle Activity Related with Chewing and Swallowing Function in Geriatric Dentistry. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and

- Treatment, 2026. Symposium I, New technologies in geriatric dentistry. Royale Chulan Kuala Lumpur Hotel (Kuala Lumpur, Malaysia), 2026.2.8-9.
- 2) Jin Magara: The importance of oral muscle functions in stroke and neurological conditions. Education session 4: Updated Prevention and Therapy in Neurological Dysphagia, The 2nd Asian Dysphagia Society, The Berkeley Hotel Pratunam (Bangkok, Thailand), 2025.11.6-8, Abstract book P9, 2025.
 - 3) Jin Magara: Case discussion 3: Head and Neck cancers, The 2nd Asian Dysphagia Society, The Berkeley Hotel Pratunam (Bangkok, Thailand), 2025.11.6-8, Abstract book P17, 2025.
 - 4) Takanori Tsujimura: Dysphagia rehabilitation - clinical management and basic science. the 13th Edition of the "Carol Davila" University of Medicine and Pharmacy Congress, Palace of the Parliament (Bucharest, Romania), 2025.10-23-25.
 - 5) 井上 誠: 災害時の要支援者に対する口腔ケアと食支援. 第 31 回日本災害医学会総会・学術集会教育講演, 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター (新潟県・新潟市), 2026 年 3 月 20 日.
 - 6) 井上 誠: 歯科のアプローチ. 第 49 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会教育講演, 佐賀市文化会館 (佐賀県・佐賀市), 2026 年 2 月 13 日.
 - 7) 辻村恭憲: 温度刺激が嚥下誘発に与える効果. 第 49 回日本嚥下医学会日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 佐賀市文化会館 (佐賀県・佐賀市), 2026 年 2 月 12-13 日.
 - 8) 筒井雄平: 嚥下診療にどう向き合っていくか 摂食嚥下運動に対する舌骨筋の役割を考える. 第 49 回日本嚥下医学会日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 佐賀市文化会館 (佐賀県・佐賀市), 2026 年 2 月 12-13 日.
 - 9) 井上 誠: 美味しい嚥下調整食の提供に求められる口腔機能. 第 29 回日本病態栄養学会年次学術集会 (合同パネルディスカッション 7), 国立京都国際会議場 (京都府・京都市), 2026 年 1 月 31 日.
 - 10) 中畑玖温, 鈴木 拓, 黒田雅博, 北村喜文: XR 技術の顎口腔機能研究への貢献の可能性を考える (第 72 回学術大会優秀賞受賞者企画シンポジウム). 日本顎口腔機能学会第 74 回学術大会, 岩手医科大学附属内丸メディカルセンター (岩手県・盛岡市), 2025 年 11 月 16 日, 日本顎口腔機能学会第 74 回学術大会プログラム・事前抄録集 14 頁, 2025.
 - 11) 井上 誠: チームで取り組む誤嚥性肺炎のケア・リハ. 第 35 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター (新潟県・新潟市), 2025 年 10 月 24 日.
 - 12) 井上 誠: ばりあふりーお食事会の取り組みについて. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19 日, 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 95 頁, 2025.
 - 13) 辻村恭憲: 咀嚼が嚥下に与える効果. 公募シンポジウム 1 「口腔機能を支える基礎研究」, 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日, 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 196 頁, 2025.
 - 14) 真柄 仁, 板 離子, 井上 誠: 筋電図記録から考えた舌運動機能評価. シンポジウム 2 「楽しく食べるための開発研究」, 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日, 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 150 頁, 2025.
 - 15) 伊藤加代子: シンポジウム歯科医療者が知っておきたい「薬剤と口腔機能」, 薬剤性口腔乾燥症について. 日本老年歯科医学会第 36 回学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2025 年 6 月 28 日.
 - 16) 板 離子: 顎口腔機能研究に携わる研究者としての第一歩. 日本顎口腔機能学会 第 73 回学術大会, 朝日大学病院 (岐阜県・岐阜市), 2025 年 4 月 12 日, 日本顎口腔機能学会 第 73 回学術大会 抄録集 16 頁, 2025.
 - 17) 真柄 仁, 井上 誠: 摂食嚥下機能低下への対応から考える誤嚥性肺炎予防. コンセンサスカンファレンス① 高齢者の誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアを再考する. 第 22 回日本口腔ケア学会総会・学術大会/第 5 回国際口腔ケア学会総会・学術大会, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター (新潟県・新潟市), 2025 年 4 月 26-27 日, 第 22 回日本口腔ケア学会総会・学術大会/第 5 回国際口腔ケア学会総会プログラム・抄録集 93 頁, 2025.
- 【講演・シンポジウム (その他)】**
- 1) 井上 誠: 多職種連携における摂食嚥下リハビリテーションの重要性. 令和 7 年度新潟県歯科医師会在宅歯科医療支援事業基本研修 摂食嚥下に関する研修会, オンライン, 2026 年 3 月 10 日.
 - 2) 井上 誠: 医科歯科連携の中で歯科に求められるもの・知ってほしい歯科のこと. 第 17 回全日本民医連学術・運動交流集会, 東京有明 TFT ホール (東京都・江東区), 2025 年 10 月 10 日.

- 3) 井上 誠:新潟大学摂食嚥下リハビリテーション学
分野のこれまでとこれから.新潟大学歯学部同窓会
福島支部学術講演会,郡山ビューホテルアネックス
(福島県・郡山市),2025年6月21日.

【学会発表】

- 1) Charng-Rong Pan, Takanori Tsujimura, Hokuto Hamashima, Yuhei Tsutsui, Keiichiro Okamoto, Jin Magara, Makoto Inoue: TRPV1 is a key receptor on the swallowing initiation evoked by laryngeal heat stimulation in anesthetized rats. 2026 Dysphagia Research Society Annual Meeting, Gaylord Rockies Resort & Convention Center (Colorado, USA), 2026.3.4-7.
- 2) Yoko Kawana, Namon Phetnin, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of potassium on voluntary swallowing performance in healthy adults. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Royale Chulan Kuala Lumpur Hotel (Kuala Lumpur, Malaysia),2026.2.8-9.
- 3) Chisato Aizawa, Jin Magara, Reiko Ita, Anna Sasa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Differences in tongue muscle activity during chewing of rice with various textures. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Royale Chulan Kuala Lumpur Hotel (Kuala Lumpur, Malaysia),2026.2.8-9.
- 4) Namon Phetnin, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of potassium on involuntary swallowing performance in normal adults. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Royale Chulan Kuala Lumpur Hotel (Kuala Lumpur, Malaysia),2026.2.8-9.
- 5) Ho Yin Leung, Jin Magara, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Exploring the Effects of Neuromuscular Electrical Stimulation Frequency on Displacement of Hyoid and Perceived Discomfort. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Royale Chulan Kuala Lumpur Hotel (Kuala Lumpur, Malaysia),2026.2.8-9.
- 6) Syakriani Syahrir, Jin Magara, Takanori Tsujimura, and Makoto Inoue. Saliva swallowing performance as a predictor of eating function: an RSST-based analysis. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Royale Chulan Kuala Lumpur Hotel (Kuala Lumpur, Malaysia),2026.2.8-9.
- 7) Charng-Rong Pan, Takanori Tsujimura, Hokuto Hamashima, Yuhei Tsutsui, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Makoto Inoue. Elicitation of swallowing reflex during laryngeal thermal stimulation in anesthetized rats. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Royale Chulan Kuala Lumpur Hotel (Kuala Lumpur, Malaysia),2026.2.8-9.
- 8) Takanori Tsujimura, Charng-Rong Pan, Hokuto Hamashima, Yuhei Tsutsui, Midori Yoshihara, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Makoto Inoue: Involvement of TRPV1 receptor in the initiation of swallows evoked by heat stimulation in anesthetized rats. Neuroscience 2025, San Diego Convention Center (San Diego, USA), 2025.11.15-19.
- 9) Namon Phetnin, Satomi Kawata, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Hokuto Hamashima, Mizuki Ono, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of potassium on swallowing reflex in anesthetized rats. Neuroscience 2025, San Diego Convention Center (San Diego, USA), 2025.11.15-19.
- 10) Midori Yoshihara, Takanori Tsujimura, Qi Liu, Brendan Canning, Makoto Inoue: Piezo1-mediated ATP release contributes to initiation of swallowing induced by esophageal water stimulation in anesthetized guinea pigs. Neuroscience 2025, San Diego Convention Center (San Diego, USA), 2025.11.15-19.
- 11) Kouta Nagoya, Takanori Tsujimura, Yoshiaki Ihara, Makoto Inoue: Malic acid facilitates swallowing activity through the epithelial sodium channel (ENaC) in rats. Neuroscience 2025, San Diego Convention Center (San Diego, USA), 2025.11.15-19.
- 12) Takanori Tsujimura, Charng-Rong Pan, Hokuto Hamashima, Yuhei Tsutsui, Midori Yoshihara, Jin Magara, Makoto Inoue: The effect of laryngeal thermal stimulation in the initiation of swallows in anesthetized rats. THE 2nd Asian Dysphagia Society International Conference 2025, The Berkeley Hotel Pratunam (Bangkok, Thailand) , 2025.11.6-8.
- 13) Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Makoto Inoue: Involvement of posterior belly of digastric muscle in swallowing of rat. THE 2nd Asian Dysphagia Society International Conference 2025, The Berkeley Hotel

- Pratunam (Bangkok, Thailand) , 2025.11.6-8.
- 14) Namon Phetnin, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of potassium solution on swallowing reflex initiation in healthy humans. THE 2nd Asian Dysphagia Society International Conference 2025, The Berkeley Hotel Pratunam (Bangkok, Thailand) , 2025.11.6-8.
 - 15) Ho Yin Leung, Jin Magara, Mengjie Zhang, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of Neuromuscular Electrical Stimulation Frequency on Hyoid Displacement and Discomfort Perception. THE 2nd Asian Dysphagia Society International Conference 2025, The Berkeley Hotel Pratunam (Bangkok, Thailand) , 2025.11.6-8.
 - 16) Jin Magara, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Yoko Kawana, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Temporal changes of tongue muscle activity during the process of chewing rice with different properties. European Society for Swallowing Disorders 2025 15th Annual Congress, Eugenides Foundation (Athens, Greece), 2025.10.9-11.
 - 17) Reiko Ita, Chisato Aizawa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effects of repetitive tongue movements on corticomotor excitability of intrinsic tongue and suprahyoid muscle areas evaluated by transcranial magnetic stimulation. European Society for Swallowing Disorders 2025 15th Annual Congress, Eugenides Foundation (Athens, Greece), 2025.10.9-11.
 - 18) Chisato Aizawa, Jin Magara, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Quantitatively evaluation of tongue muscle activity and movements during chewing and swallowing. European Society for Swallowing Disorders 2025 15th Annual Congress, Eugenides Foundation (Athens, Greece), 2025.10.9-11.
 - 19) Ho Yin Leung, Jin Magara, Mengjie Zhang, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of Frequency of Submental Neuromuscular Electrical Stimulation on Evoked Hyoid Movement and Discomfort Perception. European Society for Swallowing Disorders 2025 15th Annual Congress, Eugenides Foundation (Athens, Greece), 2025.10.9-11.
 - 20) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Namon Phetnin, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of potassium ions on swallowing initiation. 7th International Conference on Food Oral Processing Physics, Physiology and Psychology of Eating, The University-Enterprise Foundation of the University of Valencia (Valencia, Spain), 2025.5.12-14.
 - 21) Chisato Aizawa, Jin Magara, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Evaluation of tongue muscle activity during chewing and swallowing. 7th International Conference on Food Oral Processing Physics, Physiology and Psychology of Eating, The University-Enterprise Foundation of the University of Valencia (Valencia, Spain), 2025.5.12-14.
 - 22) Charng-Rong Pan, Hokuto Hamashima, Yuhei Tsutsui, Keiichiro Okamoto, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Laryngeal heat stimulation evokes the swallowing reflex in anesthetized rats. 第16回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, クロス・ウェーブ船橋 (千葉県・船橋市), 2025年11月29,30日.
 - 23) 吉原 翠, 辻村恭憲, Qi Liu, Brendan Canning, 井上 誠: 麻酔下モルモットにおける食道水刺激誘発性 ATP 放出および嚥下反応における Piezo1 受容体の関与. 第16回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, クロス・ウェーブ船橋 (千葉県・船橋市), 2025年11月29,30日.
 - 24) 相澤知里, 真柄 仁, 板 離子, 笹 杏奈, 辻村恭憲, 井上 誠: 異なる物性の米飯咀嚼時における舌筋筋活動量の比較. 日本顎口腔機能学会第74回学術大会, 岩手医科大学附属内丸メディカルセンター入院棟 (岩手県・盛岡市), 2025年11月15日, 16日. 日本顎口腔機能学会第74回学術大会プログラム・事前抄録集 18, 19頁, 2025.
 - 25) 鈴木 拓, 長谷川 博, 秋本哲男, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 義歯装着が摂食嚥下動態に及ぼす影響と体位変化との関連. 第78回東北地区歯科医学会 (みちのく歯學會). 秋田県歯科医師会館 (秋田県・秋田市), 2025年11月29, 30日.
 - 26) 伊藤加代子, 船山さおり, 濃野 要, 勝良剛詞, 金子 昇, 田中恵子, 井上 誠: 口腔乾燥症専門外来における漢方薬使用状況および効果に関する検討. 三学会合同学術大会 (第45回日本歯科薬物療法学会, 第43回日本歯科東洋医学会, 第34回日本口腔感染症学会), 日本歯科大学生命歯学部九段ホール・講堂 (東京都・千代田区), 2025年10月18 - 19日, 三学会合同学術大会プログラム・抄録集 105頁, 2025.
 - 27) 岩森 大, 真柄 仁, 井上 誠: 味覚感受性が炭酸飲料摂取時の嚥下筋活動へもたらす刺激効果. 第31回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025年9月19-20日. 第31回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 364頁, 2025.
 - 28) 小貫和佳奈, 伊藤加代子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 船山さおり, 笹 杏奈, 板 離子, 前川和也, 井上 誠:

- 地域一般住民を対象とした摂食嚥下セミナーの実施報告. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 341 頁, 2025.
- 29) 小貫和佳奈, 笹 杏奈, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 入院患者に対する「食種形態アセスメント」と誤嚥・窒息防止効果の検討. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 345 頁, 2025.
- 30) 中嶋優太, 松田夏美, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 重症外傷性脳損傷の長期経過後に言語聴覚士と協働したリハビリテーションを行い直接訓練が開始できた一例. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 422 頁, 2025.
- 31) Midori Yoshihara, Takanori Tsujimura, Qi Liu, Brendan Canning, Makoto Inoue: Involvement of Piezo1 receptors in esophageal stimulation-induced ATP release and swallowing in anesthetized guinea pig. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 267 頁, 2025.
- 32) 前川和也, 坂井 遥, 笹 杏奈, 落合勇人, 真柄 仁, 井上竜一, 梅谷華奈, 辻村恭憲, 井上 誠: キレート剤処理した食品の摂食嚥下動態への影響. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 471 頁, 2025.
- 33) 板 離子, 落合勇人, 笹 杏奈, 相澤知里, 川名葉子, 小野瑞祈, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 口腔乾燥が魚肉練り製品の咀嚼運動に与える影響. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 399 頁, 2025.
- 34) Charng-Rong Pan, Hokuto Hamashima, Yuhei Tsutsui, Keiichiro Okamoto, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of laryngeal thermal stimulation on initiation of swallowing in anesthetized rats. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 265 頁, 2025.
- 35) Ho Yin Leung, Jin Magara, Mengjie Zhang, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Takanori Tsujimura and Makoto Inoue: Effect of Frequency of Neuromuscular Electrical Stimulation on Hyoid Displacement and Discomfort Perception. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 269 頁, 2025.
- 36) Namon Phetnin, Reiko Ita, Chisato Aizawa, Syakriani Syahrir, Jin Magara, Takanori Tsujimura and Makoto Inoue: Effect of potassium on swallowing initiation in healthy humans. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 266 頁, 2025.
- 37) Mengjie Zhang, Jin Magara, Reiko Ita, Chisato Aizawa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Comparison of swallowing characteristics on various medium-chain triglycerides products. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2025 年 9 月 19-20 日. 第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 266 頁, 2025.
- 38) 船山さおり, 伊藤加代子, 井上 誠: 口腔乾燥症を併発している味覚障害患者に関する臨床検討. 第 38 回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会, プレミアホテル函館 (北海道・函館市), 2025 年 9 月 11-12 日, 口腔・咽頭科 38 (2) 180 頁, 2025.
- 39) 伊藤加代子, 濃野 要, 船山さおり, 金子 昇, 田中恵子, 井上 誠: 口腔乾燥症の知識および受診行動に関する Web 調査. 第 35 回日本口腔内科学会・第 38 回日本口腔診断学会 合同学術大会, 仙台国際センター (宮城県・仙台市), 2025 年 9 月 5-7 日, 第 35 回日本口腔内科学会・第 38 回日本口腔診断学会合同学術大会プログラム抄録集 80 頁, 2025.
- 40) 真柄 仁, 相澤知里, 板 離子, 川名葉子, 辻村恭憲, 井上 誠: 吸引型電極を利用した舌運動

時の舌筋活動記録. LIFE2025 第 24 回日本生活支援工学会大会 日本機械学会 福祉工学シンポジウム 2025, 神奈川工科大学 (神奈川県・厚木市), 2025 年 8 月 27-29 日, LIFE2025 プログラム集 22 頁, 2025.

- 41) 笹 杏奈, 辻村恭憲, 岩井玄樹, 馬場洋徳, 筒井雄平, 相澤知里, 河野 茜, 筒井亜香里, 桜井花菜, 井上 誠: 後下小脳動脈梗塞による重度嚥下障害に対し嚥下改善手術および術後リハビリを行い経口摂取再獲得に至った症例. 第 26 回日本言語聴覚学会, やまぎん県民ホール・山形テルサ (山形県・山形市), 2025 年 6 月 27-28 日, 第 26 回日本言語聴覚学会抄録集 193 頁, 2025.
- 42) Mengjie Zhang, Jin Magara, Reiko Ita, Chisato Aizawa, Takanori Tsujimura and Makoto Inoue. Exploring the Swallowing Characteristics of Crystalline Oil and Fat: A Comparative Study. 第 58 回新潟歯学会総会, 新潟大学歯学部講堂 (新潟県・新潟市), 2025 年 4 月 12 日.

【受賞】

- 1) Chang-Rong Pan, Takanori Tsujimura, Hokuto Hamashima, Yuhei Tsutsui, Keiichiro Okamoto, Jin Magara, Makoto Inoue: TRPV1 is a key receptor on the swallowing initiation evoked by laryngeal heat stimulation in anesthetized rats. 2026 Dysphagia Research Society Annual Meeting, 2026 New Investigator Finalist, 2026.2.13.
- 2) Chisato Aizawa, Jin Magara, Reiko Ita, Anna Sasa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Differences in tongue muscle activity during chewing of rice with various textures. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, 2nd PLACE POSTER PRESENTATION, 2026.2.9.
- 3) 相澤知里, 真柄 仁, 板 離子, 笹 杏奈, 辻村恭憲, 井上 誠: 異なる物性の米飯咀嚼時における舌筋活動量の比較, 日本顎口腔機能学会第 74 回学術大会 優秀賞, 2025 年 11 月 16 日.
- 4) Yuhei Tsutsui: Involvement of posterior belly of digastric muscle in swallowing of rat. THE 2nd Asian Dysphagia Society International Conference 2025, THE YOUNG INVESTIGATOR AWARD, 2025.11.8.
- 5) Chisato Aizawa, Jin Magara, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Quantitatively evaluation of tongue muscle activity and movements during chewing and swallowing. 7th International Conference on Food Oral Processing Physics, Physiology and Psychology of Eating, The University-Enterprise Foundation of the University of Valencia (Valencia, Spain), Wiley Best Poster Presentation Award, 2025.5.14.
- 6) 大久保 明, 辻村恭憲, 上羽瑠美, 鈴木 拓, 筒井雄平, 中嶋優太, 坂 暢晃, 笹 杏奈, 竹井絵里, 真柄 仁, 井上 誠: Chewing Well Modulates Pharyngeal Bolus Transit During Swallowing in Healthy Participants. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会優秀論文賞, 2025 年 9 月 19 日.

【その他】

- 1) 伊藤加代子, 板 離子: くちのかわき・味覚障害について知ろう. 2025 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2026 年 3 月 26 日.
- 2) 江川広子, 小貫和佳奈: 噛むことのたいせつき. 2025 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2026 年 3 月 12 日.
- 3) 井上 誠: 舌磨きの必要性の解説と, 舌ブラシ W-1 の紹介, ゆうなびプラス見つけたね, BSN, 2026 年 3 月 6 日.
- 4) 伊藤加代子: 女性に多い口腔疾患に対する東洋医学的アプローチ, クラシエ薬品株式会社社内勉強会, Web 開催, 2026 年 3 月 3 日.
- 5) 真柄 仁: 筋電図記録から考えた舌運動機能評価. シンポジウム 2 「楽しく食べるための開発研究」. PEN 栄養ニューズ Vol44.No3. ジェフコーポレーション. 2026 年 3 月 1 日.
- 6) 前川和也, 真柄 仁: 「食べる・飲み込む」の訓練を知ろう. 2025 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2026 年 2 月 26 日.
- 7) 羽尾直仁, 菊池裕子: 地域の病院に学ぶ. 2025 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2026 年 2 月 12 日.
- 8) 真柄 仁: 神経難病の摂食嚥下障害と対応—患者を支える評価と対応—. 令和 7 年度 第 2 回新潟県難病医療ネットワーク医療従事者研修会, Web 開催, 2026 年 1 月 30 日.
- 9) 伊藤加代子: 薬剤師に求められる口腔乾燥症への対策, 口腔乾燥症ケアの最前線, 大塚製薬, Web 開催, 2026 年 1 月 28 日.
- 10) 井上 誠: NAMARAMIX 30 分 1 本勝負. FM 新潟, 2026 年 1 月 26 日.
- 11) ぱりあふりーお食事会第 4 回試作会, 新潟調理師専門学校 (新潟県・新潟市), 2026 年 1 月 25 日.
- 12) 菊池裕子, 吉原 翠: 食事介助のプロになろう. 2025 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院

- (新潟県・新潟市), 2026年1月22日.
- 13) 伊藤加代子:性差医療について, 2025年度新潟県女性薬剤師会継続学習通信講座スクーリング, 新潟県薬剤師会館(新潟県・新潟市), 2026年1月18日.
 - 14) 板 離子, 辻村恭憲:オーラルフレイルを知ろう! 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年1月8日.
 - 15) 川名葉子, 笹 杏奈:「食べる」の仕組み. 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年12月25日.
 - 16) 小野瑞希, 吉原 翠:口腔ケアのプロになろう. 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年12月11日.
 - 17) 2025年度第2回にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟大学歯学部講堂(新潟県・新潟市), 2025年12月7日.
 - 18) 真柄 仁:「OISHIEN」でつなぐ!多職種連携 摂食嚥下情報共有システムの活用. 2025年度第2回にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟大学歯学部講堂(新潟県・新潟市), 2025年12月7日.
 - 19) 井上 誠:いつまでもおいしく食べたい. 新潟大学公開講座, 2025年12月6日.
 - 20) 辻村恭憲, 前川和也:摂食嚥下スクリーニング検査, 江南区口腔ケアと摂食嚥下を考える会, なかかんの里(新潟県・新潟市), 2025年12月2日.
 - 21) 濱島北斗, 小貫和佳奈:「食べる」の訓練とは. 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年11月27日.
 - 22) 井上 誠:めざせ8020. NHK 出版「きょうの健康」12月号, PR(ページ記載なし), 2025年11月21日.
 - 23) 相澤知里, 筒井雄平:口と身体の関係. 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年11月13日.
 - 24) 井上 誠:超高齢社会の中で改めて食べることを考える. 新潟市ロータリークラブ講演, 新潟グランドホテル(新潟県・新潟市), 2025年11月12日.
 - 25) 食の充実 幸せな日々, 新潟日報朝刊, 2025年10月28日.
 - 26) 家族と共に, 「ばりあふりーな外食の機会」, NST News タッチ,
<https://www.youtube.com/watch?v=0GF2LO-Moso>, 2025年10月27日.
 - 27) 中嶋優太:白歯の残存が高齢誤嚥性肺炎患者の生命予後に与える影響について. 第10回南魚沼市病院事業研究発表会(新潟県・南魚沼市), 2025年10月27日.
 - 28) コース料理おいしいね 新潟 嚥下障害の人, 家族と食事. 新潟日報朝刊, 2025年10月27日
 - 29) 第21回ばりあふりーお食事会. ホテルオークラ新潟(新潟県・新潟市), 2025年10月26日.
 - 30) 新潟大学 Week, 舌(ぜつ)をはかってみよう!. 古町ルフル(新潟県・新潟市) 2025年10月25日.
 - 31) 真柄 仁:カムカム健康プログラムが繋ぐ“食べる力”と“生きる力”ーオーラルフレイル対策で健康長寿ー. 令和7年度第3回新潟気軽に省エネくらぶ企画講座, 亀田市民会館(新潟県・新潟市), 2025年10月24日 および 吉田産業会館(新潟県・燕市), 2025年10月17日.
 - 32) 塩原真帆, 笹 杏奈:栄養を学ぼう!. 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年10月23日.
 - 33) 井上 誠:食べるを考える. 令和7年度白菊会の集い, 新潟大学医学部(新潟県・新潟市), 2025年10月18日.
 - 34) 河野 茜, 小貫和佳奈:睡眠とからだ. 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年10月9日.
 - 35) 辻村恭憲:摂食嚥下障害の評価と対応, 山梨県南都留地区歯科医師会, 富士吉田(山梨県・富士吉田市), 2025年10月3日.
 - 36) 筒井雄平, 菊池裕子:食事介助のプロになろう. 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年9月25日.
 - 37) 井上 誠:事例紹介東南アジア及び南西アジアからの国費留学生の優先配置特別プログラム. 新潟大学第6回グローバル推進機構FD・SD, 2025年9月12日.
 - 38) 伊藤加代子:薬剤性味覚障害について. 杏林製薬株式会社 社内勉強会, Web開催, 2025年9月11日.
 - 39) 真柄 仁, 川名葉子:オーラルフレイルを知ろう!. 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年9月11日.
 - 40) 井上 誠:新潟大学教育学部家庭科同窓会「萌木会」講演会, 2025年8月24日.
 - 41) 伊藤加代子, 濱島北斗:くちのかわき・味覚障害について知ろう. 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年8月28日.
 - 42) 吉原 翠, 伊藤加代子:口腔ケアのプロになろう. 2025年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025年8月14日.
 - 43) 伊藤加代子:口腔ケアについて学ぼう!. 関屋おもと園口腔ケア研修会, 関屋おもと園(新潟県・新潟市), 2025年8月4日.

- 44) 伊藤加代子：口腔ケアの実際と食事介助の基本. 2023 年度口腔ケア研修会, 新潟県社会福祉協議会, Web 開催, 2025 年 7 月 31 日.
- 45) 岩崎愛璃, 前川和也：栄養を学ぼう！. 2025 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025 年 7 月 24 日.
- 46) 辻村恭憲: 安全で美味しい食事を目指して～摂食嚥下障害の評価と対応～, 令和 7 年度摂食嚥下機能向上に関する研修会 国立病院機構新潟病院(新潟県・柏崎市), 2025 年 7 月 11 日.
- 47) 辻村恭憲, 相澤知里: 「食べる」の仕組み. 2025 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025 年 7 月 10 日.
- 48) 江川広子, 小貫和佳奈: 地域の病院に学ぶ 「むせ」への対応と訓練. 2025 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025 年 6 月 26 日.
- 49) 笹 杏奈: 言語聴覚士から学ぶ言語訓練. 2025 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025 年 6 月 12 日.
- 50) 2025 年度第 1 回にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟大学歯学部講堂(新潟県・新潟市), 2025 年 6 月 7 日.
- 51) Makoto Inoue: Oral and Swallowing Mechanisms. University of Peradeniya (ウェブ講義), 2025 年 5 月 23 日.
- 52) 小貫和佳奈, 河野 茜: 口と身体の関係. 2025 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2025 年 5 月 22 日.
- 53) 井上 誠: 大学院における外国人留学生の獲得と体系的なグローバル人材育成の実績・現状・将来. 新潟大学第 3 回グローバル推進機構 FD・SD, 2025 年 5 月 16 日.
- 54) 辻村恭憲: にいがた摂食嚥下障害サポート研究会の取り組み. 新潟大学環境報告書 2025, 23, 2025.
- 55) Zhang Mengjie: 令和 7 年度新潟大学フェロシップ支援, 2025.
- 56) 濱島北斗: 令和 7 年度新潟大学フェロシップ支援, 2025.
- 57) Leung Ho Yin: 令和 7 年度新潟大学フェロシップ支援, 2025.
- 58) 相澤知里: 令和 7 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト, 2025.

硬組織形態学分野

【論文】

- 1) Ida-Yonemochi H: Role of glucose metabolism in amelogenesis. *J Oral Biosci* 67(2): 100667, 2025.
- 2) Ohshima H: For celebrating a complete digital transformation of ASI. *Anat Sci Int* 100(4): 381, 2025.
- 3) Tsuneki M: Deep learning approaches for pathological image classification. *J Oral Biosci* 67(4): 100696, 2025.
- 4) 内藤嘉紀, 常木雅之: EUS-FNA/B 病理検討に対する深層学習モデルの開発. *胆と膵* 46(4): 385-389, 2025.
- 5) Ohshima H, Ono K, Mishima K: Oral biosciences: The annual review 2025. *J Oral Biosci*. 68(1): 100750, 2026.
- 6) Takami H, Kobayashi Y, Makishi-Takano S, Katsumi Y, Sato N, Ohshima H: Comprehensive anatomical dissection procedure with special reference to the layer-structured facial muscles and fasciae and mouth floor. *J Oral Biosci* 67(2): 100660, 2025.
- 7) Ohshima S, Quispe-Salcedo A, Ida-Yonemochi H, Ueki Y, Horii A, Ohshima H: Stem/progenitor cell dynamics during salivary gland development and regeneration demonstrated by the double pulse-chase paradigm. *Regen Ther* 30: 595-605, 2025.
- 8) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Quispe-Salcedo A, Okada Y, Sato T, Ohshima H: Intentionally perforating the pulp chamber floor promotes M2 macrophage polarization in the dental pulp following tooth replantation in mice. *J Oral Biosci* 67(3): 100681, 2025.
- 9) Imai M, Kawachi M, Wakui A, Miyazawa M, Sekiguchi M, Kato Y, Sato H, Naruse Y, Asano N, Morohashi M, Sano H, Abiko Y, Washio J, Tanaka K, Takahashi N, Sato T: Microbial profiling of bold green tea bottled beverages: A screening experiment. *J Oral Biosci* 67(4): 100697, 2025.
- 10) Nishiyama K, Kasahara T, Kawabata H, Tsujino T, Kitamura Y, Watanabe T, Nakamura M, Mochizuki T, Ushiki T, Kawase T: Mitochondrial transfer from human platelets to rat dental pulp-derived fibroblasts in the 2D in vitro system: additional implication in PRP therapy. *Int J Mol Sci* 26(12): 5504, 2025.
- 11) Ochoa-Escate D, Valdez-Jurado F, Watanabe R, Pineda-Mejía M, Córdova Huayanay EA, Ventocilla Huasupoma MS, Herrera Cisneros M, Lujan Larreátegui G, Quispe-Salcedo A, Salcedo-Moncada D: Stress distribution in a mandibular Kennedy class I with bilateral implant-assisted removable partial denture: a finite element analysis. *Oral* 5(2): 31, 2025.
- 12) Valenzuela-Torres OY, Zapata-Sifuentes MA, Quispe-Salcedo A: Asociación del consumo de cigarro,

derivados nicotínicos y cannabis con enfermedad periodontal. Una revisión [Association of cigarette consumption, nicotine derivatives and cannabis with periodontal disease. A review]. *Rev Cient Odontol (Lima)*. 13(3): e255, 2025.

- 13) Kitajima K, Minato H, Ida-Yonemochi H, Yarita M, Rie Yamada R, Arai K, Shimizu K, Satoh T, Igarashi M: Potential of new regenerative endodontic procedures for the regeneration of dentin-pulp complexes after pulpectomy of immature teeth. *ODEP* 5(1): 32-43, 2025.
- 14) Nishiyama K, Kasahara T, Kawabata H, Tsujino T, Kitamura Y, Watanabe T, Nakamura M, Mochizuki T, Ushiki T, Kawase T: Mitochondrial transfer from human platelets to rat dental pulp-derived fibroblasts in the 2D in vitro system: Additional implication in PRP therapy. *Int J Mol Sci* 26(12): 5504, 2025.
- 15) Shimizu E, Suzuki M, Okamoto M, Ohshima H: Editorial: Expanding knowledge on mineralized tissues in dental science: enamel, dentin, and pulp tissue. *Front Dent Med* 7: 1814550, 2026.
- 16) Otsu K, Ikezaki S, Goto-Matsumoto N, Ikarashi A, Sano H, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Sun-Wada GH, Wada Y, Nakanishi-Matsui M, Harada H: V-ATPase a3 directs secretory lysosome transport in enamel formation. *J Dent Res* 21: 220345251401512, 2026.
- 17) Ida-Yonemochi H, Ohno Y, Ohshima H: Glycogen shunt is essential for submandibular gland morphogenesis. *Cell Tissue Res* 403(1): 1, 2026.
- 18) Ohshima R, Quispe-Salcedo A, Ohshima H, Kawashima N, Okiji T, Yahata Y: Osteopontin deficiency disturbs dentin bridge formation after direct pulp capping with mineral trioxide aggregate. *J Oral Biosci* 68(1): 100740, 2026.
- 19) Tsuneki M, Li M, Kanavati F: Automated assessment of Ki-67 labeling index using cell-level detection and classification in whole-slide images. *Diagnostics (Basel)* 16(5): 816, 2026.
- 20) Kawachi M, Wakui A, Imai M, Sekiguchi M, Sato H, Kato Y, Okabe R, Abe T, Takahashi N, Kaku N, Miyazawa M, Sato A, Naruse Y, Kubo N, Misumi A, Sano H, Abiko Y, Washio J, Tanaka K, Takahashi N, Sato T: Microbiota in green tea beverages remaining in plastic bottles after direct drinking. *Microbiol Immunol* 70(3): 182-188, 2026.

【商業誌】

- 1) 大島 勇人：歯髄の生物学的特性と再生能の観点から

歯髄保護を考える. *日本歯科評論* 85(5): 43-56, 2025.

- 2) 大島 勇人：歯と顎骨の形態・構造、解剖学的構造との位置関係. 巻頭特集：自由診療専門口腔外科医が教える明日からできる矯正便宜抜歯. *Dental Diamond* 50(13): 26-32, 2025.
- 3) 勝見 祐二：便宜抜歯実践のポイント. 巻頭特集：自由診療専門口腔外科医が教える明日からできる矯正便宜抜歯. *Dental Diamond* 50(13): 33-44, 2025.
- 4) 大島 勇人, 近藤 信太郎：用語「モンゴロイド」について. *Topics. Dental Diamond* 50(15): 33-44, 2025.

【研究費獲得】

- 1) 大島 勇人, Quispe Salcedo Angela, 常木 雅之, 依田 浩子, 山崎 智彦：樹状細胞・マクロファージ制御による歯髄静的幹細胞／前駆細胞の恒常性維持と活性化. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 23H03078, 2025.
- 2) 高橋 克, 石守 崇好, 時田 義人, 大島 勇人, 清水 律子, 中島 貴子：先天性無歯症患者の欠如歯を再生する新規抗体医薬品の開発. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 2025 年度／令和 7 年度 創薬ベンチャーエコシステム強化事業／創薬ベンチャー, 24019336, 2025.
- 3) 依田 浩子, 大島 勇人, 中村 卓史：オートファジーによる歯の幹細胞老化制御メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12867, 2025.
- 4) Quispe Salcedo Angela, 山崎 智彦, 大島 勇人：The regulatory roles of osteopontin (OPN) in early pulpal inflammatory responses and cellular differentiation after tooth injuries. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25K12949 2025.
- 5) 川島 伸之, 大島 勇人, 興地 隆史：歯髄幹細胞の硬組織形成細胞分化におけるインテグリンシグナルの役割とその臨床応用. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12909, 2025
- 6) 武藤 徳子, 石井 信之, 大島 勇人：歯髄損傷後の修復過程における PD-1/PD-L1 機構を介した免疫制御機序の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12937, 2025
- 7) 大島 邦子, 大島 勇人, 早崎 治明, 佐野 拓人：再植歯の人為的髄床底穿孔と神経伝達シグナル調節による歯髄再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09411, 2025.
- 8) 佐野 拓人, 岡田 康男, 大島 勇人：樹状細胞枯渇モデルを用いた歯の再植後の幹細胞・樹状細胞間相互作用の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25K13040, 2025.

- 9) 下村淳子, 森田貴雄, 大島勇人: プロテオミクスによるタンパク質選定と歯の発生段階における発現機能の新解析. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 23K09424, 2025.
- 10) 興地隆史, 川島伸之, 大島勇人: 歯髄炎を治癒に導くための特異性の高いエクソソームを活用した新しい治療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25K13000, 2025.
- 11) 吉岡 望: 細胞骨格連結タンパク質の欠失による神経・筋変性の分子病態機序の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K06317, 2025.
- 12) 吉岡 望: 変性神経回路選択的な蛍光標識法の開発と全身イメージングへの応用. 公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団 研究助成金, 2025.
- 13) 吉岡 望: 心筋細胞におけるタンパク質凝集体の構成分子と形成機序の解明. 公益財団法人 先進医薬研究振興財団 研究助成金, 2025.
- 14) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 解剖学模型の開発. 共同研究, 2025.
- 15) 大島勇人, 渡辺泰典: マウスの多血小板血漿の顎骨再生効果. 共同研究, 2025.
- 16) 依田浩子, 大野佑樹: 令和 6 年度-令和 7 年度 ロート製薬株式会社 共同研究, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Hayato Ohshima: Bridge of the Dental Sciences between Korea and Japan. 24th Annual Meeting of Korean Association of Oral Science, Seoul, 2025. 11. 21.
- 2) 大島勇人: 歯科基礎医学会の現状と展望. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会理事長講演, 北九州, 2025 年 9 月 5-7 日. J Oral Biosci Suppl 2025, p.2, 2025.
- 3) 依田浩子: 糖代謝調節による歯の細胞分化制御. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会アップデートシンポジウム 2, 北九州, 2025 年 9 月 5-7 日. J Oral Biosci Suppl 2025, p.26, 2025.
- 4) 常木雅之: 病理画像診断における AI 技術革新の最前線. 第 1 回メディカル LVSEM 研究会, 東京, 2025 年 11 月 08 日. 第 1 回メディカル LVSEM 研究会総会・学術集会抄録集 p.11-12, 2025.
- 5) Kato Y, Wakui A, Sekiguchi M, Kawachi M, Sato H, Naruse Y, Kubo N, Misumi A, Sano H, Abiko Y, Washio J, Sato T: Microbiota profiling on the surface of elevator buttons and fingers. 2025 IADR APR Conference & 9th World Workshop on Oral Health and Disease in HIV-AIDS, New Delhi, 2025. 9. 18-21.
- 4) 大津圭史, 池崎晶二郎, 後藤-松元奈緒美, 大島勇人, 中西-松井真弓, 原田英光: エナメル石灰化における V-ATPase a3 アイソフォームを介した分泌リソソームの輸送. 第 130 回日本解剖学会総会・全国学術集会・第 102 回日本生理学会大会・第 98 回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025 年 3 月 17-19 日. プログラム集 2025.
- 5) 依田浩子, 佐野拓人, 大野佑樹, 大島勇人: 歯髄組織の発生・創傷治癒・老化過程におけるオートファジーの役割. 第 130 回日本解剖学会総会・全国学術集会・第 102 回日本生理学会大会・第 98 回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025 年 3 月 17-19 日. プログラム集 2025.
- 6) 大野佑樹, 大島秀介, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人, 依田浩子: 液腺分化における AMP-activated protein kinase (AMPK) の役割. 第 130 回日本解剖学会総会・全国学術集会・第 102 回日本生理学会大会・第 98 回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025 年 3 月 17-19 日. プログラム集 2025.
- 7) Angela Quispe-Salcedo, Kiyoko Suzuki-Barrera, Mauricio Andre Zapata-Sifuentes, 大島勇人: In vivo interaction of osteopontin and immune cells during the pulpal healing process following severe injuries. 第 130 回日本解剖学会総会・全国学術集会・第 102 回日本生理学会大会・第 98 回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025 年 3 月 17-19 日. プログラム集 2025.
- 8) Angela Quispe-Salcedo, Mauricio Andre Zapata-Sifuentes, 山崎智彦, 大島勇人: Effects of immobilized osteopontin on osseointegration after dental implantation into mouse maxillae. 第 25 回日本再生医療学会総会, 横浜, 2025 年 3 月 20-22 日.
- 9) 加藤優希, 涌井杏奈, 関口未来, 河内美帆, 今井真奈美, 佐藤遥菜, 成瀬悠香, 久保七海, 三角彩華, 安彦友希, 鷲尾純平, 佐藤拓一: スマホ画面およびエレベータボタンに付着・生息する細菌バイオフィルム解析. 第 98 回日本細菌学会総会, 金沢, 2025

【学会発表】

- 1) Angela Quispe-Salcedo, Kiyoko Suzuki-Barrera, Mauricio Zapata-Sifuentes, Tomohiko Yamazaki, Hayato Ohshima: Crosstalk between osteopontin and immune cells during pulpal healing following tooth injuries. 2025 15th Tooth Morphogenesis & Differentiation Conference, Corfu, 2025 6. 29-7. 4.
- 2) Hiroto Sano, Kuniko Nakakura-Ohshima, Angela

年5月30日。

- 10) 吉岡 望, 小林憲太, 吉本由紀, 井関祥子, 中村由香, 上野将紀, 芝田晋介, 大島勇人, 竹林浩秀: 中枢神経系の損傷部に瘢痕組織をつくる線維芽細胞の発生起源について. 第48回日本神経科学大会, 新潟, 2025年7月24-27日.
- 11) 加藤優希, 涌井杏奈, 佐藤拓一: エレベータボタンに付着している微生物バイオフィルム解析: 手指やスマートフォン画面との比較. 第19回日本臨床検査学教育学会学術大会, 岡山, 2025年8月21日.
- 12) 加藤優希, 涌井杏奈, 関口未来, 河内美帆, 佐藤遥菜, 成瀬悠香, 久保七海, 三角彩華, 佐藤拓一: スマートフォン画面およびエレベータボタンから検出される細菌の解析について. 第89回日本細菌学会北海道支部学術総会, 旭川, 2025年8月30日.
- 13) 加藤優希, 涌井杏奈, 関口未来, 河内美帆, 佐藤遥菜, 成瀬悠香, 久保七海, 三角彩華, 佐藤拓一: スマホやエレベータボタン表面から検出される細菌のプロファイリング. 第108回日本細菌学会関東支部総会, 群馬, 2025年10月17日.
- 14) 大島勇人: ご遺体を用いた筋の三次元的な位置関係から予測する下顎第三大臼歯の抜歯に伴う舌神経損傷リスク. 第67回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025年9月5-7日. J Oral Biosci Suppl 2025, p.192, 2025.
- 15) 吉岡 望, 小林憲太, 吉本由紀, 井関祥子, 中村由香, 上野将紀, 芝田晋介, 鳥海 拓, 大島勇人, 竹林浩秀, 川野 仁: 損傷後の神経組織で瘢痕組織をつくる線維芽細胞の発生起源について. 第68回日本神経化学大会, 名古屋, 2025年9月11-13日.
- 16) 加藤優希, 涌井杏奈, 関口未来, 佐藤遥菜, 佐藤拓一: スマートフォン画面から検出される細菌のプロファイリング: UV照射の有効性について. 第99回日本細菌学会総会, 広島, 2026年3月20-22日.
- 17) 依田浩子, 大野佑樹, 中 幸子, 山田耕太郎, 大島勇人: 歯の発育における AMP-activated protein kinase (AMPK) の発現と機能. 第131回日本解剖学会総会・全国学術集会, 東京, 2026年3月24-26日. プログラム集 2026.
- 18) 大野佑樹, 中 幸子, 山田耕太郎, 大島秀介, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人, 依田浩子: AMP-activated protein kinase (AMPK) 活性化は唾液腺の発育を促進する. 第131回日本解剖学会総会・全国学術集会, 東京, 2026年3月24-26日. プログラム集 2026.
- 19) Zapata Mauricio, Quispe-Salcedo Angela, 山崎智彦, 大島勇人: A Effects of recombinant osteopontin-coated titanium dental implants on osseointegration in mouse maxillae. 第131回日本解剖学会総会・全国学術集

会, 東京, 2026年3月24-26日. プログラム集 2026.

- 20) 吉岡 望, 小林憲太, 吉本由紀, 井関祥子, 中村由香, 上野将紀, 芝田晋介, 鳥海 拓, 大島勇人, 竹林浩秀, 川野 仁: 損傷後の神経組織で瘢痕組織をつくる線維芽細胞の発生起源の異質性. 第131回日本解剖学会総会・全国学術集会, 東京, 2026年3月24-26日. プログラム集 2026.
- 21) 高見寿子, 林 孝文, 佐藤 昇, 大島勇人: 表情筋と顔面 Fascia の肉眼および画像解剖学的解析. 第131回日本解剖学会総会・全国学術集会, 東京, 2026年3月24-26日. プログラム集 2026.

【受賞】

- 1) 依田浩子: 令和7年度新潟大学優秀論文表彰.
- 2) 常木雅之: JOB (Journal of Oral Biosciences) Citation Award 2025-First Prize
- 3) 大野佑樹: The role of AMP-activated protein kinase (AMPK) in salivary gland differentiation. 第32回みかんの会 若手医学研究者賞.

【その他】

- 1) Ohshima H: Vice Editor-in-Chief, Journal of Oral Biosciences
- 2) Ohshima H: Section Editor, Regenerative Therapy
- 3) Ohshima H: Editor-in-Chief, Anatomical Science International
- 4) Ida-Yonemochi H: Editorial Board, Frontiers in Dental Medicine
- 5) Ida-Yonemochi H: Managing Editor, Anatomical Science International
- 6) Tsuneki M: Associate Editor, Technology in Cancer Research & Treatment
- 7) Tsuneki M: Guest Editor, Diagnostics (Basel)
- 8) Tsuneki M: Editorial Board, BMC Cancer
- 9) 大島勇人: 実習室で確認! 歯科治療で配慮すべき解剖学的留意点. 令和7年度新潟県歯科医師会解剖実習スキルアップセミナー, 新潟, 2025年7月27日.
- 10) 勝見祐二, 大島勇人: Lingual nerve injury risk associated with extraction of mandibular third molars predicted by the three-dimensional topographical relationship of muscles using cadavers. 第45回 峠の会 形態科学セミナー, 秋田, 2025年7月31日.
- 11) 高見寿子, 林 孝文, 佐藤 昇, 大島勇人: Gross anatomical and image analytic approaches to layered facial fasciae and muscles. 第45回 峠の会 形態科学セミナー, 秋田, 2025年7月31日.
- 12) 大島勇人: 歯科臨床医が知っておくべき口腔解剖

学：口底部と上顎の神経・血管の走向と損傷リスク。新潟市歯科医師会北2班講演会，新潟，2025年9月19日。

- 13) 大島勇人：インプラント臨床に役に立つマクロ解剖学。日本橋インプラントセンター研修会，東京，2025年9月25日。
- 14) 大島勇人：実習室で確認！歯科治療で配慮すべき解剖学的留意点。令和7年度東京形成歯科研究会解剖実習スキルアップセミナー，新潟，2025年10月5日。
- 15) 大野佑樹，大島秀介，植木雄志，堀井 新，大島勇人，依田浩子：The role of AMP-activated protein kinase (AMPK) in salivary gland differentiation. 第32回みかんの会，新潟，2025年10月22日。
- 16) 大島勇人：歯髄の生物学的特性と再生能の観点から歯髄保護を考える。東京歯科大学 第519回大学院セミナー，東京，2025年10月29日。
- 17) Ohshima H, Quispe-Salcedo A, Ohshima R: *Osteopontin* deficiency disturbs reparative dentin/dentin bridge formation after cavity preparation/direct pulp capping with mineral trioxide aggregate. Japan (Iwate Medical University)-Korea (Yonsei University) Joint Seminar between JSPS and NRF, 博多, 2026年2月22-23日。
- 18) 大島勇人，高橋 克：(企画) 第24回日本再生医療学会総会，シンポジウム 歯科再生の社会実装へ向けた strategy, 1. 高橋 克，杉並亜希子：歯の再生治療薬抗 USAG-1 抗体の社会実装；2. 高木淳一，三原恵美子：バイオ医薬の社会実装と AMED BINDS 支援～抗原生産から特殊抗体創出、遺伝子治療ベクター開発まで～；3. 時田義人：先天性無歯症の遺伝学；4. 竹立匡秀，村上伸也：脂肪組織由来多系統前駆細胞を用いた歯周組織再生医療の社会実装への取り組み；5. 喜早ほのか：歯科再生における産学連携とベンチャー企業の挑戦ートレジェムバイオフーマの役割，第25回日本再生医療学会総会，横浜，2025年3月20-22日。
- 19) 原田英光，大島勇人：(企画) 歯の発生の会・歯科再生会議第30回産学連携フォーラム「接合上皮から歯周病予防を考えるー歯を守る最前線」，幕張，2025年3月16日。
- 20) 大島勇人：世界で最も影響力のある科学者トップ2% (2024年「生涯」区分)
- 21) 常木雅之：世界で最も影響力のある科学者トップ2% (2024年「単年」区分)
- 22) 大島勇人，江草 宏：(企画) 第25回日本再生医療学会総会，シンポジウム 17 歯科再生医療の現状と展望, 1. 江草 宏：幹細胞を利用した再生歯科補綴学の創成；2. 大庭伸介：骨形成プログラムの

理解とその再生医療への応用；3. 丸川恵理子：歯科インプラントにおける再生医療の現状と今後の可能性；4. 窪木拓男：骨形成タンパクを用いた顎骨再生治療の展開；5. 美島健二：唾液腺の再生治療戦略；6. 高橋 克：先天性無歯症患者の欠如歯を再生する新規抗体医薬品の開発，第25回日本再生医療学会総会，横浜，2026年3月19-20日。

- 23) 大島勇人：歯髄の生物学的特性と再生能の観点から歯髄保護を考える。東京医科歯科大学大学院特別セミナー，東京，2025年1月30日。
- 24) Angela Quispe-Salcedo: The role of stem cells on regenerative endodontic treatments [In Spanish:El rol de las células madre en los procedimientos endodónticos regenerativos]. Residency program in Endodontics, Faculty of Dentistry, National University of San Marcos, Peru (On line), 2025年04月10日。
- 25) 大島勇人：若手研究者がストレスなく効率的に英語学術論文を作成するコツについて。新潟大学大学院保健学研究科リサーチ・メソッズ・アドバンス，新潟，2025年6月21日。
- 26) 大島勇人：歯と歯根周囲の組織学・歯根と歯髄腔の解剖学・歯の痛みの生理学。神奈川歯科大学特別講義，横須賀，2025年8月26日。
- 27) 大島勇人：EPMA 入門，新潟大学大学院自然科学研究科大型機器分析技術，新潟，2025年8月27日。
- 28) 大島勇人：組織学の研究法。新潟大学医学部保健学科特別講義，新潟，2025年10月23日。
- 29) Angela Quispe-Salcedo: Biological basis for the use of triple antibiotic paste (3Mix-MP) [In Spanish: Fundamentos biológicos para el uso de la pasta triple antibiótica (3Mix-MP)]. Residency program in Pediatric Dentistry, Faculty of Dentistry, Los Andes University, Chile (On line), 2025年12月04日。
- 30) 大島勇人：歯の外的侵襲後の歯髄治癒過程における細胞・細胞外マトリックス相互作用。東京医科歯科大学大学院特別講義，東京，2026年3月5日。

口腔病理学分野

【著 書】

- 1) 田沼順一：非腫瘍性疾患病理アトラス 頭頸部 第1版 分担執筆者 p212-215. 文光堂.
- 2) 田沼順一：鑑別の森 第1版 分担執筆者 口腔上皮の反応異型と上皮内扁平上皮癌 p10-15. 文光堂.

【論 文】

- 1) Kano H, Kato Y, Fukui S, Maruyama S, Kobayashi T: Development of a surgical ciliated cysts after maxillary sinus floor augmentation for dental implants: a case report and review of the literature. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 37: 1018-1021, 2025.
 - 2) 阿部達也, 丸山 智, 山崎 学, 田沼順一. 口腔粘膜病変の病理診断: 現状と課題, 生検検体で考慮すべき鑑別疾患. *診断病理* 42: 263-71, 2025.
 - 3) Takamura K, Ajioka Y, Abé T, Gritcun T, Takashima S, Kondo S, Tani Y, Ohashi R: Progression of dysplasia in sessile serrated lesions with proliferative zone redistribution: “Top-down growth” as a marker of malignant potential. *Virchows Arch* 487: 389-99, 2025.
 - 4) Yamagata Y, Takahashi T, Ohshima S, Omata J, Yokoyama Y, Shodo R, Ueki Y, Abé T, Umezu H, Horii A: Pre-epiglottic adenocarcinoma NOS presenting as a cystic mass: a diagnostic challenge and surgical management. *Oral Oncol* 167: 107451, 2025.
 - 5) Kurita H, Uzawa N, Nakayama H, Abe T, Ibaraki S, Ohyama Y, Uchida K, Sato H, Miyabe S, Abé T, Kakimoto N, Kaida A, Sugiura T, Kioi M, Danjo A, Kitamura N, Hasegawa O, Tanaka T, Ueda N, Hasegawa T, Asoda S, Katsuta H, Yanamoto S, Yamada S, Takeda D, Suzuki T, Ohta Y, Kirita T: Japanese clinical practice guidelines for oral cancer, 2023. *Int J Oral Maxillofac Surg* 54: 461-76, 2025.
 - 6) Imai Y, Kishimoto N, Koyama Y, Sango K, Takeuchi K, Yamazaki M, Tanuma J, Tran SD, Seo K: Effects of Adipose-Derived Stem Cell Extract on Peripheral Nerve Cells. *Cureus* 17(10): e94180, 2025.
 - 7) Haga K, Kamimura Y, Yamazaki M, Funayama A, Saito Y, Kida M, Tanuma J, Izumi K: Quantitative and longitudinal monitoring of cancer cell invasion in a three-dimensional in vitro model of oral cancer using optical coherence tomography. *Sci Rep* 15: 45449, 2025.
 - 8) Sakurai K, Tomihara K, Yamazaki M, Tanuma J, Yamada S: High CD36 Expression Predicts Aggressive Invasion and Recurrence in Oral Squamous Cell Carcinoma. *Int J Mol Sci* 26(24): 12071, 2025.
 - 9) Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Katsura K, Yamazaki M, Tanuma J, Hayashi T: Evaluation of factors affecting depth of invasion measurement in tongue cancer using intraoral ultrasonography. *Dentomaxillofac Radiol* 55(1): 80-87, 2026.
 - 10) Zhang LE, Guo Y, Sumita Y, Hirai H, Yamazaki M, Hayashi T, Tanuma J, Tomihara K: Does chemotherapy improve the prognosis in patients with jaw osteosarcoma? A systematic review and meta-analysis. *Int J Oral Maxillofac Surg* 55: 10-19, 2026.
 - 11) Zhang LE, Guo Y, Yamazaki M, Hiraia H, Tanuma J, Tomihara K: Perineural invasion predicts poor prognosis in oral squamous cell carcinoma: A systematic review and meta-analysis. *J. Stomatol Oral Maxillofac Surg* 127: 102745, 2026.
 - 12) Takeuchi R, Haga K, Saito N, Hayashi T, Tanuma J, Funayama A: Bloom syndrome with mandibular gingival carcinoma: a case report. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 2026.10.1016/j.ajoms.2026.03.09.
- 【商業誌】**
- 1) 阿部達也: 口腔扁平上皮癌の側方上皮内進展と間質浸潤: 病理学的解析とその相反制御に関わる因子. *Medical Science Digest* 51(1): 54-55, 2025.
 - 2) 丸山 智: 腫瘍細胞が作り出す独自の腫瘍微小環境としての細胞外基質. 月刊「細胞」57(3): 162-163, 2025.
 - 3) 味岡洋一, 岸本光夫, 阿部達也: 大腸癌の病理. 画像診断 45(7): 634-43, 2025.
- 【研究費獲得】**
- 1) 丸山 智: 細胞外基質環境下で CD73-CXCL10 経路が腫瘍自己制御機構に果たす役割の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 24K13110, 2024 年 4 月 - 2027 年 3 月.
 - 2) 山崎 学: 死細胞由来の異所性核酸がもたらす口腔がん免疫逃避機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 24K13156, 2024 年 4 月 - 2027 年 3 月.
 - 3) 阿部達也: 口腔・頭頸部扁平上皮癌における RNA 選択的スプライシングの病理学的意義の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 24K12895, 2024 年 4 月 - 2027 年 3 月.
 - 4) 阿部達也: 頭頸部癌 mRNA 選択的スプライシングの病理学的意義に関する国際共同研究. 日本学術振興会科学研究費補助金. 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化), 24KK0283, 2025 年 4 月 - 2028 年 3 月.
 - 5) 田沼順一: シングルセル RNA-Seq 解析を利用した口腔癌微小環境の分子機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 23K09150, 2023 年 4 月 - 2026 年 3 月.
 - 6) 田沼順一: 口腔癌関連悪液質の改善を目指した漢方薬の抗炎症作用実証 —モデル動物を用いた基礎研究—. ツムラ株式会社・共同研究費. 2024 年 4 月 - 2028 年 3 月.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 田沼順一: 今日から歯間ブラシで始まる口腔細胞診ー早く・安く・正確な口腔細胞診ー. 2025年度新潟大学歯学部同窓会学術講演会, 2025年4月20日, 新潟.
- 2) 田沼順一: 知っておきたい口腔トラブルへの漢方薬入門 WEB セミナー. 株式会社ツムラ, 2025年5月26日, 新潟.
- 3) 田沼順一: 日常診療の際に役立つ口腔粘膜疾患の鑑別と対処法. 第40回 鹿児島県臨床細胞学会教育講演, 2025年8月17日, 鹿児島.
- 4) 宇佐美悠, 片瀬直樹, 丸山 智: 口腔上皮性異形成(OED) ワーキンググループからの報告 2. 第36回日本臨床口腔病理学会総会, 2025年9月4日, 岡山.
- 5) 田沼順一: 漢方薬リポジショニング: 口腔がん患者及び高齢者に対するオーラルフレイル・サルコペニア改善戦略. 第41回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」日本歯科医学会, 2026年1月17日, 東京.

【学会発表】

- 1) 小林亮太, 平井秀明, 上野山敦士, 齋藤夕子, 隅田賢正, 木口哲郎, 磯野俊仁, 山崎 学, 田沼順一, 林 孝文, 富原 圭: 噛みタバコ使用者に発生した頬粘膜扁平上皮癌の1例. 第63回日本口腔科学会北日本地方部会 第51回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 2025年5月31-6月1日, 札幌, 同学会プログラム抄録集, 53, 2025.
- 2) 園辺 悠, 相澤有香, 張 魯慶, 平井秀明, 新國農, 山崎 学, 濃野 要, 林 孝文, 田沼順一, 富原 圭: EGFR 標的 PCE 療法の個別化に向けた宿主因子の解析:腫瘍関連血小板の関与における新知見と未来戦略. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 2025年11月8日, 新潟, 新潟歯学会雑誌 55(2): 60頁, 2025.
- 3) 大石章鷲, 金井爽海, 阿部達也, 木口哲郎, 平井秀明, 山崎 学, 田沼順一, 奥田修二郎, 富原 圭: ヒトマイクロバイオーム研究の新展開ー舌癌組織における細菌ゲノムの同定. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 2025年11月8日, 新潟, 新潟歯学会雑誌 55(2): 60頁 2025.
- 4) Zhang L, Sonobe Y, Hirai H, Yamazaki M, Tanuma J, Tomihara K: Integrating machine learning with multi-omics analysis to reveal the prognostic value of perineural invasion in head and neck squamous cell carcinoma. 令和7年度新潟歯学会第2回例会,

2025年11月8日, 新潟, 新潟歯学会雑誌 55(2): 64頁, 2025.

- 5) Abé T: Alternative splicing signatures of mRNA in head and neck squamous cell carcinoma and pathological significance: TCGA database analysis. SGPath/SSPath 90th annual congress 2025, 2025年11月20-22日, Zurich, program: 20頁, 2025.
- 6) Haga K, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Tanuma J: Identification of early detection markers of oral potentially malignant disorders and oral squamous cell carcinoma using oral liquid-based cytology. The 22nd International Congress of Cytology, 2025年5月11-14日 Firenze, program: 25頁, 2025.
- 7) 田沼順一, 丸山 智, 阿部達也, 羽賀健太, ケマスアレックス, 川崎真依子, 山崎 学: がん性悪液質モデル動物作成及びサルコペニアに対するQOL改善の解析. 第84回日本癌学会総会, 2025年9月25日, 金沢, 同学会プログラム抄録集, 53頁, 2025.
- 8) 相澤有香, 羽賀健太, 阿部達也, 丸山 智, 山崎学, 田沼順一, Larasati PP, 泉 健次, 富原 圭: 患者由来細胞を含む3D器官型 in vitro 口腔癌モデルの開発と応用展開, 第84回日本癌学会総会 2025年9月25日, 金沢, 同学会プログラム抄録集, 66頁, 2025.
- 9) 浅見栄里, 羽賀健太, 長谷部大地, 阿部達也, 丸山智, 田沼順一, 林 孝文, 船山昭典: 10代男性の下顎骨内に生じた埋伏歯を伴わない腺腫様歯原性腫瘍の1例. 第70回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2025年11月4-5日, 福岡, 同学会プログラム抄録集, 69頁, 2025.
- 10) 高村真貴, 小林太一, 新國 農, 勝良剛詞, 山崎学, 田沼順一, 林 孝文: 口腔内超音波診断による口腔扁平上皮癌の頬筋浸潤の診断基準に関する検討: 予備的研究. 日本歯科放射線学会 第6回秋季学術大会, 2025年9月12日, 大阪, 同学会プログラム抄録集, 26頁, 2025.
- 11) 阿部達也, 凌 一葦, 奥田修二郎, 山崎 学, 丸山智, 田沼順一: 頭頸部扁平上皮癌における選択的スプライシングシグネチャーと臨床病理学的表現型の解析. 第114回日本病理学会総会, 2025年4月17日, 仙台, 同学会プログラム抄録集, 297頁, 2025.
- 12) 山崎 学, 阿部達也, 丸山 智, 田沼順一: 口腔扁平上皮癌における cGAS-STING 経路活性化の意義. 第114回日本病理学会総会, 2025年4月18日, 仙台, 同学会プログラム抄録集, 390頁, 2025.

- 13) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 田沼順一: 低酸素腫瘍微小環境下での CD73-CXCL10 経路による唾液腺多形腺腫由来細胞の生存機構. 第 114 回日本病理学会総会, 2025 年 4 月 18 日, 仙台, 同学会プログラム抄録集, 39 頁, 2025.
- 14) 竹内涼子, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 新國 農, 林 孝文, 丸山 智, 田沼順一, 船山昭典: 再発のみられた単純性骨嚢胞様の空洞化を伴ったセメント質骨性異形成症の 1 例. 第 79 回日本口腔科学会総会・学術大会, 2025 年 5 月 16 日, 松本, 同学会プログラム抄録集, 25 頁, 2025.
- 15) 丸山 智, 阿部達也, 橋本和彦, 中島 啓, 辺見卓男, 柳下寿郎, 宇佐美悠, 常松貴明, 河合穂高, 片瀬直樹, 石川文隆, 森 泰昌, 長塚 仁, 田沼順一: 口腔上皮性異形成 (OED) ワーキンググループからの報告 (第二報). 第 36 回日本臨床口腔病理学会総会, 2025 年 9 月 4 日, 岡山, 同学会プログラム抄録集, 97 頁, 2025.
- 16) 有地淑子, 杉田好彦, 小椋一朗, 岡田康男, 小西勝, 湯浅賢治, 田沼順一, 富岡寛文, 小林太一: 口腔癌 DOI 評価におけるポケットオーラルエコーの試用経験. 第 43 回日本口腔腫瘍学会, 2026 年 2 月 14 日, 宇都宮, 同学会プログラム抄録集, 26 頁, 2026.

歯科薬理分野

【原著論文】

- 1) Meguro F, Kawasaki K, Kakihara Y, Kawasaki M, Fukushima M, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Nihara J, Kudo T, Fujita A, Ichikawa K, Osawa K, Maeda T, Tabeta K, Saeki M, Ohazama A: DNA repair during embryonic epidermal stratification. *Dev Dyn*. 255(5):475-485, 2025.
- 2) Iwamoto Y, Piriyaaprasath K, Yusuf ASH, Hasegawa M, Kakihara Y, Sato T, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Daily Administration of Agmatine Reduced Anxiety-like Behaviors and Neural Responses in the Brains of Male Mice with Persistent Inflammation in the Craniofacial Region. *Nutrients*. 17(11):1848, 2025.
- 3) Yoshida N, Maekawa T, Sekiguchi K, Kaku M, Sirisereephap K, Surboyo M, Sato-Yamada Y, Rosenkranz A, Hosoya A, Ohkura N, Kakihara Y, Maeda T, Hajishengallis G, Izumi K, Yoshida K: Loss of integrin alpha7-mediated signaling induces a dendritic cell-like phenotype in macrophages cultured on laminin-211/221 isoforms. *J Biol Chem*. 301(8):110419, 2025.
- 4) Sáez-Chandía J, Castillo-Quispe S, Okamoto K, Kurahashi A, Kodaira K, Aihara K, Suzuki-Barrera K, Kaku M, Mikami Y, Terunuma M, Yamamura K, Hayashi T, Saeki M, Kakihara Y: Effects of Freeze-Dried Sake Lees and Rice Koji Extract on Osteoporosis in a Postmenopausal Mouse Model. *Nutrients*. 17(19):3077, 2025.
- 5) Thant L, Dobashi A, Kitami M, Phyu HP, Kobayashi M, Ono Y, Kakihara Y, Matsumoto M, Kaku M: Chemical Digestion-Assisted Proteomics Reveals the Extracellular Matrix Profile of Human Periodontal Ligament and its Alterations in Cultured Cell-Derived Extracellular Matrix. *Mol Cell Proteomics*. 24(12):101460, 2025.

【研究費獲得】

- 1) 三亀啓吾, 柿原嘉人(分担)他: 生理活性発現に適したリグニンの分子設計と精密分解による機能化. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B), 24K01890, 2025.(継続)
- 2) 加来 賢, 柿原嘉人(分担)他: 細胞外マトリックスが制御する幹細胞分化の解明と歯根膜再生への応用. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B), 24K02630, 2025.(継続)
- 3) 長谷川真奈, 柿原嘉人(分担)他: ストレスによる高位脳の機能変調が顔面痛を増大させる中枢メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 24K13111, 2025.(継続)
- 4) 柿原嘉人(代表): 骨芽細胞の I 型コラーゲンと基質小胞の分泌経路における Rab タンパク質の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 23K09117, 2025.(継続)
- 5) 岡本圭一郎, 柿原嘉人(分担)他: トレッドミル走がストレス誘発性の顔面痛を軽減する脳メカニズム. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 23K09391, 2025.(継続)
- 6) 船山昭典, 柿原嘉人(分担)他: 口腔癌進展における癌関連線維芽細胞 (CAFs) の TGF- β シグナルの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 22K10143, 2025.(継続)

【学会発表】

- 1) S. Castillo-Quispe, 柿原嘉人, 照沼美穂: 代謝物プロファイリングに基づく破骨細胞分化を調節する酒粕由来化合物の同定. 第 65 回新潟生化学懇話会, 長岡, 2025 年 10 月 18 日.
- 2) 柿原嘉人, J. Sáez-Chandía, S. Castillo-Quispe, 岡本圭一郎, 加来 賢, 照沼美穂: 酒粕と米麴抽出物によ

る骨粗鬆症改善効果. 第 65 回新潟生化学懇話会, 長岡, 2025 年 10 月 18 日.

- 3) 柿原嘉人, 岡本圭一郎: 米発酵食品に含まれる物質の脂肪細胞への影響. 第 25 回日本歯科医学会学術大会 (オンデマンド), 2025 年 9 月 26 日.
- 4) S. Castillo-Quispe, 柿原嘉人, 照沼美穂: 米発酵食品に含まれる物質の骨代謝細胞分化への影響. 第 25 回日本歯科医学会学術大会 (オンデマンド), 2025 年 9 月 26 日.

【受賞】

- 1) 大川原浩将, S. Castillo-Quispe: 捨てない未来へ: 新潟酒粕キノコが変える地域・食・健康の三重奏. 「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト 2025 一正蒲鉾賞, 新潟市, 2025 年 11 月 8 日.

包括歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Gonda T, Togawa H, Ikebe K. Effects of denture use on occlusal force on abutment teeth in molar distal-extension edentulism. *J Prosthodont Res.* 69(1):91-96, 2025.
- 2) Fukuda M, Izuno H, Sawada M, Ujihashi T, Takano H, Hori S, Okawa J, Ono T, Hori K. Association Between Oral Function and Oral-Related Quality of Life in Independent Community-Dwelling Elderly People in Taiwan. *Healthcare (Basel).* 13(11):1332, 2025.
- 3) Okawa J, Hayakawa Y, Ito A, Kawakami S, Miyaji K, Ono T, Hori K. Effect of xanthan gum-based, guar gum-based, and starch-based thickeners on tongue pressure and pharyngeal residue. *Arch Oral Biol.* 176:106303, 2025.
- 4) Mimura S, Kurihara-Okawa K, Fukamachi N, Nagasaki T, Hori K, Okawa J, Takeyama M, Ono T, Saito I. Characteristics of masticatory behavior of patients with mandibular prognathism. *Maxillofac Plast Reconstr Surg.* 47(1):5. 2025.
- 5) Shirotori S, Hasegawa Y, Nagai K, Kusunoki H, Yoshimura S, Tokumoto K, Hattori H, Tamaki K, Hori K, Kishimoto H, Shinmura K. Is Oral Function Associated with the Development of Sarcopenic Obesity and Sarcopenia in Older Adults? A Prospective Cohort Study. *Diseases.* 13(4):109, 2025.
- 6) Li Q, Li W, Hori K, Murakami K, Maeda Y, Chen Y, Ono T. Evaluating the effect of trunk angle on the biomechanics of tongue, hyoid, and swallowing-related

muscles during normal oropharyngeal swallowing with a non-invasive sensing system. *Odontology.* Sep 13. 2025.

- 7) Marito P, Murakami K, Werdiningsih M, Kusdhany L, Indrasari M, Ono T, Hori K. Improvement in food comminution at swallowing threshold with newly fabricated removable dentures. *J Prosthodont Res.* 2025.
- 8) Weng EC, Hasegawa Y, Yoshimoto T, Maria MTS, Nagai K, Sato N, Tokumoto K, Hori K, Kusunoki H, Kishimoto H, Shinmura K. Effect of deterioration of swallowing functions on the frailty status in older adults: a longitudinal cohort study. *BMC Geriatr.* Jun 24;25(1):429. 2025.
- 9) Sakata M, Hasegawa Y, Suzuki T, Ono Y, Shiramizu M, Sadakane-Sakuramoto A, Sakagami J, Kishimoto H, Hori K. Effects of odor on cortical activity during gum chewing. *J Neurorestoratol.* 14:100276, 2026.
- 10) Sta Maria MT, Hasegawa Y, Yoshimura S, Suzuki T, Ono Y, Sakata M, Shiramizu M, Hori K, Yamamura K, Ono T. Impact of Chewing Behavior Change on Cognition and Cerebral Hemodynamics. *JDR Clin Trans Res.* 23800844251388317. 26 Nov. 2025.
- 11) Kusashio N, Hasegawa Y, Yoneda H, Shiramizu M, Nakamura Y, Yamamoto T, Ono T. The Impact of Asymmetrical Occlusion on Children in the Mixed Dentition Period: A Cross-Sectional Study. *Int J Paediatr Dent.* Mar;36(2):288-297, 2026.
- 12) Ishimaru T, Yamaguchi T, Saito T, Nakagawa Y, Hattori Y, Ono T, Arai Y, Hasegawa Y, Shiga H, Tamaki K, Tanaka J, Tsuga K, Abekura H, Miyawaki S, Maeda-Iino A, Mikami S, Gotouda A, Shimizu K, Kato Y, Namita T, Kuroshima S. Verification of the relationship between awareness of clenching or the teeth contacting habit and the integral value of masseteric electromyogram during diurnal wakefulness. *Clin Oral Investig.* 11;29(11):502, 2025.
- 13) Nakagawa Y, Yamaguchi T, Ishimaru T, Saito T, Hattori Y, Ono T, Arai Y, Hasegawa Y, Shiga H, Tamaki K, Tanaka J, Tsuga K, Abekura H, Miyawaki S, Maeda-Iino A, Mikami S, Gotouda A, Shimizu K, Kato Y, Namita T, Kuroshima S. Day-To-Day Variation in Masseteric Electromyographic Waveforms During the Diurnal Awake State. *J Oral Rehabil.* 52(11):1922-1932, 2025.
- 14) Miyazaki Y., Ono Y., Suzuki T., Hasegawa Y., Yoshimura S., Sta. Maria M. T., Hori K., Yamamura K., Ono T. Habitual attentional mastication boosts prefrontal activity during chewing: A randomized trial. *J Prosthodont Res.*, in press. January 5, 2026.

- 15) Hasegawa Y., Suzuki T., Yoshimura S., Shirimizu M., Sta. Maria M.T., Sakata M., Yamamura K., Ono T., Ono Y. Impact of food-related emotional changes on cerebral hemodynamic response. *Appetite*. 10:108415, 2025.
- 16) Yamamoto S, Yano J, Ono T, Hori K, Hanayama K. Effect of Gummy film sheet for tongue training on swallowing-related muscles. *Kawasaki Medical Journal*. 51:173-180, 2025.
- 17) 大川 純平, 堀 一浩, 岸本 奈月. 舌苔の付着や舌の乾燥は口腔機能および身体機能と関連するか 深層学習を用いた舌の画像解析 はち・まる・にい・まる(2188-9082)24号 Page96-98, 2025.
- 18) 堀 一浩, 大川 純平, 村上 和裕, 長谷川 陽子: 嚥下機能の評価法の検証 咀嚼機能の評価法 嚥下医学. 14, 182-186, 2025.
- 9) 吉村将悟: 咀嚼行動は筋肉量、栄養に関係するか?-自立高齢者における咀嚼、栄養、筋肉量の関連-, 若手研究, 23K16084, 2023-2025
- 10) 長谷川 陽子, 小野 弓絵, 堀 一浩, 山村 健介, 小野 高裕: 食生活の変容が認知機能に与える影響. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 2023年4月-2026年3月
- 11) 大川純平, 堀 一浩, 岸本奈月: 舌の清掃不良と咀嚼機能の低下は身体機能や栄養状態と関連するか: 機械学習を用いた舌および咀嚼の動画像解析. 8020 推進財団 令和7年度 8020 研究事業, 2025年4月-2026年3月
- 12) 岸本奈月: 口腔機能とフレイルおよび全身の健康に関する縦断研究: 多職種連携による多角的評価. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究, 24K19963, 2024-2026

【研究費獲得】

- 1) 堀一浩, 吉村将悟: 生涯にわたる咀嚼行動と咀嚼能力の変遷, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 25K13081, 2025年4月-2028年3月
- 2) 堀 一浩: 画像認識技術を用いた舌衛生管理アプリケーションの事業化 みちのく GAP ファンド, 2025年4月-2026年3月
- 3) 村上和裕, 堀一浩: グミ食品を用いた段階的咀嚼機能改善プログラムの構築. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 23K09250, 2023年4月-2026年3月
- 4) 大川純平, 堀 一浩, 東森 充: スマートフォンへの深層学習実装による舌苔のセルフケア: 口臭と口腔内微生物数の推定. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 24K13041, 2024年4月-2027年3月
- 5) 佐藤直子, 堀 一浩: 食事介助下での被介助者の姿勢が、摂食嚥下の先行期・準備期における挙動に与える影響. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 24K13042, 2024年4月-2028年3月
- 6) 上原文子: 若年者における咀嚼行動と食嗜好の関連および親子間での相関の検討. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究, 24K19961, 2024年4月-2027年3月
- 7) 堀頌子: 咀嚼行動は肥満発症と関連するか?ーレトロスペクティブスタディー. 日本学術振興会 科学研究費用補助金 研究活動スタート支援, 22K21035, 2022-2026年度
- 8) 堀頌子: 咀嚼特性から考える肥満リスク〜プロスペクティブスタディー〜. 日本学術振興会 科学研究費用補助金 若手研究, 24K19943, 2024-2027年度
- 13) 善本佑: 中高齢者のインターバル速歩による運動が口腔の健康に与える影響. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究, 24K19944, 2024-2025
- 14) 吉村将悟: 食品摂取と咀嚼行動の精細な複合的モニタリング, 若手研究, 25K20342, 2025-2028
- 15) 長谷川陽子, 田原康玄, 大川純平, 合田敏尚, 善本佑: 下顎運動が咀嚼能力に及ぼす影響-顔面匿名化技術を用いた大規模サンプル解析-. 8020 推進財団 令和7年度 8020 研究事業, 2025年4月-2026年3月
- 16) 長谷川陽子, 善本佑: インターバル速歩による高齢者の健康寿命延伸と口腔機能改善実証. 三井住友海上福祉財団研究助成, 2025年4月-2026年3月
- 17) 長谷川陽子: 食事アプリ×個別指導による食生活介入が高齢者の認知機能・脳神経活動に与える影響の検証. 新潟大学 令和7年度 U-go グラント, 2025年4月-2026年3月
- 18) 長谷川陽子: 睡眠時ブラキシズムが高齢者の認知機能に及ぼす神経基盤の解明. 新潟大学 令和7年度 国際共同研究加速グラント, 2025年4月-2026年3月

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Hori K: Prosthetic approach for dysphagic patients. Craiova Stoma Links.2025, Craiova, May 30, 2025.
- 2) Hori K: Oral hypo-function in older people. Craiova Stoma Links.2025, Craiova, May 29, 2025.
- 3) 長谷川陽子: 歯科からみるフレイル・サルコペニア・骨粗鬆症対策. 第18回 兵庫医科大学病院 骨粗鬆症・サルコペニア・フレイル カンファレンス. 西宮市, 2025年10月27日
- 4) 堀 一浩: とろみ調整食品を科学する. 第31回日

本摂食嚥下リハビリテーション学会, 横浜市,
2025/9/20

- 5) 堀 一浩: 高齢者・顎顔面補綴治療の勘所. 日本補綴歯科学会第134回学術大会, 長崎市, 2025/5/17
- 6) 吉田馨太: 『作り方のDX』で終わらせない! デジタルも取り入れた義歯製作のチームビルディング戦略, 東京都歯科技工士会, 2025年度 復職支援講習会 ハイブリッドセミナー (日技生涯研修), オンライン, 2025/10/12.
- 7) 吉田馨太: プリンテッドデンチャーの現在地~保険収載された条件と応用のポイント~. 三条市歯科医師会研修会 (日歯生涯研修), 新潟, 2026/01/26.

【学会発表】

- 1) Monika Werdiningsih, Okawa J, Kishimoto N, Yoshimura S, Hori S, Aye Mya Mya Khaing, Yasuno A, Yamada K, Weng EnChih, Min Thu Ya, Nakada H, Suganuma Y, Hori K: Relationship between masticatory function, nutritional status, and sarcopenia in community-dwelling older people. 13th International Scientific Meeting in Dentistry (TIKIG) and The 9th International Conference on Biophysical Technology in Dentistry (ICoBTD). Indonesia. February 21th, 2025
- 2) Okawa J, Yamada K, Aye Mya Mya Khaing, Min Thu Ya, Ma Therese Sta. Maria, Monika Werdiningsih, Suganuma Y, Ono T, Hori K: Early Urge to Swallow During Chewing May Be Associated with Higher BMI and Body Fat Percentage. 7th International Conference on Food Oral Processing. Spain, May 2025.
- 3) Yamada K, Okawa J, Aye Mya Mya Khaing, Min Thu Ya, Monika Werdiningsih, Suganuma Y, Ma Therese Sta. Maria, Ono T, Hori K: Increased aroma content in gummy jelly enhances retronasal aroma and prolongs swallowing threshold. 7th International Conference on Food Oral Processing. Spain, May 2025.
- 4) Yasuno A, Murakami K, Tagawa Y, Okawa J, Yamabe F, Suzuki K, Ono T, Hori K. Influence of masticatory performance on number of chewing cycles of gummy jelly in older denture wearers. 7th International Conference on Food Oral Processing. Spain, May 2025.
- 5) Fumiko Uehara, Kazuhiro Hori: Aesthetic impairment due to partial upper lip defect was improved using a facial prosthetic with silicone: A case report. 2025 International Anaplastology Association Educational Conference on June 12-14, 2025.
- 6) Khaing Aye Mya Mya, Murakami K, Takano H, Hori K; Photographic image analysis of individual gummy particles for evaluating masticatory performance. The 36th Annual Meeting of the Japanese Society of Gerodontology, 29th June, 2025.
- 7) Yamada K, Okawa J, Suganuma Y, Kingkamol Thongthip, Ono T, Hori K: AI-Based Image Analysis of Smartphone Photographs for Tongue Coating Evaluation. 35th Annual Congress of the European College of Gerodontology, Switzerland, 2025
- 8) Takano H, Aye Mya Mya Khaing, Yoshimura S, Hori S, Uehara F, Hori K. Features of changes in masticatory behaviours and food acceptance after prosthodontic treatment with dentures. 35th Annual Congress of the European College of Gerodontology. Geneva. August 29-30, 2025.
- 9) Yasuno A, Murakami K, Takano H, Aye Mya Mya Khaing, Ono T, Hori K. Usefulness of novel masticatory performance test using gummy jelly for older people with low masticatory function. 35th Annual Congress of the European College of Gerodontology. Geneva. August 29-30, 2025.
- 10) Sakata M., Hasegawa Y., Yoshimura S., Sta. Maria M. T., Tsutsuura S., Min Thu Ya, Shiratori S., Suzuki T., Shiramizu M., Ono Y., Hori K. Impact of Dietary Interventions on Cognitive Health in Older Adults. 2025 IADR/PER General Session & Exhibition. 2025年6月27日.
- 11) Hasegawa Y., Shiratori S., Tokumoto K., Yoshimura S., Hattori H., Kusunoki H., Nagai K., Tamaki K., Hori K., Kishimoto H., Shinmura K. Is Oral Function Associated with the Development of Sarcopenic Obesity and Sarcopenia in Older Adults? A Prospective Cohort Study. 2025 IADR/PER General Session & Exhibition. 2025年6月26日.
- 12) SATO Rikako, AMANO Kota, TADA Akira, MIZUTANI Saki, OSHIO Mana, OTSUKA Atsuko, KIMURA Masanori, HORI Kazuhiro, TANIGUCHI Hiroshige. Effects of Foamy Thickened Liquids "Espuma" on Swallowing Function in Young Adults, 7th International Conference on Food Oral Processing Physics, Physiology and Psychology of eating, 13th May 2025
- 13) THUYA MIN, 中田晴香, 村上和裕, 安野綾夏, 上原文子, 大川純平, 長谷川陽子, 堀一浩: Subjective Assessment of Optimal Timing for Tissue Conditioner Use in Palatal Augmentation Prosthesis (PAP) Formation. 一般社団法人日本顎顔面補綴学会第42回総会・学術大会, 仙台市, 2025年6月20日, 2025.
- 14) 大川純平, 堀 一浩: 右側鼻腔癌および骨格性下顎

- 前突症を伴う、長期に義歯使用歴のない上下顎無歯顎患者に対する欠損補綴症例. 日本老年歯科医学会第36回学術大会, 千葉, 2025年6月27日, 2025.
- 15) Monika Werdiningsih, Okawa J, Yoshimura S, Hori S, Aye Mya Mya Khaing, Yasuno A, Yamada K, Weng EnChih, Min Thu Ya, Nakada H, Hori K: Association of masticatory performance, sarcopenia, and social frailty with nutritional status in community-dwelling older adults. 日本老年歯科医学会第36回学術大会, 千葉, 2025年6月29日, 2025.
 - 16) Khaing Aye Mya Mya, Murakami K, Takano H, Hori K: Photographic image analysis of individual gummy particles for evaluating masticatory performance. The 36th Annual Meeting of the Japanese Society of Gerodontology, 29th June, 2025.
 - 17) 菅沼雄大, 大川純平, 泉野裕美, 福田昌代, 氏橋貴子, 小野高裕, 堀一浩: 深層学習を用いた画像認識による口腔粘膜湿度の評価. 第31回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 横浜, 2025.9.20.
 - 18) 高野日南子, Aye Mya Mya Khaing, 吉村将悟, 堀頌子, 堀一浩. 補綴治療前後の咀嚼行動と咀嚼能力の変化. 日本顎口腔機能学会第73回学術大会. 岐阜. 2025年4月12-13日.
 - 19) 高野日南子, Aye Mya Mya Khaing, 吉村将悟, 堀頌子, 上原文子, 堀一浩. 補綴治療前後における咀嚼行動の変化の特徴. 令和7年度新潟歯学会第1回例会. 新潟. 2025年7月12日.
 - 20) 安野綾夏, 村上和裕, 中田晴香, Min Thu Ya, 岸本奈月, 飯田貴俊, 堀一浩. 舌運動障害体験用マウスピースを利用した舌接触補助床体験実習の構築. 日本補綴学会. 長崎. 2025年5月17日.
 - 21) 村上和裕, 中田晴香, 堀一浩. 3Dプリンタにより製作した舌運動障害体験用マウスピースを用いた舌接触補助床体験実習の試み. 日本デジタル歯科学会第16回学術大会, 東京, 2025年5月10日.
 - 22) 中田晴香, Min Thu Ya, 村上和裕, 堀一浩. 訪問歯科診療においてIOSを用いずにCAD/CAM複製義歯を製作した症例. 日本老年歯科医学会第36回学術大会, 千葉, 2025年6月27日.
 - 23) 上原文子, 吉村将悟, 堀頌子, Monika Werdiningsih, 田中宏樹, 谷村基樹, 堀一浩: 子の咀嚼行動は親の咀嚼行動と関連するか? 第36回日本咀嚼学会学術大会, 北海道, 2025年9月14日.
 - 24) 長谷川陽子, 白水雅子, 善本祐. グミゼリーによる咀嚼能率の標準化と基準値の確立を目的とした横断調査: しずおか研究. 第36回日本咀嚼学会学術大会, 北海道, 2025年9月14日.
 - 25) 高野日南子, 中西尋子, Monika Werdiningsih, Kingkamol Thongthip, 田中宏樹, 谷村基樹, 北村真理, 堀一浩. 幼児に対する食育プログラムが咀嚼行動に及ぼす変化. ポスター発表. 日本咀嚼学会第36回学術大会. 北海道. 2025年9月14-15日.
 - 26) Aye Mya Mya Khaing. Estimation of decreased maximum occlusal force from particles of gummy jelly used for masticatory performance test. 新潟歯学会, 新潟, 2025年11月8日.
 - 27) 白鳥昇. 食事記録アプリを活用した食事改善介入が高齢者の栄養摂取と口腔機能に与える影響. 補綴学会関越支部. 2025年11月30日.
 - 28) 長谷川陽子, 徳本佳奈, 堀一浩. パンデミックによる社会的接触の減少が咀嚼嚥下機能に及ぼす影響. 日本補綴歯科学会関越支部大会. 2025年11月30日.
 - 29) 小松良, 永井宏, 長谷川陽子, 松沢良太, 和田陽介, 口辻翔太郎, 玉城香代子, 森敬良, 岸本裕充, 新村健. 社会的活動とオーラルフレイルの関連性の検討: 前向きコホート研究. 第12回日本サルコペニア・フレイル学会大会. 熊本, 2025年11月1日.
 - 30) 徳本佳奈, 三野卓哉, 黒崎陽子, 白水雅子, 山本薫子, 西浦恵奈, 山野恵莉菜, 長谷川陽子, 永井宏達, 前川賢治, et al. ウェアラブル型咀嚼計で評価した咀嚼運動習慣と認知機能の関連 -地域在住高齢者コホート内横断調査-. 一般社団法人日本老年歯科医学会第36回学術大会. 2025年6月27-28日.
 - 31) 黒崎陽子, 三野卓哉, 徳本佳奈, 白水雅子, 西浦恵奈, 山野恵莉菜, 栗山拓也, 長谷川陽子, 前川賢治. 習慣的咀嚼行動および咀嚼能力と低体重との関連: 地域在住高齢者のコホート内横断調査. 公益社団法人日本補綴歯科学会 第134回学術大会, 2025年5月17-18日.
 - 32) 小山菜々香, 串田修, 合田敏尚, 白水雅子, 善本祐, 長谷川陽子, 永谷幸子, 堀芽久美, 成瀬早苗, 佐藤清香, 三浦綾子, 森下紗帆, 加藤倫卓, 中村純也, 釘宮嘉浩, 村上正治, 栗山長門, 田原康玄. 地域在住高齢者における食事別共食状況と口腔機能低下症の診断に関する指標との関連: 静岡研究. 日本栄養食糧学会中部支部大会, 静岡市, 2025年11月29日.
 - 33) 坂田政貴, 長谷川陽子, 吉村将悟, Ma. Therese Sta Maria, 筒浦さとみ, MinThuYa, 白鳥昇, 山村健介, 白水雅子, 小野弓絵, 鈴木達也, 堀一浩. 専門的食事指導および食事管理アプリによる高齢者への栄養介入と認知機能. 第31回医用近赤外線分光法研究会・第29回酸素ダイナミクス研究会 第6回合同研究会第27回日本光脳機能イメージング学会学術集会

新潟, 2025年9月27-28日.

- 34) 佐藤理加子, 天埜皓太, 堀一浩, 谷口裕重. エスプーマ処理した気泡含有とろみ液が摂食嚥下機能へ及ぼす影響, 日本顎口腔機能学会第74回学術大会, 2025年11月15-16日
- 35) 中田晴香, 村上和裕, 安野綾夏, 上原文子, Min Thu Ya, 大川純平, 堀一浩. 舌運動障害体験用マウスピースを利用した舌接触補助床体験実習の構築. 日本顎顔面補綴学会第42回総会・学術大会, 2025年6月20-21日.

【受賞】

- 1) 高野日南子, Aye Mya Mya Khaing, 吉村将悟, 堀頌子, 堀一浩. 補綴治療前後の咀嚼行動と咀嚼能力の変化. 日本顎口腔機能学会第73回学術大会 優秀賞. 2025年4月12-13日.
- 2) Monika Werdiningsih, Okawa J, Kishimoto N, Yoshimura S, Hori S, Aye Mya Mya Khaing, Yasuno A, Yamada K, Weng EnChih, Min Thu Ya, Nakada H, Suganuma Y, Hori K: Relationship between masticatory function, nutritional status, and sarcopenia in community-dwelling older people. 13th International Scientific Meeting in Dentistry (TIKG) and The 9th International Conference on Biophysical Technology in Dentistry (ICoBTD). 1st winner of “Original Research”. Indonesia. February 21th, 2025.
- 3) SATO Rikako, AMANO Kota, TADA Akira, MIZUTANI Saki, OSHIO Mana, OTSUKA Atsuko, KIMURA Masanori, HORI Kazuhiro, TANIGUCHI Hiroshige. Effects of Foamy Thickened Liquids “Espuma” on Swallowing Function in Young Adults, 7th International Conference on Food Oral Processing Physics, Physiology and Psychology of eating, EPC Overseas Award, 13th May 2025
- 4) 佐藤理加子, 2025年度日本顎口腔機能学会奨励賞, 2025年11月15-16日
- 5) 佐藤理加子, 天埜皓太, 堀一浩, 谷口裕重. エスプーマ処理した気泡含有とろみ液が摂食嚥下機能へ及ぼす影響, 日本顎口腔機能学会第74回学術大会 優秀賞, 2025年11月15-16日

【その他】

- 1) 堀一浩: 新潟県学校栄養士協議会全体研修会. 咀嚼・嚥下機能からみた食教育. 2025年6月16日
- 2) 堀一浩: 顎顔面補綴学会 ハンズオンセミナー 第2回「PAP 治療ワークショップ」2025年6月21日
- 3) 堀一浩: 新潟大学公開講座. 噛めば噛むほど得する話. 2025年10月25日

- 4) 吉村将悟: 咀嚼計 bitescan による“噛む”をはかり、気づき、行動を変える食育取り組み. 第63回日本小児歯科学会. スイーツセミナー. 2025年5月29日.
- 5) 大川純平, 堀一浩, 岸本奈月: 令和7年度8020研究事業 公募研究発表会. 舌苔の付着や舌の乾燥は口腔機能および身体機能と関連するか: 深層学習を用いた舌の画像解析. 2025年7月29日
- 6) 長谷川陽子: 咀嚼と栄養の科学: 歯科の視点から. 令和7年度 桐生市歯科医師会学術講演会 日本補綴歯科学会共催生涯学習公開セミナー. 2025年11月8日.
- 7) 長谷川陽子: お口から始めるフレイル予防. ~健康長寿への第一歩~. 丹波篠山市 市民公開講座. 令和7年3月20日.

組織再建口腔外科学分野

【論文】国際→国内 旧→新

- 1) Haga K, Kamimura Y, Yamazaki M, Funayama A, Saito Y, Kida M, Tanuma JI, Izumi K. Quantitative and longitudinal monitoring of cancer cell invasion in a three-dimensional in vitro model of oral cancer using optical coherence tomography. Sci. Rep. 15, 45449, 2025.
- 2) Kawasaki K, Kawasaki M, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Fukushima M, Saito N, Suda D, Kudo T, Fujita A, Nihara J, Franco B, Ohazama A: Early increased cell proliferation compensates subsequent hypoplasia of the ossicle. Front Cell Dev Biol 29:13:1627730, 2025.
- 3) Kano H, Kato Y, Fukui S, Maruyama S, Kobayashi T. Development of a surgical ciliated cyst after maxillary sinus floor augmentation for dental implants: A case report and review of the literature. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol, 37(5):1018-1021, 2025.
- 4) Kurokawa A, Niimi K, Kanemaru H, Soga M, Yamashita M, Sakuma H, Tomihara K, Yoshida K, Kobayashi T, Ohuchi A. Incidence of oral reactions of immune-related adverse events caused by immune checkpoint inhibitors. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol, 37(5):1051-1055, 2025.
- 5) Kano H, Kato Y, Sato N, Nozawa-Kobayashi M, Kobayashi T. Pyostomatitis vegetans associated with ulcerative colitis: A case report. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol, 37(5):1077-1080, 2025.
- 6) Sakuma H, Kanemaru H, Kurokawa A, Soga M, Yamashita M, Nozawa-Kobayashi M, Niimi K, Kobayashi T: Prevalence of MRONJ in patients treated

with antiresorptive agents for glucocorticoid-induced osteoporosis. *Oral Maxillofac Surg* 29(1):84, 2025.

- 7) Yamasaki S, Ito N, Hamada A, Obayashi F, Higaki M, Nakagawa T, Ono S, Koizumi K, Aikawa T, Yanamoto S.: Prognostic value of inflammation- and nutrition-based biomarkers in patients with recurrent or metastatic oral squamous cell carcinoma treated with immune checkpoint inhibitors: A retrospective study. *Oncology Letters*. 30, 503, 2025.
- 8) Naruse T, Ohta K, Akagi M, Sakuma M, Ishida Y, Niwata C, Nakagawa T, Ono S, Shiba F, Ando T, Nishi H, Shigeishi H, Aikawa T.: Establishment of immortalized human minor salivary gland cells and chemokine expression induced by IFN- γ , TNF- α , and IL-1 β . *Odontology*. 113, 1546-1557, 2025.
- 9) Akagi M, Ohta K, Sakuma M, Naruse T, Ishida Y, Niwata C, Yamakado N, Ono S, Nishi H, Shigeishi H, Aikawa T.: Tmprss2 expression in oral mucosal cells induced by transfected double-stranded RNA and IL-1 β . *J of Oral Biosci.*, 67:100619, 2025.
- 10) Maung MM, Sakuma H, Takeuchi R, Saito D, Hasebe D, Kobayashi T: Relationship between maxillofacial asymmetry and cranial base morphology in patients with jaw deformities: a three-dimensional computed tomography analysis. *J Stomatol Oral Maxillofac Surg*. 127(1):102601, 2026.
- 11) Maung MM, Takeuchi R, Haga K, Hasebe D, Nihara J, Kobayashi T: Effects of surgical orthodontic treatment on masticatory behaviour of patients with jaw deformities measured by wearable device. *Int J Oral Maxillofac Surg*. 55: 690-695, 2026.
- 12) Hashizume K, Katagiri W, Takeuchi R, Suda D, Kobayashi T: Monocyte chemoattractant protein-1 from a conditioned medium of bone marrow-derived mesenchymal stem cells promotes bone regeneration by enhancing macrophage phenotype polarization. *Maxillofac Plast Reconstr Sug*. 48(1):4, 2026.
- 13) Kitamura R, Soutome S, Wada N, Akita D, Hasegawa T, Hirahara N, Imai Y, Imura H, Hokita Y, Kato S, Kojima Y, Kusafuka Y, Matsumoto K, Matsusue Y, Nakahara H, Niimi K, Ohashi Y, Otsuru M, Rokutanda S, Sakai H, Sakamoto Y, Shimanishi M, Yamamura Y, Tachibana A, Takanoz H, Tsurumaki H, Uchida F, Ueda N, Ueki K, Yamamoto, T, Funahara M, Umeda M, Natsume N : Multi-institutional observational study on the relationship between oral infection focus and surgical site infection in artificial arthroplasty and the clinical significance of tooth extraction: An analysis using

propensity score matching. *J Dent Sci* 21(1) :88-95,2026.

- 14) Yamashita Y, Shigeishi H, Yokoyama S, Uetsuki R, Shiba F, Ono S, Ohta K, Aikawa T.: Porphyromonas gingivalis-derived lipopolysaccharide confers chemotherapy resistance and migratory ability on oral cancer cells by activating toll-like receptor 4 signaling pathway. *Molecular Biology Reports*. 53, 551, 2026.
- 15) 上村藍太郎, 高橋功次朗, 齋藤大輔, 小林正治, 丹原 惇: 脊髄小脳変性症を伴う Angle Class III 骨格性下顎前突症例に対して外科的矯正治療を行った 1 例. *日顎変形誌* 35(3):235-245, 2025.

【商業誌】

- 1) 長谷部大地: チェアサイド Q&A 睡眠歯科に関する疑問 (第 25 回) 多系統萎縮症の特異的ないびきに口腔内装置は効果がある? (Q&A). *歯衛士 50* (1), 21 頁, 2026.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 長谷部大地: 閉塞性睡眠時無呼吸における口腔内装置療法 (下顎前方移動型) の有効性に関する診療ガイドライン (改訂版). 第 24 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 愛知, 2025 年 10 月 12 日, *睡眠口腔医学* 12, 41 頁, 2025.

【学会発表】

- 1) Haga K, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Tanuma J: Identification of early detection markers of oral potentially malignant disorders and oral squamous cell carcinoma using oral liquid-based cytology. 22nd INTERNATIONAL CONGRESS OF CYTOLOGY, Florence, May 11, P 144, 2025
- 2) Izumi K, Yortchan W, Yamada Y, Yoshiba N, Aizawa Y, Tanaka R, Annisa M, Larasati PP, Kobayashi M, Ishikawa M, Sada A: Manufacturing an ex vivo produced oral mucosa equivalent using RGD peptide-conjugation, IADR/AADOCR/CADR General Session & Exhibition, San Diego, March 26, 2026.
- 3) 笠原公輝, 須田大亮, 竹内涼子, 齋藤直朗, 船山昭典, 小林正治: 卵巣摘出ラット下顎骨延長モデルを用いた副甲状腺ホルモン製剤間歇投与による下顎頭吸収抑制効果の検討. 第 79 回日本口腔科学会学術集会, 松本市, 2025 年 5 月 15-17 日, 第 79 回日本口腔科学会学術集会 (プログラム・抄録集) 253 頁, 2025
- 4) 竹内涼子, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 新國農, 林孝文, 丸山智, 田沼順一, 船山昭: 再発のみられた単純性骨嚢胞様の空洞化を伴った

- セメント質骨性異形成症の1例. 第79回NPO法人日本口腔科学会学術集会, 松本, 2025年5月16-17日.
- 5) 小林雅, 羽賀健太, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 丸山智, 田沼順一, 船山昭典: 新生女兒に生じた先天性エプーリスの1例. 第51回日本口腔外科学会北日本支部学術大会, 札幌, 2025年5月31日-6月1日, プログラム・抄録集: 58頁, 2025
 - 6) Maung MM, Hasebe D, Takeuchi R, Suda D, Saito Noaki, Saito D, Sakuma H, Abe Y, Funayama A: Surgical orthodontic treatment for an older jaw deformity patient with mandibular prognathism. 第35回日本顎変形症学会総会・学術大会, 福岡, 2025年6月5, 6日, 日変形誌35(2), 158頁, 2025.
 - 7) 三村俊平, 大川加奈子, 長崎 司, 新井萌生, 吉田智美, 山田貴大, 松田拓樹, 竹内涼子, 佐久間 英伸, 長谷部大地, 富原 圭, 堀 一浩, 丹原 惇: 顎変形症患者における咀嚼能力測定用グミゼリーを用いた咀嚼機能の定量的比較. 第35回日本顎変形症学会総会・学術大会, 福岡, 2025年6月5, 6日, 日変形誌35(2), 138頁, 2025.
 - 8) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 工藤武久, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者に対する口腔内装置(OA)の長期使用に伴う形態学的変化とその予測について. 第40回記念甲北信越矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2025年6月29日, 甲北信越矯歯会誌33(1), 72頁, 2025.
 - 9) Witsanu Yortchan, Yuji Yamada, Nagako Yoshiba, Yuka Aizawa, Rintaro Tanaka, Mutiara Annisa, Putri Pramita Larasati, Miyabi Kobayashi, Mizuho Ishikawa, Aiko Sada, Kenji Izumi: Effect of RGD peptide-conjugation on epithelial adhesion to collagen scaffold, 令和7年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 令和7年7月12日, 新潟歯学会雑誌55(2):22-23, 2025.
 - 10) 田中 凜太郎, 相澤 有香, Witsanu Yortchan, 小林雅, Mutiara Annisa, Putri Pramita Larasati, Meircurius Surboyo, 上野山 敦士, 前川 知樹, 荒井 良明, 泉 健次: 口腔粘膜ヒト初代培養細胞を用いた3次元創傷治癒モデルの開発, 第68回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025年10月17-18日, 日本歯周病学会会誌67(秋季特別):159頁, 2025
 - 11) 竹内涼子, 齋藤大輔, 市川佳弥, 丹原惇, 新美奏恵: 上下顎骨移動術を施行した口蓋裂患者における顎骨安定性の検討. 第49回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2025年10月23-24日.
 - 12) 齋藤直朗, 長谷部大地, 佐久間英伸, 齋藤大輔, 丹原 惇, 船山昭典. 短根を伴う顕著な歯槽性上顎前突への対応 - 両側中切歯部歯槽骨切り術を施行した1例 - : 第118回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2025年11月7日
 - 13) 田中 凜太郎, 相澤 有香, Witsanu Yortchan, 小林 雅, Mutiara Annisa, Putri Pramita Larasati, Meircurius Surboyo, 前川 知樹, 荒井 良明, 泉 健次. 口腔粘膜ヒト初代培養細胞を用いた3次元創傷治癒モデルの開発とその特徴解析, 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 令和7年11月8日, 新潟歯学会雑誌55(2):28-29頁, 2025
 - 14) 浅見栄里, 羽賀健太, 長谷部大地, 齋藤直朗, 須田大亮, 阿部達也, 丸山智, 田沼順一, 林孝文, 船山昭典: 10代男性の下顎骨内に生じた埋伏歯を伴わない腺腫様歯原性腫瘍の1例. 第70回日本口腔外科学会総会・学術大会, 福岡, 2025年11月14日, 日本口腔外科学会雑誌総会特別号71:68頁, 2025.
 - 15) 上瀧淳平: 分類不能型免疫不全症患者に対して抜歯を施行した1例. 第70回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 福岡, 2025年11月15日, 日本口腔外科学会雑誌第71巻:111頁, 2025.
 - 16) 小宮山(荻場) 惟子, 佐久間英伸, 小林雅, 浅見栄里, 竹内涼子, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 長谷部大地, 船山昭典: 下顎水平埋伏智歯抜歯時にカーバイドバーの破折片が口底に迷入した1例. 第70回日本口腔外科学会総会・学術大会, 福岡, 2025年11月16日, 日本口腔外科学会雑誌71巻総会特別号 プログラム集:85頁, 2025
 - 17) 須田大亮 長谷部大地 齋藤直朗 竹内涼子 船山昭典: 当科における上顎洞底挙上術の手術手技についての検討. 第29回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 松江, 2025年11月29日-30日, プログラム抄録集32頁, 2025.

【研究会発表】

- 1) 長谷部大地, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 大嶋康義: 上気道流体シミュレーションを用いた顎矯正手術施行後の重度閉塞性睡眠時無呼吸を伴う顎変形症患者における呼吸動態の解析, 第21回新潟睡眠呼吸障害研究会, 新潟, 2025年10月4日.
- 2) 小野重弘: 顎矯正手術での審美的対応 - オトガイ形

成を中心に。第10回冬季口腔外科臨床研究会（東北）蔵王，2026年3月5日，プログラム11項，2026。

顎顔面放射線学分野

【論文】

- 1) Masaki Takamura, Taichi Kobayashi, Yutaka Nikkuni, Kouji Katsura, Manabu Yamazaki, Jun-ichi Tanuma, Takafumi Hayashi: Evaluation of Factors Affecting Depth of Invasion Measurement in Tongue Cancer Using Intraoral Ultrasonography. *Dentomaxillofac Radiol.* twaf062,2025
- 2) Ryusuke Shodo, Yushi Ueki, Kouji Katsura, Takeshi Takahashi, Jo Omata, Yusuke Yokoyama, Marie Soga, Keiko Tanaka, Taichi Kobayashi, Shusuke Ohshima, Arata Horii: Oropharyngeal candidiasis during radiotherapy for head and neck cancer: an observational study on prevalence, pain, and risk factors. *European Archives of Oto-Rhino-Laryngology.* 2025.
- 3) Kaori Yanagawa, Makiko Ike, Azusa Aoyama, Takeshi Yokoo, Shuji Terai, Takafumi Hayashi, Osamu Onodera: Tongue Shear Wave Elastography for Bulbar Dysfunction in Amyotrophic Lateral Sclerosis. *Clinical Neurophysiology* 2025;179,2111367.
- 4) Jorge Sáez-Chandia, Stephanny Castillo, Keiichiro Okamoto, Atsushi Kurahashi, Kazuya Kodaira, Kotaro Aihara, Kiyoko Suzuki-Barrera, Masaru Kaku, Yoshikazu Mikami, Miho Terunuma, Kensuke Yamamura, Takafumi Hayashi, Makio Saeki, Yoshito Kakihara: Effects of Freeze-Dried Sake Lees and Rice Koji Extract on Osteoporosis in a Postmenopausal Mouse Model. *Nutrients* 2025;17(19):3077.
- 5) Yutaka Nikkuni, Hideyoshi Nishiyama, Masaki Takamura, Taichi Kobayashi, Marie Soga, Makiko Ike, Kouji Katsura, Takafumi Hayashi: Evaluation of the Ability to Predict Subsequent Metastasis of Early Oral Squamous Cell Carcinoma Using PET Radiomics Machine Learning Models. *Cancers* 2025;17(21):3573.
- 6) Hideaki Hirai, Yutaka Nikkuni, Ryota Kobayashi, Tetsuo Kiguchi, Yoshimasa Sumita, Yuko Saito, Atsushi Uenoyama, Akinori Funayama, Kei Tomihara: Utility of the Apparent Diffusion Coefficient in the Differential Diagnosis of Oral Malignant Lymphoma. *Cureus* 17(11): e97006.
- 7) Yuki Sakai, Kouji Katsura, Yoshitomi Kanemitsu, Masaaki Kotake, Akira Toyama: Patient-reported oral adverse events during cancer chemotherapy:

longitudinal evaluation using patient-reported outcomes version of the common terminology criteria for adverse events (PRO-CTCAE) and concordance with clinician assessments. *Supportive Care in Cancer* 2025;33(12),1059.

- 8) Yutaka Nikkuni, Hideyoshi Nishiyama, Masaki Takamura, Taichi Kobayashi, Marie Soga, Makiko Ike, Kouji Katsura, Takafumi Hayashi: Evaluation of radiomics-based machine learning models for detection of cervical lymph node metastasis from oral cancer on PET images. *J Stomatol Oral Maxillofac Surg.* 2026 Feb 18;127(4):102754.
- 9) Ryoko Takeuchi, Kenta Haga, Naoaki Saito, Takafumi Hayashi, Jun-ichi Tanuma, Akinori Funayama: Bloom syndrome with mandibular gingival carcinoma: a case report. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology.*
- 10) 林 孝文: 今、診断に必要なモダリティと基本的な知識 -口腔内 US による舌癌 DOI 評価の系統的文献レビュー-. *口腔腫瘍* 2025;37(4):117-124, 2025

【研究費獲得】

- 1) 勝良剛詞: 放射線治療後の歯槽骨密度変化と線量との関係 -硬組織定量解析による放射線顎骨壊死のリスク予測の創出を目指して-. 一般社団法人日本歯科医学会連合, JDSF-FPC1-2022-01.
- 2) 勝良剛詞: 歯の線量に着目した放射線う蝕のリスク因子解析およびリスク予測モデルの確立. 学術研究助成基金助成金 (基盤(C)), 23K09454.
- 3) 曾我麻里恵: 放射線性う蝕の発生リスク因子の特定と適正な歯科管理方法の構築. 学術研究助成基金助成金 (若手研究), 23K16111.
- 4) 小林太一: アーチファクトを低減した口腔内超音波走査用音響カップリング材の開発. 学術研究助成基金助成金 (若手研究), 23K16112.
- 5) 池 真樹子: 筋評価が口腔機能低下症の診断に果たす役割: 舌超音波画像特徴量の探索と筋構造. 学術研究助成基金助成金 (基盤(C)), 課題番号 24K13211.
- 6) 新國 農: レディオミクス導入による口腔癌頸部リンパ節節外浸潤 (ENE) 画像検出システムの開発. 学術研究助成基金助成金 (基盤(C)), 課題番号 25K13204.
- 7) 林 孝文: 口腔内超音波診断における粘膜下層突破は T1 舌癌の後発頸部リンパ節転移を予見する. 学術研究助成基金助成金 (基盤(C)), 課題番号 25K13183.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Takafumi Hayashi. Oral Cavity -Intraoral application of ultrasonography-. Ultrasound workshop, 25th Congress of the International Association of DentoMaxilloFacial Radiology, June 24-25, London, UK (The Royal Society of Medicine).
- 2) Kouji Katsura. Understanding Head and Neck Radiotherapy: How Dentists Can Help Prevent Oral Adverse Events. STOVIT Online Series 2025, Arilangga University, Indonesia. August 6, 2025 (web).
- 3) 勝良剛詞. がん医歯薬連携ー口腔有害事象と適切な支持医療のための基礎知識ー. シームレスな薬物療法を作る会第9回研究会. 2025年12月13日, 新潟(ホテルグローバルビュー新潟・Web ハイブリッド).
- 4) 勝良剛詞, 坂井由紀, 手嶋謡子, 新目美和子, 田中恵子. ウェルビーイングの視点から考える化学療法・骨髄移植. シンポジウム ウェルビーイング実現に向けた口腔機能管理の貢献と課題. 第22回日本口腔ケア学会総会・学術大会/第5回国際口腔ケア学会総会・学術大会, 2025年4月26日, 新潟市(朱鷺メッセ).

【学会発表】

- 1) Yutaka Nikkuni, Hideyoshi Nishiyama, Beshlina Fitri Widayanti Roosyanto Prakoeswa, Taichi Kobayashi, Masaki Takamura, Makiko Ike, Marie Soga, Kouji Katsura, Takafumi Hayashi. Differentiation of dysplasia, carcinoma in situ, and invasive carcinoma in the intraoral US using radiomics analysis. 25th Congress of the International Association of DentoMaxilloFacial Radiology, June 24-25, London, UK (The Royal Society of Medicine).
- 2) eshlina Fitri Widayanti Roosyanto Prakoeswa, Hideyoshi Nishiyama, Taichi Kobayashi, Makiko Ike, Masaki Takamura, Yutaka Nikkuni, Kouji Katsura, Takafumi Hayashi. Optimizing Gompertz and Gamma-type growth curve model for dental age estimation using machine learning and CT imaging in a Japanese population. 25th Congress of the International Association of DentoMaxilloFacial Radiology, June 24-25, London, UK (The Royal Society of Medicine).
- 3) akafumi Hayashi, Beshlina Fitri Widayanti Roosyanto Prakoeswa, Masaki Takamura, Taichi Kobayashi, Yutaka Nikkuni, Makiko Ike, Kouji Katsura, Hideyoshi Nishiyama. Evaluation of the Pocket Oral Echo using the simulated tongue cancer phantom. 25th Congress of the International Association of DentoMaxilloFacial Radiology, June 24-25, London, UK (The Royal Society of Medicine).
- 4) 林 孝文, 高村真貴, 小林太一, 新國 農, 小西 勝, 有地淑子. 模擬舌癌ファントムを用いたポケットオーラルエコー(R)の多機関共同研究. 第79回NPO法人日本口腔科学会学術集会, 2025年5月16-17日, 松本市(キッセイ文化ホール).
- 5) 竹内涼子, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 新國 農, 林 孝文, 丸山 智, 田沼順一, 船山昭典. 再発のみられた単純性骨嚢胞様の空洞化を伴ったセメント質骨性異形成症の1例. 第79回NPO法人日本口腔科学会学術集会, 2025年5月16-17日, 松本市(エア・ウォーターアリーナ松本).
- 6) 西山秀昌, 池 真樹子, 小林太一, 新國 農, 高村真貴, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 能登義幸, 須藤毅顕, 林 孝文. 歯科放射線学におけるAIの適応範囲について適切に教育する方法の模索ー内挿・外挿・領域外および汎化性能に関してー. NPO法人日本歯科放射線学会第65回学術大会, 2025年5月31日-6月1日, 札幌市(北海道大学 学術交流会館).
- 7) 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 小林太一, 高村真貴, Fitri Widayanti Roosyanto Prakoeswa Beshlina, 池真樹子, 新國 農, 西山秀昌, 林 孝文. 頭頸部放射線治療後の歯槽骨密度変化は放射線顎骨壊死の予測因子になる可能性がある. NPO法人日本歯科放射線学会第65回学術大会, 2025年5月31日-6月1日, 札幌市(北海道大学 学術交流会館).
- 8) 西山秀昌, Prakoeswa Beshlina, 池 真樹子, 小林太一, 新國 農, 高村真貴, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 須藤毅顕, 林 孝文. 深層学習モデルの出力予測に基づく教育方針についての案ー特化型AIと汎用目的型AIとNo Free Lunch theoremとー. NPO法人日本歯科放射線学会第240回関東地方会第44回北日本地方会第32回合同地方会, 2025年8月30日, オンライン(昭和医科大学歯学部口腔病態診断学講座歯科放射線医学部門).
- 9) 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 中野 永, 金丸博子, 黒川亮, 田中恵子, 中村夢衣, 大内章嗣, 林 孝文. 放射線治療後長期観察患者における放射線性う蝕の発生状況とリスク因子の関連性の評価. NPO法人日本歯科放射線学会第6回秋季学術大会, 2025年9月12-14日, 大阪市(大阪歯科大学創立100周年記念館).
- 10) 新國 農, 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 池 真樹子, 勝良剛詞, 林 孝文. 口腔扁平上皮癌の術前頸部リンパ節転移鑑別を目的とする超音波レディオミクスにおける異なる機種間でも有用性が左右されないrobustな特徴量の検討. NPO法人日本歯科放射線学会第6回秋季学術大会, 2025

年9月12-14日, 大阪市(大阪歯科大学創立100周年記念館).

- 11) 高村真貴, 小林太一, 新國 農, 勝良剛詞, 平井秀明, 富原 圭, 船山昭典, 田沼順一, 林 孝文. 口腔内超音波診断による頬粘膜扁平上皮癌の頬筋浸潤の診断基準に関する検討: 予備的研究. NPO 法人日本歯科放射線学会第6回秋季学術大会, 2025年9月12-14日, 大阪市(大阪歯科大学創立100周年記念館).
- 12) 浅見栄里, 羽賀健太, 長谷部大地, 齋藤直朗, 須田大亮, 阿部達也, 丸山 智, 田沼順一, 林 孝文, 船山昭典. 10代男性の下顎骨内に生じた埋伏歯を伴わない腺腫様歯源性腫瘍の1例. 第70回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 2025年11月14-16日, 福岡市(福岡国際会議場・福岡サンパレス).
- 13) 園辺 悠, 相澤有香, 張 魯慶, 永井孝宏, 平井秀明, 新國 農, 山崎 学, 小林孝憲, 林 孝文, 田沼順一, 富原 圭. 口腔癌に対するPCE導入療法の個別化に向けた宿主因子の解析. 第44回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2026年1月22-23日, 宇都宮市(ライトキューブ宇都宮).

【研究会発表】

- 1) Beshlina Fitri Widayanti Roosyanto Prakoeswa, 西山秀昌, 小林太一, 高村真貴, 新國 農, 池 真樹子, 勝良剛詞, 林 孝文. Optimizing Gompertz and Gamma-type Growth Curves for Dental Age Estimation Using Machine Learning and CT Imaging in a Japanese Population. 新潟大学データサイエンス・AIシンポジウム2025, 2025年9月17日, 新潟市(新潟大学)
- 2) 西山 秀昌, Beshlina Fitri Widayanti Roosyanto Prakoeswa, 須藤毅顕, 小林太一, 池 真樹子, 新國 農, 高村真貴, 勝良剛詞, 林 孝文. AIでの内挿・外挿・適応範囲外について - 90分1コマの授業でどこまで理解させうるのか? -. 新潟大学データサイエンス・AIシンポジウム2025, 2025年9月17日, 新潟市(新潟大学)
- 3) 西山 秀昌, Beshlina Fitri Widayanti Roosyanto Prakoeswa, 小林太一, 新國 農, 高村真貴, 林 孝文. パノラマX線画像における舌骨のMLLMでの認識 - ポチヨムキン理解と記号接地問題 -. 新潟大学データサイエンス・AIシンポジウム2025, 2025年9月17日, 新潟市(新潟大学)
- 4) 西山秀昌. 骨粗鬆症の判別に利用されるMCI分類は無料版のMLLMにて可能になるのか? - 記号接地問題およびポチヨムキン理解ならびに世界モデルとの関係 -. 第1回骨と歯の健康連携フォーラム,

2025年10月19日, 東京都港区(品川シーズンテラスカンファレンス Room B,C).

- 5) 西山秀昌, 能登義幸, Prakoeswa Beshlina, 小林太一, 高村真貴, 池真樹子, 新國 農, 林 孝文. AIによるCT画像ノイズ低減技術のドメインシフト問題について. 第11回日本歯科人工知能(AI)研究会, 2026年1月25日, 東京(御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター Room B).

【その他】

- 1) 西山秀昌, Beshlina Prakoeswa, 須藤毅顕, 小林太一, 池 真樹子, 新國 農, 高村真貴, 勝良剛詞, 林 孝文. AI出力の解釈問題: 人間側の解釈とAIの自己解釈に対する評価・介入手法について. 人工知能学会第二種研究会資料. 2025; 2025(AGI-031): 03.
- 2) 林 孝文, 有地淑子, 小西 勝, 新國 農, 小林太一, 高村真貴. 超音波診断ハンズオンセミナー 口腔・頸部・唾液腺の超音波診断. 第44回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2026年1月22-23日, 宇都宮市(ライトキューブ宇都宮).

歯科麻酔学分野

【論文】

- 1) Yuzo Imai, Naotaka Kishimoto, Yuhei Koyama, Kazunori Sango, Kosei Takeuchi, Manabu Yamazaki, Jun-ichi Tanuma, Simon D Tran, Kenji Seo. Effects of Adipose-Derived Stem Cell Extract on Peripheral Nerve Cells. Cureus, 17(10), e94180, 2025.
- 2) Naotaka Kishimoto, Toru Yamamoto, Rina Sakagami, Kenji Seo. Respiratory monitoring during intravenous sedation using a digital auscultation device. Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine, 25(3), 215-215, 2025.
- 3) Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto, Shigenobu Kurata, Yutaka Tanaka, Kenji Seo. Kampo medicine in dental anesthesia: a promising adjunct for perioperative management. Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine, 25 (3), 223-226, 2025.
- 4) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto, Joe Iwanaga. An Incomplete Superficial Palmar Artery Arch: Clinical Considerations of the Modified Allen's Test. The Cureus Journal of Medical Science, 17 (4), e82356, 2025.
- 5) Yoshihiro Kitaoka, Toshihiro Uchihashi, So Kawata, Akira Nishiura, Toru Yamamoto, Shin-ichiro Hiraoka,

- Yusuke Yokota, Emiko Tanaka Isomura, Mikihiko Kogo, Susumu Tanaka, Igor Spigelman, Soju Seki. Role and Potential of Artificial Intelligence in Biomarker Discovery and Development of Treatment Strategies for Amyotrophic Lateral Sclerosis. *International Journal of Molecular Sciences*, 26(9):4346, 2025.
- 6) Yuzo Imai, Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto, Yutaka Tanaka, Shigenobu Kurata, Kenji Seo. Usefulness of transnasal humidified rapid insufflation ventilatory exchange during rapid sequence induction for a patient with a hiatal hernia. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*, 25(4), 287-290, 2025.
 - 7) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo. Is remimazolam a suitable alternative to midazolam for dental sedation? *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*, 25(4), 297-298, 2025.
 - 8) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto. A New Technique for Halving Dental Local Anesthetic Cartridges and Diluting Adrenaline. *The Cureus Journal of Medical Science*, 17(7) e87187, 2025.
 - 9) Toru Yamamoto, Tomoaki Ujita, Yurie Sato-Yamada, Takako Ichiki, Naotaka Kishimoto, Miho Terunuma, Kenji Seo. HCN2 Channels: A Potential Therapeutic Target for Orofacial Neuropathic Pain after Trigeminal Nerve Injury, *Journal of Oral & Facial Pain and Headache*, 40(1), 151-156, 2026.
 - 10) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto, Hideyuki Tanaka, Naotaka Kishimoto. Precoring (incomplete coring) in dental local anesthetic cartridges: scanning electron microscope observation at the insertion site. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*, 25(5), 369-370, 2025.
 - 11) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo. Carotid Artery Tortuosity with a Vertebral Artery Entering the Transverse Foramen at an Atypical Level: A Cadaveric Case Underlining the Need for Thorough Anatomical Assessment Before Stellate Ganglion Block. *The Cureus Journal of Medical Science*, 17(11), e97102, 2025.
 - 12) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto, Norio Kitagawa, Joe Iwanaga. Sternalis or rectus? An analysis of terminological usage based on case reports of the sternalis muscle. *Anatomical Science International*, 2025. <https://doi.org/10.1007/s12565-025-00906-6>
 - 13) Toru Yamamoto, Takutoshi Inoue, Joe Iwanaga, Akiko Okada-Ogawa, Naotaka Kishimoto. The present and future of trigeminal nerve block in Japan: anatomical foundations as a key to patient safety. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*, 25(6), 461-464, 2025.
 - 14) Toru Yamamoto, Takutoshi Inoue, Yoshiki Miyakawa, Hiroko Kanemaru, Shigenobu Kurata, Yutaka Tanaka, Naotaka Kishimoto. Recurrent laryngeal nerve paralysis after prolonged neck dissection under general anesthesia with endotracheal intubation: A case report. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*, 26(1):75-79, 2026.
 - 15) Yurie Sato-Yamada, Meircurius Dwi Condro Surboyo, Andrea L Rosenkranz, Tomoaki Ujita, Meiwen Fang, Prasiddha Mahardhika Ei Fadhlallah, Tomoki Maekawa, Yumiko Sato, Nagako Yoshida, Takeyasu Maeda. Macrophage induces angiogenesis via HIF signaling in denervated muscle following nerve injury. *Scientific reports*. 15 (1), 26239-26239, 2025.
 - 16) Emi Sawada, Toru Yamamoto, Yutaka Tanaka, Naotaka Kishimoto. The Blood Pressure Paradox in Familial Pheochromocytoma: A Case Report of General Anesthesia Management in Oral Surgery Following Bilateral Adrenalectomy. *Academic anesthesia*, 2025.
 - 17) Hidenobu Sakuma, Hiroko Kanemaru, Akira Kurokawa, Marie Soga, Moe Yamashita, Mai Nozawa-Kobayashi, Kanae Niimi, Tadaharu Kobayashi. Prevalence of MRONJ in patients treated with antiresorptive agents for glucocorticoid-induced osteoporosis. *Oral Maxillofac Surg*. 2025 Apr 16;29(1):84
 - 18) Akira Kurokawa, Kanae Niimi, Hiroko Kanemaru, Marie Soga, Moe Yamashita, Hidenobu Sakuma, Kei Tomihara, Kensuke Yoshida, Tadaharu Kobayashi, Akitugu Ohuchi. Incidence of oral reactions of immune-related adverse events caused by immune checkpoint inhibitors. *J Oral Maxillofac Surg, Med, Pathol*. 2025 Sep 37(5):1051-1055.
 - 19) Toru Yamamoto, Takutoshi Inoue, Mitsuhiro Yoshida, Soju Seki, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo. Comparative Efficacy of Remimazolam versus Midazolam and Propofol in Oral Surgery under Intravenous Sedation: A Systematic Review and Meta-Analysis. *Journal of Maxillofacial and Oral Surgery*, 2026. <https://doi.org/10.1007/s12663-025-02925-2>
 - 20) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto. Spatial Characteristics of Double Puncture in Dental Anesthetic Cartridges: A Descriptive Morphological Analysis of Procedural Puncture Patterns. *The Cureus Journal of Medical Science*, 18(2), e103079, 2026.
 - 21) 田中 裕, 瀬尾憲司, 村松公美子, 村松芳幸 : PHQ-

15 を用いた口腔顔面痛に合併する身体症状の心身医学的検証, 慢性疼痛, 44(1) : 92-99, 2025.

【商用誌】

- 1) 金丸博子：歯科麻酔科医のこれから 歯科医ならではの知識・技術 こんなときは歯科麻酔科医を呼んでください！ LiSA.2025;32(10):984-987.
- 2) 岸本直隆：みんなのプロフィール帳. LiSA. 2025;33 (1) :39.

【研究費】

- 1) 山本徹：科学研究費 基盤研究 (C) , 令和 5~7 年度, 課題番号 23K09350, 研究代表者 山本徹, 神経障害性疼痛における過分極活性化サイクリックヌクレオチド依存チャネルの機能検索
- 2) 山本徹：科学研究費 基盤研究 (C) , 令和 5~7 年度, 課題番号 23K09353, 研究代表者 吉田充広, 慢性咀嚼筋痛発症過程での BDNF-TrkB 経路と下行性疼痛制御系の関係性の解明
- 3) 山本徹：科学研究費 基盤研究 (C) , 令和 6~8 年度, 課題番号 24K13154, 研究代表者 関壮樹, 口腔から全身へ、一次感覚ニューロンを標的とした ALS 新規治療戦略の開発.
- 4) 沢田詠見：科学研究費 研究活動スタート支援 , 令和 6~8 年度, 課題番号 24K23543, 研究代表者 沢田詠見, 人工的シナプス形成による顎顔面の感覚回復機構の解明.
- 5) 沢田詠見：科学研究費 若手研究, 令和 7~12 年度, 課題番号 25K20399, 研究代表者 沢田詠見, ニューロン中枢側への信号付加による損傷末梢神経の感覚回復機構の解明.
- 6) 金丸博子：科学研究費 基盤研究 (C) , 令和 7 年度~令和 9 年度, 課題番号 25K13182, 三叉神経障害性疼痛の発生におけるペリサイトの役割の解明

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Naotaka Kishimoto: Simulation Training for Medical Emergencies of Dental Patients, Invited lecture at IMU University, 2025 年 7 月 28 日, Kuala Lumpur, Malaysia.
- 2) 岸本直隆：インプラント手術時の全身的偶発症とその対応, 大阪歯科大学附属病院 口腔インプラント科 研修 (CE) セミナー, 2025 年 6 月 5 日, オンライン.
- 3) 岸本直隆：日本歯科麻酔学会は実践的かつ効率的な急変対応教育システムを構築するべきではないか!? 歯科麻酔専門医による in situ Simulation の推

進, 第 53 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 シンポジウム, 2025 年 10 月 11 日, 鹿児島市.

- 4) 岸本直隆：歯科治療に関連した全身的偶発症と歯科麻酔学教育, 令和 7 年度 燕歯科医師会 学術講演会, 2026 年 2 月 28 日, 燕市

【学会発表】

- 1) Toru Yamamoto, Tomoaki Ujita, Yurie Sato-Yamada, Takako Ichiki, Miho Terunuma, Naotaka Kishimoto. HCN2 Channels: A Potential Therapeutic Target for Orofacial Neuropathic Pain after Trigeminal Nerve Injury. International Collaboration Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, February 8~9, Kuala Lumpur, Malaysia, 2026.
- 2) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎：口腔異常感症患者の心身医学的検証, 第 40 回日本歯科心身医学会総会. 学術大会, 2025 年 7 月 19-20 日, 東京, 抄録集 : 33, 2025.
- 3) 沢田詠見, 岸本直隆, 山本徹, 田中裕, 倉田行伸, 金丸博子, 氏田倫章, 宮川義基, 瀬尾憲司: 洞不全症候群を有する小児の全身麻酔管理, 第 53 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2025 年 10 月 10~12 日, 鹿児島市, 抄録集, 51, 2025.
- 4) 宮川義基, 岸本直隆, 田中 裕, 倉田行伸, 金丸博子, 山本 徹, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 静脈内鎮静中の頻脈性心房細動に Rapid Response System の起動が有用と考えられた 1 症例. 第 53 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2025 年 10 月 10 日 (金) ~12 日, 鹿児島市. 抄録集, 53, 2025.
- 5) 金丸博子, 岸本直隆, 氏田倫章, 田中裕, 倉田行伸, 山本徹, 沢田詠見, 宮川義基, 瀬尾 憲司: 新生児のエプーリス切除術に対する全身麻酔管理経験, 第 53 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2025 年 10 月 10-12 日, 鹿児島市, 第 53 巻抄録集 P214
- 6) 田中 裕, 倉田 行伸, 金丸 博子, 山本 徹, 氏田 倫章, 沢田 詠見, 宮川 義基, 岸本 直隆: 診断と治療に苦慮した若年者三叉神経痛患者の 1 例, 第 53 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会, 2025 年 10 月 10-12 日, 鹿児島, 抄録集 : 223, 2025.
- 7) 氏田 倫章, 岸本 直隆, 田中 裕, 倉田 行伸, 金丸 博子, 山本 徹, 沢田 詠見, 宮川 義基, 瀬尾 憲司: オトガイ形成術後に上気道閉塞を生じ, 緊急止血術および集中治療管理を要した症例, 第 53 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 , 2025 年 10 月 10 日~12 日, 鹿児島, 抄録集, 231, 2025.
- 8) 沢田 詠見, 山本 徹, 田中 裕, 金丸 博子, 倉田 行伸, 氏田 倫章, 岸本 直隆. 家族性褐色細胞腫および両側副腎摘出後の全身麻酔管理. 第 42 回日本障

害者歯科学会総会および学術大会. 2025年10月31日～11月2日, 大阪市, 抄録集, P4-21, 2025.

- 9) 氏田倫章, 倉田行伸, 金丸博子, 田中裕, 沢田詠見, 岸本直隆: 当院における歯科麻酔科術前診察時のプレパレーションの取り組み, 第42回日本障害者歯科学会, 2025年10月31日～11月2日, 大阪, 抄録集, 393, 2025.
- 10) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 吉嶺文俊, 片桐敦子, 櫻井浩治: 口腔異常感症の病態に対する心身医学的検討, 第29回日本心療内科学会総会・学術大会, 東京, 2025年12月6-7日, 東京, 抄録集: 113, 2025.
- 11) 田中 裕, 村松芳幸, 瀬尾憲司: 口腔顔面痛の疼痛と破局化思考との関連性についての検討, 第55回日本慢性疼痛学会総会・学術大会, 奈良, 抄録集: 156, 2026.

【研究会発表】

- 1) 宮川義基, 岸本直隆: 静脈内鎮静中の頻脈性心房細動に Rapid Response System の起動が有用と考えられた1症例. 第94回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2025年5月22日.

【社会貢献、教育活動、学会賞受賞、資格取得、その他など】

- 1) 岸本直隆, 田中 裕, 倉田行伸, 金丸博子, 山本徹, 氏田倫章, 沢田詠見, 宮川義基: 令和7年度徳真会主催救急蘇生講習会, 2025年9月20日, 新潟市.
- 2) 岸本直隆: 日本歯科麻酔学会 歯科麻酔指導医 取得, 2025年6月
- 3) 岸本直隆: 日本医学シミュレーション学会 Difficult Airway Management インストラクター取得, 2025年10月
- 4) 田中 裕: 日本心療内科学会登録指導医 取得 (第167号), 2025年9月1日.
- 5) 倉田行伸: 日本障害者歯科学会認定医更新(第1204号), 2026年2月14日.
- 6) Toru Yamamoto : Editorial Board in Scientific Reports (Chief Editor: Rafal Marszalek)
- 7) Toru Yamamoto : Editorial Board in Journal of Oral and Maxillofacial Anesthesia (Editor-in-Chief: Hong Jiang)
- 8) Toru Yamamoto : Reviewer in Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine (Editor-in-Chief: Kwang-Suk Seo)
- 9) Toru Yamamoto : Reviewer in BMC Anesthesiology (Section Editor: Guangde Tu)

- 10) 山本 徹: 日本歯科麻酔学会 症例データベース委員会委員
- 11) 山本 徹: 日本歯科麻酔学会 周術期偶発症の実態と安全性に関する多施設共同研究分担研究者
- 12) 山本 徹: 厚生労働省 歯科医師臨床研修指導歯科医取得 2025年12月20～21日
- 13) 氏田倫章: 日本歯科麻酔学会専門医取得, 2025年6月1日.
- 14) 沢田詠見: 指導歯科医取得, 2025年12月20～21日.
- 15) 沢田詠見: 三叉神経障害による三叉神経節の形態学的変化の検討. 新潟大学麻酔科金曜の会, 新潟市, 2026年1月8日.
- 16) 宮川義基: BLS (G2020) Instructor Essential Course 修了 2025年9月15日
- 17) 金丸博子: 日本災害医学会 D-EATs 試行コース～多職種での“災害時「食べる」連携研修会”～補助講師: 2025年12月13日, 新潟市
- 18) 宮川義基: AHA BLS Instructor (ID:26021454375) 取得, 2026年2月15日
- 19) 宮川義基: 日本歯科麻酔学会 登録医 取得 (第79号), 2026年3月1日
- 20) 宮川義基: 第157回 DAM 実践セミナー修了, 2026年3月8日

高度口腔機能教育研究センター・歯学教育開発室

【論文】

- 1) Surboyo MDC, Sirisereephap K, Maekawa T: Inflammation in periodontal, periapical, and malignancy-associated disease: drivers of alveolar bone loss and repair. *J Bone Miner Metab.* 2026. doi: 10.1007/s00774-026-01706-2.
- 2) Lim JH, Sirisereephap K, Wang H, Trimaglio G, Chung KJ, Korostoff J, Kajikawa T, Li X, Surboyo MDC, Maekawa T, Chavakis T, Hajishengallis G: DEL-1 is an Endogenous Senolytic Protein that Inhibits Senescence-Associated Bone Loss. *Adv Sci.* 13(12):e09263, 2026. doi: 10.1002/advs.202509263.
- 3) Sato-Yamada Y, Surboyo MDC, Rosenkranz AL, Ujita T, Fang M, Ei Fadhlallah PM, Maekawa T, Sato Y, Yoshiba N, Maeda T: Macrophage induces angiogenesis via HIF signaling in denervated muscle following nerve injury. *Sci Rep.* 15(1):26239, 2025. doi: 10.1038/s41598-025-07536-y.
- 4) Yoshiba N, Maekawa T, Sekiguchi K, Kaku M, Sirisereephap K, Surboyo M, Sato-Yamada Y,

- Rosenkranz A, Hosoya A, Ohkura N, Kakihara Y, Maeda T, Hajishengallis G, Izumi K, Yoshida K: Loss of integrin alpha7-mediated signaling induces a dendritic cell-like phenotype in macrophages cultured on laminin-211/221 isoforms. *J Biol Chem.* 301(8):110419, 2025. doi: 10.1016/j.jbc.2025.110419.
- 5) Surboyo MDC, El Fadhlallah PM, Sato-Yamada Y, Sirisereepap K, Fang M, Maeda T, Tomihara K, Tabeta K, Yoshida N, Rosenkranz AL, Maekawa T: The effects of Zoledronate administration routes on the reproducibility of BRONJ in rodent models: A systematic review. *Bone.* 199:117563, 2025. doi:10.1016/j.bone.2025.117563..
 - 6) Sasagawa K, Domon H, Hirayama S, Maekawa T, Isono T, Tabeta K, Terao Y: Secretory leucocyte protease inhibitor regulates bone metabolism and inflammation in experimental mouse periodontitis. *Commun Biol.* 8(1):760, 2025. doi: 10.1038/s42003-025-08197-3.
 - 7) Toru Yamamoto, Takutoshi Inoue, Mitsuhiro Yoshida, Soju Seki, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo: Comparative Efficacy of Remimazolam versus Midazolam and Propofol in Oral Surgery under Intravenous Sedation: A Systematic Review and Meta-Analysis. *Journal of Maxillofacial and Oral Surgery* 25(1), 2026. doi:10.1007/s12663-025-02925-2
 - 8) Kantaputra P, Bunpiem N, Guven Y, Tripuwabhut K, Kalayci T, Imren E, Sengtae N, Pianmee C, Pruksametanan A, Tongsima S, Ngamphiw C, Kawasaki K, Ohazama A, Cairns JRK. Genetic Variants in DVL3 are Associated With Root Maldevelopment, Tooth Agenesis, Mesiodens, and Oral Exostoses. *Int Dent J.* 2026 Feb;76(1):104019. doi: 10.1016/j.identj.2025.104019.
 - 9) Kawasaki K, Kawasaki M, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Fukushima M, Saito N, Suda D, Kudo T, Fujita A, Nihara J, Franco B, Ohazama A. Early increased cell proliferation compensates subsequent hypoplasia of the ossicle. *Front Cell Dev Biol.* 2025 Oct 29;13:1627730. doi: 10.3389/fcell.2025.1627730.
 - 10) Chainaphaphorn P, Ngamphiw C, Tongsima S, Chintakanon K, Kawasaki K, Cox TC, Ohazama A, Ketudat Cairns JR, Kantaputra PN. Genetic Variants in KIF7 May Contribute to Supernumerary Tooth Formation. *Int Dent J.* 2025 Oct;75(5):100928. doi: 10.1016/j.identj.2025.100928.
 - 11) Graham JM Jr, Sanchez-Lara PA, Ohazama A, Kawasaki K, Arold ST, Kantaputra PN. A Novel KDF1 Variant is Associated With Multiple Natal Teeth, Tooth Agenesis, and Root Maldevelopment. *Int Dent J.* 2025 Aug;75(4):100860. doi: 10.1016/j.identj.2025.100860.
 - 12) Kantaputra PN, Apivatthakakul A, Kaewgahya M, Tongsima S, Ngamphiw C, Sastraruji T, Sukantamala P, Carlson BM, Kawasaki K, Ketudat Cairns JR, Sonsuwan N, Ohazama A. Heimler Syndrome With Tooth Agenesis, Abnormal Enamel and Dentin Mineralization, Root Maldevelopment, and PEX1 Mutation. *Int Dent J.* 2025 Aug;75(4):100821. doi: 10.1016/j.identj.2025.04.002.
 - 13) Meguro F, Kawasaki K, Kakihara Y, Kawasaki M, Fukushima M, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Nihara J, Kudo T, Fujita A, Ichikawa K, Osawa K, Maeda T, Tabeta K, Saeki M, Ohazama A. DNA repair during embryonic epidermal stratification. *Dev Dyn.* 2025 May 29. doi: 10.1002/dvdy.70046.
 - 14) Sari FT, Kawasaki M, Kawasaki K, Utama V, Kesuma A, Fukushima M, Kudo T, Fujita A, Ichikawa K, Sato-Yamada Y, Shimizu I, Minamino T, Nihara J, Ohazama A. Senescence in palatal rugae development. *J Oral Biosci.* 2025 Dec;67(4):100688. doi: 10.1016/j.job.2025.100688.
 - 15) Yamada-Hara M, Amaya L, Wang Z, Byun JW, Takahashi N, Sharma S, Chang H, Tanaka A, Zeng L, Malakoutikhah Z, Ganguly S, Vu MC, Levin M, Schwartz D, Heath J, Herdman S, Corr M, Raz E, Bertin S : ROR γ t Inhibition Reduces Protumor Inflammation and Decreases Tumor Growth in Experimental Models of Lung Cancer. 2025 Sep 2;13(9):1418-1434. doi: 10.1158/2326-6066.
 - 16) Al-Azzam S, Stuewe I, Sharma S, Yamada-Hara M, Tanaka A, Stringer K, Behnam M, Al-Azzam N, Nandi S, Zhivagui M, Duong J, Yang T, Herdman S, Corr M, Webster NJG, Raz E, Alexandrov LB, Bertin S : Multi-omics profiling reveals microenvironmental remodeling as a key driver of house dust mite-induced lung cancer progression. *Neoplasia.* 2026 Mar;73:101275. doi: 10.1016/j.neo.2026.101275
 - 17) 前川知樹：歯科医学の分野でトピックとなっている論文のレビュー，日本骨粗鬆症学会雑誌，2025年11月 Vol.11, No.4.
- 【研究費獲得】**
- 1) 前川知樹（研究代表者）：老化幹細胞制御による再生賦活化とフレイル治療開発。令和7年度（新規）創発的研究支援事業（JST），442万円（うち直接経費340万円）
 - 2) 前川知樹（研究代表者）：老化幹細胞の変容機構解明とその制御による再生能力賦活化。令和7年度

- (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(B)), 754 万円(うち直接経費 580 万), 課題番号 25K02810
- 3) 前川知樹 (研究代表者): 口腔細菌叢再構築による時代共通細菌と因子の同定. 令和 7 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (挑戦的(萌芽)), 273 万円 (うち直接経費 210 万), 課題番号 24K22180
 - 4) 前川知樹 (研究代表者): 口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明. 令和 7 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (国際共同研究加速基金 (海外連携研究)), 351 万円(うち直接経費 270 万), 課題番号 23KK0160
 - 5) 前川知樹 (研究代表者): 骨再生を目的としたエリスロマイシン含有マイクロ粒子製剤開発. 令和 7 年度 (新規) AMED-橋渡し研究プログラム・PreF, 2,587 万円(うち直接経費 1,990 万円), 課題番号 25ym0126162h0001
 - 6) 前川知樹 (研究代表者): 老化幹細胞の制御機構解明と再生能力賦活化創薬. 令和 7 年度 (継続) アステラス病態代謝研究会研究助成金, 200 万円.
 - 7) 前川知樹 (研究代表者): マイクロ粒子による骨再生治療展開. 令和 7 年度 (継続) SENTAN フェーマ株式会社, 130 万円 (うち直接経費 100 万円)
 - 8) 前川知樹 (研究代表者): 歯周炎モデルマウスにおける殺菌成分新規配合剤の効果. 令和 7 年度 (新規) 興和株式会社, 130 万円 (うち直接経費 100 万円)
 - 9) 前川知樹 (研究分担者): インフラマエイジングによる骨再生ニッチ破綻機構の解明と老化骨組織再生法の開発. 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(A)), (研究代表者: 小林泰浩), 1,300 万円(うち直接経費 1,000 万, うち分担金 30 万) 課題番号 24H00653
 - 10) 前川知樹 (研究分担者): 歯周炎併発 BRONJ モデルの作成とその治療法展開. 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)), (研究代表者: 石田陽子), 156 万円(うち直接経費 120 万, うち分担金 30 万) 課題番号 24K13065
 - 11) 前川知樹 (研究分担者): 実証的研究で明らかにする江戸の歯科学. 日本学術振興会科学研究費助成事業 (挑戦的(萌芽)), (研究代表者: 佐宗亜衣子), 208 万円(うち直接経費 160 万, うち分担金 30 万) 課題番号 24K21381
 - 12) 前川知樹 (研究分担者): 肺炎球菌性肺炎の統合的な検査/予防/治療に向けた開発研究. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(A)), (研究代表者: 寺尾 豊), 1,001 万円(うち直接経費 770 万, うち分担金 30 万), 課題番号 23H00445
 - 13) 前川知樹 (研究分担者): マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析. 令和 7 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(B)「一般」), (研究代表者: 吉羽永子), 364 万円(うち直接経費 280 万, うち分担金 10 万), 課題番号 22H03259
 - 14) 前川知樹 (研究分担者): MRONJ の新規発症予防ー分泌型白血球プロテアーゼ阻害因子の作用解明ー. 令和 7 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)「一般」), (研究代表者: 平井秀明), 65 万円(うち直接経費 50 万, うち分担金 10 万), 課題番号 25K13223
 - 15) 前川知樹 (研究分担者): 外傷後三叉神経障害性疼痛の発生におけるペリサイトの役割の解明. 令和 7 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)「一般」), (研究代表者: 金丸 博子), 260 万円(うち直接経費 200 万, うち分担金 10 万), 課題番号 25K13182
 - 16) 前川知樹 (研究分担者): 感染部位依存的な肺炎球菌の病原性発現およびその制御因子の解析. 令和 7 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)「一般」), (研究代表者: 平山 悟), 182 万円(うち直接経費 140 万, うち分担金 10 万), 課題番号 25K12986
 - 17) 佐藤友里恵 (研究代表者): 口腔顔面痛発生メカニズムにおける軸索変性誘導因子 SARM1 の役割. 令和 7 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (若手) (研究代表者: 佐藤友里恵), 182 万円(うち直接経費 140 万), 課題番号 24K19989
 - 18) 佐藤友里恵 (研究分担者): 外傷後三叉神経障害性疼痛の発生におけるペリサイトの役割の解明. 令和 7 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)「一般」) (研究代表者: 金丸博子), 260 万円(うち直接経費 200 万, うち分担金 30 万), 課題番号 25K13182
 - 19) 佐藤友里恵 (研究分担者) 下歯槽神経再生における神経血管相互作用ー軸索編成誘導因子 SARM1 に着目してー令和 7 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)「一般」) (研究代表者: 金丸博子) (研究代表者: 佐藤 由美子), 260 万円(うち直接経費 200 万, うち分担金 30 万), 課題番号 25K13144
 - 20) 佐藤友里恵 (研究代表者): ペリサイトを中心とした神経再生制御メカニズムの解明. 令和 7 年度上原記念生命科学財団. 研究奨励金 200 万円
 - 21) 石田陽子 (研究代表者): 歯周炎併発 BRONJ モデルの作成とその治療展開. 令和 7 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)), 156

- 万円(うち直接経費 120 万), 課題番号 24K13065
- 22) Rosenkranz Andrea (研究代表者): DEL-1 Promotes Biogenesis of Mineralizing Extracellular Vesicles by Mediating Intracellular Calcium Signaling. 令和7年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(若手研究), 234万円(うち直接経費 180万), 課題番号 24K19876
- 23) Rosenkranz Andrea (研究代表者): Identification of DEL-1 Structural Elements Required for Function. 令和7年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(研究活動スタート支援), 143万円(うち直接経費 110万), 課題番号 23K19715
- 24) Rosenkranz Andrea (研究分担者): 口腔細菌叢再構築による時代共通細菌と因子の同定. 令和7年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(挑戦的萌芽), (研究代表者:前川知樹), 273万円(うち直接経費 210万円, うち分担金 20万円), 課題番号 24K22180
- 25) 山内瑞起(研究代表者): 老化制御と歯周病治療薬開発.次世代研究者挑戦的研究プログラム助成金, 20万円(直接経費のみ)
- 26) 原実生(研究分担者): 口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明. 令和7年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(海外連携研究)), (研究代表者:前川知樹), 351万円(うち直接経費 270万, うち分担金 30万), 課題番号 23KK0160
- 27) 原実生(研究代表者): 歯周病原細菌による呼吸器上皮バリア機能破綻と肺がん発症機構を解明する. 令和7年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(若手), 260万円(うち直接経費 200万), 課題番号 24K19892
- 28) 原実生(研究分担者): 老化幹細胞の変容機構解明とその制御による再生能力賦活化. 令和7年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)), (研究代表者:前川知樹), 754万円(うち直接経費 580万, うち分担金 20万), 課題番号 25K02810
- 29) 川崎勝盛(研究代表者): 歯の発生における一次線毛の長さの意義の解明. 令和7年度(新規)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C),25K13048
- 30) 川崎勝盛(研究分担者): 口蓋形成における X 染色体の不活性化の検索. 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽),課題番号 23K18354
- 31) 川崎勝盛(研究分担者): 歯の形成における DNA 損傷/修復のメカニズムの解明. 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤

(C),23K09434

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Maekawa T: Novel Therapeutic Strategies for Bone Loss in Periodontitis and Aging: The Potential of DEL-1, 4th International Conference on Oral Mucosal Immunity and microbe, Chania, Crete, Greece, 2025.10.12-17.
- 2) Maekawa T: From Periodontal Research to Aging Research and Drug Discovery. Annual Meeting of Japanese and Korea Association for Dental, Oral, and Craniofacial Research, Seoul, 2025.11.26.
- 3) Maekawa T: DEL-1-Mediated Restoration of Regenerative Capacity in Aged Oral Tissue: From Basic Science to Clinical Applications. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia, 2026.2.8.
- 4) 前川知樹: 体内に備わる天然の老化細胞除去システムを賦活化する老化制御薬の開発, 第2回 IC²NEMO, 上越, 2026.3.4.
- 5) 前川知樹: 歯周病研究から全身臓器の老化研究と創薬へ, 第68回春季日本歯周病学会・シンポジウム1, 那覇, 2025.5.23.
- 6) 前川知樹: Development of DEL-1 Inducers and Their Application to Bone Regeneration Drugs (KSBMR-JSBMR 合同シンポジウム), 第43回日本骨代謝学会学術集会, 熊本, 2025.7.24-26.
- 7) Maekawa T: Development of DEL-1 Inducers and Their Application to Bone Regeneration Drugs, the 7th Penn Perio Conference, Philadelphia, PA, 2025.8.30.

【学会発表】

- 1) Surboyo MDC, Fadhlallah P, Yamauchi M, Rosenkranz A, Maekawa T: Regenerative Capability of Erythromycin-loaded Microparticles in Oral Tissue Diseases. The 104th General Session & Exhibition of the IADR, San Diego, USA, March 25-28, 2026.
- 2) Fadhlallah P, Surboyo MDC, Kesuma A, Koga M, Fang M, Yamauchi M, Rosenkranz A, Kawasaki M, Tomihara K, Maekawa T: Erythromycin Microparticles Enhance Bone Regeneration in BRONJ Model. The 104th General Session & Exhibition of the IADR, San Diego, USA, March 25-28, 2026.
- 3) Baba M, Yamada-Hara M, Tsuzuno T, Mineo S, Motosugi S, Ueda Y, Kobayashi K, Takahashi N, Tabeta K: Induction of lung inflammation in mice by aerosolized periodontopathic bacteria. The 104th General Session & Exhibition of the IADR, San Diego, USA, March 25-28,

- 2026.
- 4) Ueda Y, Takahashi N, Tsuzuno T, Nagata M, Motosugi S, Yamada A, Tran D, Tran K, Kobayashi K, Baba M, Yamada-Hara M, Tabeta K: Osteogenic responses of periosteal cells to bone graft substitutes. The 104th General Session & Exhibition of the IADR, San Diego, USA, March 25-28, 2026.
 - 5) Surboyo MDC, Sato-Yamada Y, Yamauchi M, Yoshida N, Rozenkranz A, Maekawa T: Targeted Intralesional Delivery of Erythromycin-Loaded Microparticles Promotes Oral Ulcer Regeneration. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia, 2026.2.8.
 - 6) Fadhlallah P, Surboyo MDC, Koga M, Tomihara K, Rozenkranz A, Maekawa T: Microparticle-Delivered Erythromycin Restores Bone Remodeling in Periodontitis-Associated BRONJ. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia, 2026.2.8.
 - 7) Fang Meiwen, Maekawa T: Intrapalatal Injection Erythromycin-loaded Microparticles Enhance Bone Regeneration in Periodontitis, FDI World Dental Congress, Shanghai, China, 2025.9.10.
 - 8) Surboyo MDC, Maekawa T: Regenerative Capabilities of Erythromycin-loaded Microparticles in Oral Tissue Disease Through Del-1 Induction Microparticle-Delivered Erythromycin Restores Bone Remodeling in Periodontitis-Associated BRONJ. 令和7年度先端歯学国際教育研究ネットワーク, 福岡, 2025.8.29.
 - 9) 植田優太, 高橋直紀, 都野隆博, 永田昌毅, 本杉駿弥, 山田葵, Tran Diep, Tran Khoa, 小林航大, 馬場水彩妃, 原実生, 多部田康一: 各種人工足場材料に対するヒト培養骨膜細胞の生物学的応答性の解析. 第68回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟市, 2025.10.17, プログラム及び講演抄録集 p.139.
 - 10) 馬場水彩妃, 原実生, 都野隆博, 峯尾修平, 本杉駿弥, 植田優太, 小林航大, 高橋直紀, 多部田康一: 歯周病原細菌の気管内噴霧投与による肺炎誘導能の検討. 第68回秋季歯周病学会学術大会, 新潟市, 2025.10.17, プログラムおよび講演抄録集 p.154
 - 11) Surboyo MDC, Maekawa T: Intralesional injection of Erythromycin-loaded microparticles modulates major ulcer healing via the DEL-1 axis. 第70回日本口腔外科学会学術大会, 福岡, 2025.11.14
 - 12) Fadhlallah P, Surboyo MDC, Maekawa T: Microparticle-Delivered Erythromycin Restores Bone Remodeling in

Periodontitis-Associated BRONJ. 第70回日本口腔外科学会学術大会, 福岡, 2025.11.14

- 13) Surboyo MDC: Single Intra-palatal Injection of Erythromycin-loaded Microparticle Enhance Bone Regeneration in Periodontitis. 新潟歯学会総会, 新潟, 2025.4.25.

【研究会発表】

- 1) 前川知樹: 老化制御とフレイル治療薬開発, TECHNIUM Global Conference@帝国ホテル, 東京, 2025.5.7
- 2) 前川知樹: 老化細胞制御による再生能力賦活化機構解明と創薬展開, 21世紀を明るく科学する会, 熱海, 2025.7.12.
- 3) 前川知樹: 老化細胞制御による再生能力賦活化機構解明と創薬展開, 第37回兵庫県CKD-MBD懇話会, 神戸, 2025.9.6.
- 4) 前川知樹: 老化幹細胞制御による再生賦活化とフレイル治療薬開発, 創発塾パネルポスター交流会, 東京, 2025.12.4
- 5) 前川知樹: 新潟の地から展開する老化細胞制御と創薬展開, 若手アカデミー・地域社会とアカデミアの連携に関する分科会, オンライン, 2026.2.27

【受賞】

- 1) Fadhlallah P: 第70回日本口腔外科学会学術大会優秀発表賞, 2025.11.14.
- 2) Fang Meiwen: 日中笹川医学奨学金制度(学位取得コース: 指導教員・前川知樹)
- 3) Fadhlallah P: Oral presentation award 3rd prize. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia, 2026.2.8.
- 4) Surboyo MDC: Oral presentation award 2nd prize. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia, 2026.2.8.

【その他】

- 1) 前川知樹: DayDay.出演, FOCUS 美容最新情報, 2025.4.30
- 2) 前川知樹: 体に備わったアンチエイジングの守護神 DEL-1 が骨の若返りを担うー骨粗鬆症や歯周病の根本治療に光ー, 新潟大学プレスリリース, 2026.1.30
- 3) 前川知樹: ひるおび(TBS系列)出演, DEL-1

による老化制御, 2025.5.29.

- 4) 前川知樹：ホンマでっかTV（フジテレビ系列）出演, 老化について, 2026.1.14.
- 5) 前川知樹：女性セブン・骨とDEL-1, 2025.12.26
- 6) 前川知樹：日本学術会議若手アカデミー公開シンポジウム・地域の特色を生かした大学の取組×学術とスタートアップの両輪での推進に向けて, 新潟, 2025.9.16.
- 7) 前川知樹：日本学術会議第26期連携会員（基礎系歯学分会）.
- 8) 前川知樹：日本学術会議第26期連携会員（病態系歯学分会）.
- 9) 前川知樹：日本学術会議第25, 26期連携会員（若手アカデミー）.
- 10) 前川知樹：日本学術会議第26期連携会員（科学者委員会 学術研究振興分会）.
- 11) Maekawa T: *Frontiers in Dental Medicine*
- 12) Maekawa T: *Frontiers in Oral Health*
- 13) Maekawa T: *Periodontology Journal*

口腔生命福祉学科

【著書】

- 1) 小野和宏, 松下佳代, 斎藤有吾: 新潟大学歯学部におけるカリキュラムと評価のアライメント—PEPAの成立・展開と広がり. 実践 ディープ・アクティブラーニング—高校から大学・社会へ広がる深い学びのデザイナー—(松下佳代編), 271-304頁, 勁草書房, 東京, 2026.
- 2) 濃野要: Chapter 2 集団フッ化物洗口の使用薬剤と安全管理. フッ化物をめぐる誤解を解くための18章 (眞木吉信編), 歯医薬出版, 東京, 2025.

【論文】

- 1) Yoshihara A, Iwasaki M, Suwama K, Odajima A, Kabasawa K, Ito Y, Tanaka J: Dietary n-6 and n-3 polyunsaturated fatty acids and tooth loss in community-dwelling older Japanese people. *Gerodontology*, 42:521–528, 2025.
- 2) Kiswanjaya B, Taufiq SR, Syahraini SI, Yoshihara A: The Influence of Age, Sex, and Mandibular Morphometric Parameters on Cortical Bone Width and Erosion: A Panoramic Radiography Study. *Frontiers in Dental Medicine*, 26;6:1558372, 2025.
- 3) Nainggolan LI, Kiswanjaya B, Priaminiarti M, Masulili SC, Bachtiar-Iskandar HH, Soeroso Y, Wulandari P, Astuti ER, Yoshihara A: Crown–Root Ratio as a

Predictive Morphometric Indicator in Mandibular First Molars with Occlusal Trauma and Periodontitis: A Radiographic and Clinical Modeling Study. *Dent J (Basel)*, 12;13(9):419, 2025.

- 4) Ertanto A, Kiswanjaya B, Tanti I, Priaminiarti M, Bachtiar-Iskandar HH, Yoshihara A.: The Combined Impact on Condylar Changes of Sex and Cortication on Mandibular Condyle: A Binary Logistic Regression Analysis. *Int J Dent*, 18;2025:5363346, 2025.
- 5) Kanie H, Yoshida M, Yokoi M, Okamoto M, Sasaki H, Ono K: Relationship between blood test results and oral function tests in individuals undergoing regular physical examinations. *Journal of Oral Rehabilitation*, 52(9): 1261-1266, 2025.
- 6) Ochiai Y, Ita R, Ono K, Tsujimura T, Magara J, Inoue M: Effect of hyposalivation on bread mastication in healthy individuals. *Journal of Oral Rehabilitation*, 52(9): 1461-1473, 2025. doi: 10.1111/joor.13987.
- 7) Ikeura K, Ochiai Y, Sasa A, Ono K, Takei R, Washio H, Takahashi H, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Effect of hyposalivation on masticatory movements while eating several crackers in healthy individuals. *Journal of Oral Rehabilitation* 52(12): 2401-2411, 2025. doi: 10.1111/joor.70048.
- 8) Yamaguchi M, Yoshida M, Okamoto M, Yokoi M, Aizawa T, Suda T, Ono K: Factors associated with the development of postoperative pneumonia in lung cancer surgery patients with perioperative oral management. *Supportive Care in Cancer* 33(12): 1082, 2025. doi: 10.1007/s00520-025-10177-6.
- 9) Aizawa C, Ita R, Ochiai Y, Sasa A, Phetnin N, Kawana Y, Ono K, Takeda N, Tsujimura T, Magara J, Inoue M: Effect of hyposalivation on fish cake mastication in healthy individuals. *Food Science and Nutrition* 14(1): e71378, 2026. Doi: 10.1002/fsn3.71378.
- 10) Yoshiba N, Maekawa T, Sekiguchi K, Kaku M, Sirisereephap K, Surboy M, Sato-Yamada Y, Rosenkranz A, Hosoya A, Ohkura N, Kakihara Y, Maeda T, Hajishengallis G, Izumi K, Yoshiba K: Loss of integrin alpha7-mediated signaling induces a dendritic cell-like phenotype in macrophages cultured on laminin-211/221 isoforms. *J Biol Chem*, 301(8):110419, 2025.
- 11) Surboy MDC, El Fadhlallah PM, Sato-Yamada Y, Sirisereephap K, Fang M, Maeda T, Tomihara K, Tabeta K, Yoshiba N, Rosenkranz AL, Maekawa T: The effects of Zoledronate administration routes on the reproducibility of BRONJ in rodent models: A systematic review. *Bone*, 199:117563, 2025.

- 12) Sato-Yamada Y, Surboyo MDC, Rosenkranz AL, Ujita T, Fang M, Ei Fadhlallah PM, Maekawa T, Sato Y, Yoshiba N, Maeda T: Macrophage induces angiogenesis via HIF signaling in denervated muscle following nerve injury. *Sci Rep*, 15(1):26239, 2025.
- 13) Takahara S, Edanami N, Saifullah Ibn Belal R, Yoshiba K, Takenaka S, Ohkura N, Yoshiba N, Gomez-Kasimoto S, Noiri N: An Evaluation of the Biocompatibility and Chemical Properties of Two Bioceramic Root Canal Sealers in a Sealer Extrusion Model of Rat Molars. *J Funct Biomater*, 16(1):14, 2025.
- 14) Edanami N, Yoshiba K, Saifullah Ibn Belal R, Yoshiba N, Takenaka S, Ohkura N, Takahara S, Ida T, Baldeon R, Kasimoto S, Thongtade P, Noiri Y: Role of Dystrophic Calcification in Reparative Dentinogenesis After Rat Molar Pulpotomy. *Int J Mol Sci*, 26(15):7130, 2025.
- 15) Baldeon-Gutierrez R, Ohkura N, Yoshiba N, Takahara S, Gomez-Kasimoto S, Ida T, Edanami N, Yoshiba K, Takenaka S, Noiri Y: Hyperglycemia in obese type 2 diabetes mellitus rats affects pulp wound healing. *J Oral Biosci*, 67(4):100683, 2025.
- 16) Endo S, Niimi K, Kato Y, Nohno K, Hasebe D, Hayashi T, Saito I, Kobayashi T: Examination of factors affecting condylar bone changes following surgical-orthodontic treatment. *Cranio* 43(2):214-224, 2025.
- 17) Chairunisa F, Takehara S, Nohno K, Ogawa H: Exploring the Association Between Periodontal Inflammation and Serum Aspartate Aminotransferase: Findings From a Longitudinal Study Among the Japanese Older Population. *J Int Soc Prev Community Dent*. 15(5):426-434, 2025.
- 18) Ramadhani A, Minagawa K, Takehara S, Kaneko N, Yamada T, Kitazawa M, Sone H, Fitrah YA, Nohno K, Ogawa H: Periodontitis and Mild Cognitive Impairment Risk in Diabetic Patients: Insights from an Exploratory Analysis. *Dent J (Basel)* 13(11):505, 2025.
- 19) Tamura K, Nohno K, Ogawa H: Association of Occlusal Support With All-Cause 10-Year Mortality in Healthy, Community-Dwelling, 80-Year-Old Adults. *Int Dent J*. 75(6):103909, 2025.
- 20) Ishiguro-Matsumoto A, Shibata S, Stegaroiu R, Ogawa Y, Ikeda Y, Ohuchi A. Factorial validity and reliability of the Executive Function-related Toothbrushing Behaviour Questionnaire among adults with intellectual disability at commuting welfare facilities. *International Journal of Dental Hygiene* 2026, in press.
- 21) 葭原明弘：歯科保健における健康増進に向けた取り組みの方向性, *日衛学誌* 19 (2) 7-12, 2025.
- 22) 小野和宏, 齋藤有吾, 松下佳代: コンピテンシーを育成するカリキュラムのデザイン—PEPA の有効性の検討—, *名古屋高等教育研究* (26): 329-351, 2026.
- 23) 土田智子, 吉村建, 仲村健二郎, 三上正人, 種村潔, 大内章嗣: 口腔カンジダ症の非侵襲的スクリーニングを目的とした各種フィトケミカル添加による口腔内微生物 3 種の蛍光スペクトル解析, *新潟歯学会雑誌* 55 (2) 45-50, 2025.
- 24) 吉羽永子: ヒト歯髄における細胞外マトリックス: ラミニンアイソフォームの局在とその新たな機能, *新潟歯学会誌*, 55(1): 1-7, 2025.
- 25) 田中梓, 皆川久美子, Ramadhani Aulia, 大久保光, 濃野要, 竹原祥子, 小川祐司: 2 型糖尿病患者における歯周治療後の脳梗塞リスク因子 LAB とアディポネクチンの関連性の検討, *口腔衛生会誌* 75: 88-96, 2025.
- 26) 保苺崇大, 野中由香莉, 濃野要, 杉原俊太郎, 新井恭子, 鎗田将史, 宮沢春菜, 山本裕子, 佐藤友則, 高橋直紀, 小松康高, 小牧基浩, 多部田康一, 両角俊哉: スケーリング・ルートプレーニングおよび Er:YAG レーザーを用いた歯肉縁下スケーリングによる生体ストレス反応 パイロット研究, *日歯周誌* 67: 111-121, 2025.
- 27) 米澤大輔: 歯科衛生士卒前教育の現在地, *甲北信越矯正歯科学会雑誌*, 33(1): 25-28, 2025.
- 28) 伊藤裕輔, 小澤薫, 中村健: 社会福祉士の労働環境と専門性に関する意識と課題 —新潟県社会福祉士会会員へのアンケート調査から—, *新潟青陵学会誌* 18 (1) : 1-12, 2025.
- 29) 小田島あゆ子, 葭原明弘, 皆川久美子, 林悠子: 歯肉の自己観察判定を含む歯周疾患セルフチェックの有用性, *口腔衛生会誌* 76: 38-44, 2026.

【商業誌】

- 1) 中村健: よりそい、よりそわれ, 季刊公的扶助研究 277, 2 頁, 全国公的扶助研究会, 東京, 2025.
- 2) 中村健: 支援を深める基礎知識一連携策を知る第 1 回「福祉事務所」, *生活と福祉* No.831, 22 頁, 全国社会福祉協議会, 東京, 2025.
- 3) 中村健: 支援を深める基礎知識一連携策を知る第 2 回「自立相談支援」, *生活と福祉* No.832, 22 頁, 全国社会福祉協議会, 東京, 2025.
- 4) 中村健: 支援を深める基礎知識一連携策を知る第 3 回「民生委員・児童委員」, *生活と福祉* No.833, 22 頁, 全国社会福祉協議会, 東京, 2025.
- 5) 中村健: 支援を深める基礎知識一連携策を知る第 4 回「児童相談所」, *生活と福祉* No.834, 22 頁, 全国社会福祉協議会, 東京, 2025.

- 6) 中村健：支援を深める基礎知識—連携策を知る第 5 回「ケアマネジャー」, 生活と福祉 No.835, 22 頁, 全国社会福祉協議会, 東京, 2025.
- 7) 中村健：支援を深める基礎知識—連携策を知る第 6 回「相談支援専門員」, 生活と福祉 No.836, 22 頁, 全国社会福祉協議会, 東京, 2025.
- 8) 中村健：支援を深める基礎知識—連携策を知る第 7 回「医療ソーシャルワーカー」, 生活と福祉 No.837, 22 頁, 全国社会福祉協議会, 東京, 2025.
- 9) 中村健：支援を深める基礎知識—連携策を知る第 8 回「コミュニティソーシャルワーカー」, 生活と福祉 No.838, 22 頁, 全国社会福祉協議会, 東京, 2026.
- 10) 中村健：支援を深める基礎知識—連携策を知る第 9 回「成年後見制度、日常生活自立支援事業」, 生活と福祉 No.839, 22 頁, 全国社会福祉協議会, 東京, 2026.
- 11) 中村健：支援を深める基礎知識—連携策を知る第 10 回「スクールソーシャルワーカー」, 生活と福祉 No.840, 22 頁, 全国社会福祉協議会, 東京, 2026.

【研究費獲得】

- 1) 葭原明弘：令和 7 年度歯みがきスペース環境整備等モデル事業：新潟県, 2025
- 2) 新美奏恵, 葭原明弘, 小林正治, 隅田好美：がん薬物療法を受ける患者の口腔環境, 口腔細菌叢と QOL の関連性の解明. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 23K09455, 2025.
- 3) 小野和宏, 井上 誠, 真柄 仁, 伊藤加代子：生体と食品の併行アプローチによる新たな咀嚼嚥下機能の理解. 日本学術振興会科学研究補助金 基盤研究 (C) , 22K10073, 2025.
- 4) 松下佳代, 小野和宏, 斎藤有吾, 伊藤通子, 平山朋子, 丹原 惇：コンピテンシーの形成・評価の検討—統合性・分野固有性・エージェンシーに着目して—. 日本学術振興会科学研究補助金 基盤研究 (B) , 23K22236, 2025.
- 5) 大湊 麗, 小野和宏, 佐藤真由美：二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討：鼻腔共鳴の定量評価の確立. 日本学術振興会科学研究補助金 基盤研究 (C) , 23K10517, 2025.
- 6) 吉羽永子, 前川知樹, 前田健康, 大倉直人：マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究 (B) , 23K24517, 2025.
- 7) 大倉直人, 吉羽永子, 柿原嘉人, 大島勇人：アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明, 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究 (C) , 19K10147, 2025.
- 8) 齋藤 夕子, 山田 雄二, 吉羽 永子, 泉 健次：海洋生物由来接着剤とペプチド修飾を併用したインプラント周囲軟組織の新規付着技術, 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究 (C) , 25K13047, 2025.
- 9) 濃野要, 金子 昇：超高齢期 100 歳までの生活機能および認知機能の低下を予測する口腔機能評価を採る本学術振興会科学研究補助金基盤研究(C), 25K13312, 2025.
- 10) 小川祐司, 濃野要他：糖尿病の心筋梗塞リスクに対する抗菌的歯周治療の有用性に関するランダム化比較試験, 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究(C), 23K09478, 2025.
- 11) 船山 さおり, 濃野要他：嗅覚と唾液は自発性異常味覚の苦味を説明できるか? 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究(C), 24K13258, 2025.
- 12) 吉武裕, 濃野要他：1 日の総歩数と総死亡の関連-70 歳から 100 歳までの 30 年間にわたる長期縦断的研究, 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究 (C) , 24K14703, 2025.
- 13) 柴田佐都子, Stegaroiu R, 大内章嗣, 池田吉史：知的障害者の認知機能, 運動機能, 情意機能に働きかける歯磨き技術の獲得支援, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 25K13340, 2025.
- 14) 米澤大輔, 濃野要：医療人材不足のへき地における少人数で実践可能な地域包括ケアシステムモデルの構築, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 23K01871, 2023-2025.
- 15) 中村健, 米澤大輔, 小澤薫：生活保護利用をためらわれない政策モデルの開発, 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 22K01973, 2025.
- 16) 脇山園恵, 中村健, 下村幸仁：生存権保障と生存権保障を底上げする生活困窮者支援 3 制度の運用モデルの開発, 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 24K05265, 2025.
- 17) 中村健, 米澤大輔, 小澤薫：生活保護制度運用における自治体間格差の検証：法の理念と運用の乖離を解消する, 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 25K05699, 2025.
- 18) 諏訪間加奈：大規模前向き調査によるアルコール摂取と歯科疾患・口腔健康状態との関連の解明, 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究, 22K17286, 2025.
- 19) 小田島あゆ子：独居高齢者の栄養状態と口腔健康状態の関連 —地域社会における孤立防止を目指して—, 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究, 24K20100, 2025.

- 20) 松本明日香, 渡辺哲也, 柴田佐都子, Stegaroiu R, 黒川孝一: 知的障害者の実行機能を補い高清掃効果を有する歯ブラシデザインの検討. 令和7年度 U-go グラント、トライアル枠・新規研究課題, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Stegaroiu Roxana: Fostering clinical reasoning through problem-based learning. The 13th Edition of the Carol Davila University of Medicine and Pharmacy Congress, Bucharest, 2025.10. 23.
- 2) 葎原明弘: 新潟県におけるフッ化物洗口の推移と今後の方向性, 日本口腔衛生学会, 新潟, 2025年5月18日.
- 3) 吉羽永子: 大学で働くということー発展する歯学部の中で学生・教職員がハッピーになるためにー. 令和7年度新潟歯学会, 新潟市, 2025年7月12日.
- 4) 吉羽永子: ラミニン-インテグリン相互作用の制御によるマクロファージから樹状細胞様細胞への変換とがん免疫療法への応用. 木原財団 2025年度第3回 BVA 創薬研究会, 2025年10月16日.
- 5) 葎原明弘: 歯周病管理への協働ー歯周病で困らない社会をみんなで考えようー, 日本歯周病学会, 新潟, 2025年10月18日.
- 6) 小野和宏: 新潟大学歯学部の取組ー学生の成長を促すための重要科目のデザインと PEPA の成立ー. シンポジウム 長期的な学生の学びと成長を評価するーPEPA の理論と実践ー, オンライン, 2025年10月18日.
- 7) 諏訪間加奈: 歯周病管理への協働 -歯周病で困らない社会をみんなで考えよう- 歯周病管理における行動変容の有効性および課題, 第68回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟市, 2025年10月18日, 日本歯周病学会会誌 67(秋季特別): 103頁, 2025.
- 8) 吉羽永子: 女性研究者開花プラン 先端型事業総括シンポジウム, 新潟市, 2026年1月8日.

【学会発表】

- 1) Chairunisa F, Takehara S, Nohno K, Ogawa H: Association between periodontal inflammation, systemic biomarkers, and rheumatoid arthritis among community-dwelling older adults: a cross-sectional analysis. The 17th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry, Bali, Indonesia, 2025年9月2-4日.
- 2) Valenzuela O, Minagawa K, Ramadhani A, Okubo H, Nagashima K, Nohno K, Takehara S, Yamada T, Kitazawa M, Sone H, Ogawa H: Effectiveness of antibiotic periodontal treatment on volatile sulfur

compounds levels in diabetic patients. The 17th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry, Bali, Indonesia 2025年9月2-4日.

- 3) Yortchan W, Yamada Y, Yoshiba N, Aizawa Y, Tanaka R, Annisa M, Pramita Larasati P, Kobayashi M, Ishikawa M, Sada A, Izumi K: Manufacturing An Ex-vivo Produced Oral Mucosa Equivalent Using RGD Peptide-conjugation. 2026 IADR/ AADOCR/CADR General Session & Exhibition, San Diego, USA, 2026年3月25-28日.
- 4) 平原茉結, 小田島あゆ子, 諏訪間加奈, 葎原明弘: 高齢者における牛乳・乳製品の摂取頻度と現在歯数との関連, 第58回新潟歯学会総会, 新潟市, 2025年4月12日. 新潟歯学会雑誌 55(1) 21-22, 2025.
- 5) 中村夢衣, 岩崎正則, 諏訪間加奈, 柴田佐都子, 竹原祥子, 葎原明弘: 地域住民でのナトリウム, カリウム食事摂取量と現在歯数との関連, 第58回新潟歯学会, 新潟市, 2025年4月12日新潟歯学会雑誌 55(1) 22-22, 2025.
- 6) Ramadhani A, Minagawa K, Takehara S, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: The Changes in Mild Cognitive Impairment (MCI) Blood-Based Biomarkers Following Scaling with and without Local Antibiotic Adjunct in Periodontitis Patients with Type 2 Diabetes Mellitus (T2DM). 第58回新潟歯学会, 新潟市, 2025年4月12日新潟歯学会雑誌 55(1) 22-23, 2025.
- 7) Chairunisa F, Takehara S, Nohno K, Ogawa H: Longitudinal study of the association between periodontal disease and aspartate aminotransferase (AST) among Japanese older adults. 第58回新潟歯学会, 新潟市, 2025年4月12日新潟歯学会雑誌 55(1) 23-23, 2025.
- 8) Surboyo M, Sirisereephap K, Fadhlallah P, Meiwen F, Rosenkranz A, Maeda T, Yoshiba N, Sato Y, Maekawa T: Single intrapalatal injection of erythromycin-loaded polylactic acid microparticles enhance bone regeneration in periodontitis. 第58回新潟歯学会, 新潟市, 2025年4月12日. 新潟歯学会雑誌 55(1) 24-24, 2025.
- 9) 永島 和裕, 高昇将, 濃野 要, 小川 祐司: 糖尿病患者におけるシクロデキストリンと活性炭による呼気アセトン濃度の減少. 第34回甲信越北陸口腔保健研究会. 新潟市, 2025年5月17日. 口腔衛生学会雑誌 75(増刊) 173-173 2025.
- 10) 諏訪間 加奈, 岩崎 正則, 伊藤 由美, 中村 夢衣, 柴田 佐都子, 竹原 祥子, 葎原 明弘: 食事摂取における Na/K 比と現在歯数との関連(魚沼コホート研究) 第二報: 調味料・食品との関連, 第74回日本口腔衛

- 生学会学術大会, 新潟市, 2025年5月18日, 口腔衛生学会雑誌: 75(増刊) 136頁, 2025.
- 11) 中村 夢衣, 岩崎 正則, 伊藤 由美, 諏訪間 加奈, 柴田 佐都子, 竹原 祥子, 葭原 明弘: 食事摂取におけるナトリウム/カリウム(Na/K)比と現在歯数との関連(魚沼コホート研究)(第一報), 第74回日本口腔衛生学会学術大会, 新潟市, 2025年5月18日, 口腔衛生学会雑誌: 75(増刊) 135頁, 2025.
 - 12) 小田島あゆ子, 島村陽南子, 中村健, 磯部澄枝, 石上和男, 葭原明弘: 独居高齢者における友愛訪問利用者の食事摂取多様性および主観的咀嚼能力の関連, 第74回日本口腔衛生学会, 新潟市, 2025年5月18日, 口腔衛生学会雑誌 75(増刊) 135頁, 2025.
 - 13) Gomez-Kasimoto S, Ohkura N, Baldeon-Gutierrez R, Takahara S, Ida T, Edanami N, Takenaka S, Yoshiba N, Noiri Y: Impact of high glucose on differentiative potency in periodontal ligament cells and dental pulp stem cells. 日本歯科保存学会 2025年度春季学術大会, 松山市, 2025年6月6日.
 - 14) Yortchan W, Yoshiba N, Aizawa Y, Tanaka R, Annisa M, Pramita Larasati P, Miyabi Kobayashi M, Izumi K: Effect of RGD peptide-conjugation on epithelial adhesion to collagen scaffold. 令和7年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2025年7月12日. 新潟歯学会雑誌 55(2) 56-57, 2025.
 - 15) 宮澤帆乃花: 体型別にみた糖尿病と歯周炎との関連. 令和7年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2025年7月12日. 新潟歯学会雑誌 55(2) 58-58, 2025.
 - 16) 山口萌絵, 小野和宏: 術後肺がん患者における術後肺炎発症に関する要因の検討. 令和7年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2025年7月12日. 新潟歯学会雑誌 55(2) 58-58, 2025.
 - 17) 小牧侑紀: 舌・口腔底癌術後の急性期および回復期における術後嚥下障害に影響を及ぼす因子. 令和7年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2025年7月12日. 新潟歯学会雑誌 55(2) 58-59, 2025.
 - 18) Thongtade P, 大倉 直人, 佐藤 友里恵, Baldeon-Gutierrez R, 高原 信太郎, Fang M, Surboyoy M, Gomez-Kasimoto S, 吉羽 永子, 野杵 由一郎: Wound healing reaction after pulpotomy of maxillary molars in SARM1 knockout rats. 第67回歯科基礎医学会学術大会, 北九州市, 2025年9月5日.
 - 19) 田村浩平, 濃野要, 小川祐司: 地域在住80歳健常高齢者における咬合支持喪失と10年生存率との関連. 第25回日本歯科医学会学術大会. 横浜市, 2025年9月26日. 日本歯科医師会雑誌 78(4) 363-363, 2025.
 - 20) 星野 剛志, 金子 昇, 葭原 明弘, 岩崎 正則, 諏訪間 加奈, 小川 祐司: 高齢者における血漿中抗 *Porphyromonas gingivalis* 抗体価と孤立性収縮期高血圧との関連, 第25回日本歯科医学会学術大会, 横浜市, 2025年9月26日, 2025. 日本歯科医師会雑誌 78(4) 366-366, 2025.
 - 21) Valenzuela O, 皆川 久美子, 濃野 要, 小川 祐司: 日本の高齢者においてメタボリックシンドロームが歯周炎に及ぼす影響. 第25回日本歯科医学会学術大会. 横浜市, 2025年9月26日. 日本歯科医師会雑誌 78(4) 373-373, 2025.
 - 22) 大倉直人, 立川正憲, 大嶋淳, Baldeon-Gutierrez R, 高原信太郎, Gomez Kasimoto S, 竹中彰治, 吉羽永子, 野杵由一郎: *Gingivalis* 由来外膜小胞の内在化機構および輸送経路の同定. 第68回, 秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟市, 2025年10月17日.
 - 23) 柴田佐都子, 池田吉史, 小川友里奈, 松本明日香, ステガロユロクサーナ, 濃野 要, 大内章嗣: 知的障害のある生徒の歯磨きによる歯垢除去効果と精神年齢, 認知機能, 手先の器用さとの関連. 日本歯科衛生学会第20回学術大会, 東京都, 2025年11月2日, 日本歯科衛生学会第20回学術大会プログラム集: 39頁, 2025, 日本歯科衛生学会第20回学術大会プログラム集: 39頁, 2025.
 - 24) 高原信太郎, 大倉直人, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kasimoto S, Thongtade P, 竹中彰治, 廣瀬陽菜, 吉羽永子, 松崎英津子, 野杵由一郎: 異種歯乳頭由来幹細胞を用いた再生歯内療法における有用性の評価. 日本歯科保存学会 2025年度秋季学術大会, 長崎市, 2025年11月6日.
 - 25) 岡部まい: 高齢者における残存歯数と栄養摂取状況との関連 -BMIによる体格別分析-. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2025年11月8日. 新潟歯学会雑誌 55(2) 66-66, 2025.
 - 26) 田口ななこ: 特例子会社に勤務する軽度知的障がい者の歯科保健状況および定期歯科受診の有無と関連する要因の分析. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2025年11月8日. 新潟歯学会雑誌 55(2) 66-67, 2025.
 - 27) 三角洋美: 通所介護事業所の利用者を対象とした口腔機能訓練が身体機能に及ぼす即時効果の検討. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2025年11月8日. 新潟歯学会雑誌 55(2) 67-67, 2025.
 - 28) 中村健: 生活保護行政で起こる不祥事～第三者委員会報告書の分析～. 貧困研究会 第18回研究大会, 大阪市, 2026年1月11日.

【研究会発表】

- 1) 吉田真綾, 柴田佐都子, 池田吉史, 小川友里奈, 松本明日香, 濃野 要: 知的障害をもつ生徒の本人磨きによる歯垢除去効果に関連する要因の検討. 第 47 回特別支援学校研究会, 新潟, 2025 年 12 月 5 日, 第 47 回特別支援学校教育研究会全体要項: 4 頁, 2025.

【受賞】

- 1) 葭原明弘: スタンフォード大学と Elsevier 社: 世界で最も影響力のある科学者トップ 2%, 2025.
- 2) Stegaroiu Roxana: *Doctor Honoris Causa* (名誉博士) awarded by the “Carol Davila” University of Medicine and Pharmacy Bucharest, at the 13th Edition of the “Carol Davila” University of Medicine and Pharmacy Congress, Bucharest, 2025.10.24.
- 3) 小田島あゆ子: 地域在住高齢者における咬合と頭部を含む身体動揺との関連, 日本老年歯科医学会, 2024 年度優秀論文賞, 日本老年歯科医学会第 36 回学術大会, 千葉市, 2025.6.28.
- 4) 松本明日香日: 本歯科衛生学会第 19 回学術大会学術発表賞口演発表賞「障害福祉施設通所成人知的障害者を対象とした実行機能と関連する歯磨き行動質問紙の検証」日本歯科衛生学会第 20 回学術大会, 東京都 2025.11.2.

【その他】

- 1) 濃野要: 令和 7 年度福島県市町村フッ化物洗口研修会講師, 杉妻会館(福島市), 2025 年 7 月 28 日.
- 2) 濃野要: 歯科衛生士専任教員研修会講師, 日本歯科大学新潟キャンパス(新潟市), 2025 年 8 月 18 日.
- 3) 濃野要: 日本フッ化物むし歯予防協会研修会講師, Web 開催, 2025 年 8 月 24 日.
- 4) 中村健: 令和 7 年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修「事業就労支援員・就労準備支援事業支援員初任者研修企画部会」委員, 厚生労働省, 2025.
- 5) 中村健: 令和 7 年度新任査察指導員研修会講師, 厚生労働省, 2025.
- 6) 中村健: 厚生労働省令和 7 年度社会福祉推進事業「生活保護の査察指導員等の研修等のあり方に関する調査研究」委員, 一般財団法人日本総合研究所, 2025-2026.
- 7) 中村健: 厚生労働省令和 7 年度社会福祉推進事業「社会福祉主事任用の実態等に関する調査研究」委員, 一般財団法人日本総合研究所, 2025-2026.
- 8) 中村健: 生活保護における 3 つの自立支援とその推進に向けた研修会講師, 国立保健医療科学院, 2025.
- 9) 中村健: 福祉事務所長研修会講師, 国立保健医療科学院, 2025.

- 10) 中村健: 新潟県新任ケースワーカー研修会講師, 新潟県, 2025.
- 11) 中村健: 新潟県新任査察指導員研修会講師, 新潟県, 2025.
- 12) 中村健: ソーシャルワーカーデイにいがた 2025, 講師, 公益社団法人新潟県社会福祉士会, 2025.
- 13) 中村健: 公的扶助の価値浸透を, 新潟日報, 2025 年 10 月 27 日
- 14) 中村健: 生活保護制度正しい認識を, 新潟日報, 2025 年 10 月 29 日
- 15) 中村健: 令和 7 年度包括的支援体制のための連携に関する社会調査報告書 (中村健 他), 新潟市社会福祉協議会, 新潟, 2026.

歯科臨床教育学/歯科総合診療科

【論文】

- 1) Mizuki Hoshino, Takumi Sato, Futoshi Nakamura, Sayaka Tsuzuno, Mana Hasegawa, Noritaka Fujii. Development of a new teaching tool for visualizing invisible tips by adjusting full dentures. *J Dent Sci Educ*. Volume 4, Issue 1. DOI: 10.51271/JDSE-71. 2026.
- 2) Rei Nagasawa, Takumi Sato, Yuto Isogai, Yui Yamada, Takashi Imamura, Noritaka Fujii. New Virtual Reality Educational Tool for Evaluating Dental Mirror Technique Skills: A Pilot Study. *Dent. J.* 13(12): 566. DOI: 10.3390/dj13120566. 2025.
- 3) Yuya Iwamoto, Kajita Piriyaarasath, Andi Sitti Hajrah Yusuf, Mana Hasegawa, Yoshito Kakihara, Tsutomu Sato, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto: Daily Administration of Agmatine Reduced Anxiety-like Behaviors and Neural Responses in the Brains of Male Mice with Persistent Inflammation in the Craniofacial Region. *Nutrients*. 17(11). DOI: 10.3390/nu17111848. 2025.
- 4) 佐藤 拓実, 長澤 伶, 中村 太, 長谷川 真奈, 星野みずき, 藤井 規孝: ミラーテクニックを用いた切削技能に影響を与える因子の検討—第 3 報 上顎中切歯口蓋側切削時のデンタルミラーの近遠心位置設定による指導歯科医と研修歯科医の比較検討—。日本歯科医学教育学会雑誌. 41 巻 3 号 71-78 頁. 2025 年.
- 5) 長澤 伶, 佐藤 拓実, 中村 太, 長谷川 真奈, 星野みずき, 藤井 規孝: ミラーテクニックを用いた切削技能に影響を与える因子の検討—第 4 報 上顎中切歯口蓋側切削時のフィンガーレストの位置による指導歯科医と研修歯科医の比較検討—。日本

歯科医学教育学会雑誌. 41 巻 3 号 79-88 頁. 2025 年.

【研究費獲得】

- 1) 藤井 規孝: 歯科臨床技能における sense teaching への挑戦. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25K06592, 2025.
- 2) 佐藤 拓実: バイオフィードバックを応用した歯科技能教育 DX 化の検討. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 25K20472, 2025.
- 3) 長谷川 真奈: ストレスによる高位脳の機能変調が顔面痛を増大させる中枢メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K13111, 2024.
- 4) 中村 太: モーションキャプチャ・システムを用いた歯科臨床教育の検討. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16219, 2023.
- 5) 都野 さやか: Tacit Manners の解明がもたらす技能教育の効率化. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K12823, 2023.
- 6) 岩本 佑耶: 米発酵エキス“酒粕”によるストレス解消戦略. 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト(次世代プロジェクト) 研究費, 2023.
- 7) 長澤 伶: 革新的な歯科臨床技能システム開発. 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト(次世代プロジェクト) 研究費, 2022.
- 4) 石塚 公都, 都野 さやか, 長谷川真奈, 中村 太, 佐藤 拓実, 藤井 規孝: 下顎前歯捻転歯の補綴治療にプロビジョナルレストレーションを用いて歯冠形態を検討し、清掃性向上を図った症例. 第 18 回日本総合歯科学会総会・学術大会. 松本. 2025 年 11 月 23・24 日.
- 5) 大西 雅人, 中村 太, 都野 さやか, 長谷川 真奈, 佐藤拓実, 藤井 規孝: 度重なる増歯・増床で咬合平面が乱れた旧義歯に対して、咬合平面の修正を行い新義歯を製作した症例. 第 18 回日本総合歯科学会総会・学術大会. 松本. 2025 年 11 月 23・24 日.
- 6) 大内 政輝, 中村 太, 都野 さやか, 長谷川 真奈, 佐藤 拓実, 藤井 規孝: 臼歯の咬耗に対しスプリントを用いて咬合挙上の評価を行った症例. 第 18 回日本総合歯科学会総会・学術大会. 松本. 2025 年 11 月 23・24 日.
- 7) 五十嵐 貴洋, 長谷川 真奈, 都野 さやか, 中村 太, 佐藤 拓実, 藤井 規孝: リップサポートの不足による食渣停留と義歯の易脱離を訴える患者に対して人工歯排列位置を検討しながら新義歯製作を行った症例. 第 18 回日本総合歯科学会総会・学術大会. 松本. 2025 年 11 月 23・24 日.
- 8) 菅井 達郎, 佐藤 拓実, 長谷川 真奈, 都野 さやか, 中村 太, 藤井 規孝: 治療過程によりすれ違い咬合へ移行した症例. 第 18 回日本総合歯科学会総会・学術大会. 松本. 2025 年 11 月 23・24 日.
- 9) 長澤 伶, 佐藤 拓実, 藤井 規孝: ミラーテクニックの技能評価のための新たな教育ツールの開発とその試み. 令和 7 年度新潟歯学会第 2 回例会. 2025 年 11 月 8 日.

【学会発表】

- 1) 加藤 拓海, Andi Sitti Hajrah Yusuf, 岩本 佑耶, 長谷川 真奈, 藤井 規孝, 山村 健介, 岡本 圭一郎: 予防的トレッドミルランニングによる三叉神経経路の領域特異的調節を介した頭蓋顔面痛覚の軽減. 第 103 回日本生理学会大会. 東京. 2026 年 3 月 10-12 日.
- 2) Andi Sitti Hajrah Yusuf, Yuya Iwamoto, Takumi Kato, Mana Hasegawa, Rantaro Kamimura, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto: Preconditioning treadmill running attenuates craniofacial pain-like behaviors and limbic neural changes associated with craniofacial inflammation in mice. 第 103 回日本生理学会大会. 東京. 2026 年 3 月 10-12 日.
- 3) 加藤 拓海, 中村 太, 長谷川 真奈, 都野 さやか, 佐藤 拓実, 藤井 規孝: 有病者の咬合崩壊に際し、全身疾患を考慮して治療計画を立案した症例. 第 18 回日本総合歯科学会総会・学術大会. 松本. 2025 年 11 月 23・24 日.
- 10) 長谷川 真奈, 岡本 圭一郎, 岩本 佑耶, 藤井 規孝, 山村 健介: トレッドミル運動がストレス誘発性の顎顔面痛と脳内エピジェネティック変化に及ぼす影響. 第 25 回日本歯科医学学会学術大会. 横浜. 2025 年 9 月 26 - 28 日.
- 11) 小松明衣, 今村孝, 佐藤拓実, 中村由紀: 口腔衛生指導におけるリアルタイム視覚情報提示システムの構築. 電子情報通信学会信越支部 2025 年度支部大会. 長岡. 2025 年 9 月 20 日.
- 12) 長澤 伶, 佐藤 拓実, 磯貝 優翔, 山田 優衣, 今村孝, 藤井 規孝: ミラーテクニック指導の VR システムを用いた新たな教育ツールのための開発. 第 44 回日本歯科医学教育学会学術大会. 浦安. 2025 年 8 月 29-30 日.
- 13) 岩本 佑耶, 長谷川 真奈, 岡本 圭一郎, 山村 健介, 藤井 規孝: アグマチンは顎顔面部の持続性炎症に伴う不安行動と中枢神経機能の変調を改善する. 日本補綴歯科学会第 134 回学術大会. 長崎. 2026 年

5月17-18日.

- 14) 長谷川 真奈, 岡本 圭一郎, 岩本 佑耶, 山村 健介, 藤井 規孝: トレッドミル運動によるストレス誘発顔面痛と不安の軽減効果は運動頻度に依存する. 日本補綴歯科学会第 134 回学術大会. 長崎. 2026年5月17-18日.

【受賞】

- 1) Rei Nagasawa, Takumi Sato, Yuto Isogai, Yui Yamada, Takashi Imamura, Noritaka Fujii: New Virtual Reality Educational Tool for Evaluating Dental Mirror Technique Skills: A Pilot Study. Best Paper Award in Dentistry Journal Special Issue with HAI DENers. HAPTIC & AI, IN DENTAL EDUCATION NETWORK(HAIDENERS). 19/03/2026.
- 2) 長澤 伶: 令和7年度新潟大学学生表彰. 2026年3月18日.
- 3) 長澤 伶: マルチラボ賞. 令和7年度新潟大学博士学生支援プログラムシンポジウム. 2026年3月11日.
- 4) 大内 政輝, 中村 太, 都野 さやか, 長谷川真奈, 佐藤 拓実, 藤井 規孝: 臼歯の咬耗に対しプリントを用いて咬合挙上の評価を行った症例. 若手ポスター発表優秀賞. 第18回日本総合歯科学会総会・学術大会. 松本. 2025年11月23・24日
- 5) 長谷川 真奈, 岡本 圭一郎, 岩本 佑耶, 藤井 規孝, 山村 健介: トレッドミル運動がストレス誘発性の顎顔面痛と脳内エピジェネティック変化に及ぼす影響. ポスター賞 若手研究者部門. 第25回日本歯科医学会学術大会. 横浜. 2025年9月26-28日.
- 6) 長澤 伶, 佐藤 拓実, 磯貝 優翔, 山田 優衣, 今村 孝, 藤井 規孝: ミラーテクニック指導のためのVRシステムを用いた新たな教育ツールの開発. 第23回日本歯科医学教育学会教育システム開発賞. 日本歯科医学教育学会. 2025年8月29・30日.

顎口腔インプラント治療部

【論文】

- 1) 高田翔, 高嶋真樹子, 松崎奈々香, 山崎裕太, 田中凜太郎, 荒井良明. オーラルアプライアンス製作のフルデジタルワークフローの予備的検証. 日本顎関節学会雑誌, 2025 ; 37 : 47-55.
- 2) Yoshiaki Arai, Makiko Takashima, Nanaka Matsuzaki, Sho Takada. Marginal bone loss in dental implants: A literature review of risk factors and treatment strategies for prevention. J Prosthodont Res. 2025;69:12-20.

doi.org/10.2186/jpr.JPR_D_23_00223

- 3) Tahrim Akter, Makiko Takashima, Yoshiaki Arai, Nanaka Matsuzaki, Yuta Yamazaki, Kaname Nohno. Gonial angle and late implant failure: A retrospective clinical study. J Prosthodont Res. 2025;69:120-126. doi.org/10.2186/jpr.JPR_D_23_00267
- 4) 松崎奈々香. 下顎右側第一大臼歯欠損に対しインプラント治療を行った1症例. 日本口腔インプラント学会誌, 2025; 38(2) :E159

【学会発表】

- 1) 田中凜太郎, 相澤有香, Witsanu Yortchan, 小林雅, Mutiara Annisa, Putri Pramita Larasati, Meircurius Surboyo, 前川知樹, 荒井良明, 泉健次. 口腔粘膜ヒト初代培養細胞を用いた3次元創傷治癒モデルの開発とその特徴解析. 令和7年度新潟歯学会総会, 2025年11月8日 新潟市.
- 2) Tun Nila, 長澤麻沙子, 魚島勝美. ラーゲンクロスリンクの減少が骨移植後の新生骨内骨細胞ネットワーク形成に及ぼす影響. 第55回 公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会. 38巻特別号, 166項. 2025年10月24~26. 福岡市
- 3) 江口香里「細胞応答に基づくチタン表面に対する真空紫外線照射の最適条件の探索」秋葉 陽介, 秋葉 奈美, 江口 香里. 日本口腔インプラント学会第45回 中国・四国支部学術大会、抄録集64頁、2025年12月13~14. 岡山市
- 4) 小林水輝、「低重力が頭蓋骨の細胞外マトリックス組成に及ぼす影響の解析」日本口腔インプラント学会 第45回 中国・四国支部学術大会、抄録集68頁
- 5) Hlaing Pwint Phyu 「骨の部位によって異なる細胞外マトリックス組成ならびにコラーゲン架橋の解析」日本口腔インプラント学会 第45回 中国・四国支部学術大会、抄録集69頁
- 6) オチョア・ダグニー、Redefining implant site preparation: Biological advantages of DLC-coated drills. 日本口腔インプラント学会第45回中国・四国支部学術大会、抄録集41頁
- 7) 田中凜太郎, 相澤有香, Witsanu Yortchan, 小林雅, Mutiara Annisa, Putri Pramita Larasati, Meircurius Surboyo, 上野山敦士, 前川知樹, 荒井良明, 泉 健次. 口腔粘膜ヒト初代培養細胞を用いた3次元創傷治癒モデルの開発. 第68回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025年10月17-18日, 日本歯周病学会会誌 67(秋季特別) : 159頁, 2025.

【研究費獲得】

- 1) 荒井良明:チタン結晶の微細粒径化によるアバットメントへのムコインテグレーション促進の検証. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 2025-2027年度, 計 3120 千円. 課題番号 25K13100
- 2) 荒井良明:顎口腔インプラント治療に関する研究助成. サンメディカル(株) 寄付金 2025年5月 300千円.

医療連携口腔管理治療部

【研究費】

- 1) 曾我麻里恵:科学研究費 若手研究 令和4年度～7年度, 課題番号 23K1611, 研究代表者 曾我麻里恵, 放射線性う蝕の発生リスク因子の特定と適正な歯科管理方法の構築.
- 2) 山下萌:科学研究費 若手研究 令和5年度～令和8年度, 課題番号 24K19894, 研究代表者 山下萌, 神経障害性疼痛治療薬による歯肉増殖症誘発可能性の検討.
- 3) 那須優介(研究代表者):歯周病原細菌による菌血症がもたらす精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 24K23544, 2025.
- 4) 那須優介(研究代表者):歯周病原細菌による視床下部血管バリア機能破綻メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 25K20266, 2025.
- 5) 金丸博子:科学研究費 基盤研究(C), 令和7年度～令和9年度, 課題番号 25K13182, 研究代表者 金丸博子 三叉神経障害性疼痛の発生におけるペリサイトの役割の解明

【論文】

- 1) Hidenobu Sakuma, Hiroko Kanemaru, Akira Kurokawa, Marie Soga, Moe Yamashita, Mai Nozawa-Kobayashi, Kanae Niimi, Tadaharu Kobayashi. Prevalence of MRONJ in patients treated with antiresorptive agents for glucocorticoid-induced osteoporosis. *Oral Maxillofac Surg.* 2025 Apr 16;29(1):84.
- 2) Ryusuke Shodo, Yushi Ueki, Kouji Katsura, Takeshi Takahashi, Jo Omata, Yusuke Yokoyama, Marie Soga, Keiko Tanaka, Taichi Kobayashi, Shusuke Ohshima, Arata Horii. Oropharyngeal candidiasis during radiotherapy for head and neck cancer: an observational study on prevalence, pain, and risk factors. *European*

Archives of Oto-Rhino-Laryngology. 2025;7: <https://doi.org/10.1007/s00405-025-09548-w>.

- 3) Akira Kurokawa, Kanae Niimi, Hiroko Kanemaru, Marie Soga, Moe Yamashita, Hidenobu Sakuma, Kei Tomihara, Kensuke Yoshida, Tadaharu Kobayashi, Akitugu Ohuchi. Incidence of oral reactions of immune-related adverse events caused by immune checkpoint inhibitors. *J Oral Maxillofac Surg, Med, Pathol.* 2025 Sep 37(5):1051-1055.
- 4) Yutaka Nikkuni, Hideyoshi Nishiyama, Masaki Takamura, Taichi Kobayashi, Marie Soga, Makiko Ike, Kouji Katsura, Takafumi Hayashi. Evaluation of the Ability to Predict Subsequent Metastasis of Early Oral Squamous Cell Carcinoma Using PET Radiomics Machine Learning Models. *Cancers* 2025;17(21):3573; <https://doi.org/10.3390/cancers17213573> (registering DOI).
- 5) Yutaka Nikkuni, Hideyoshi Nishiyama, Masaki Takamura, Taichi Kobayashi, Marie Soga, Makiko Ike, Kouji Katsura, Takafumi Hayashi. Evaluation of radiomics-based machine learning models for detection of cervical lymph node metastasis from oral cancer on PET images. *J Stomatol Oral Maxillofac Surg.* 2026 Feb 18;127(4):102754. doi: 10.1016/j.jormas.2026.102754.
- 6) Nasu Y, Kishikawa S, Imai M, Yokoyama N, Iida I, Tabeta K, Terunuma M: Ammonia reduces glutamine synthetase expression in astrocytes via activation of Hippo-YAP signaling pathways. *Commun Biol*, 8, 1810, 2025.
- 7) Nasu Y, Teunuma M: From Metabolism to Mood Regulation: Astrocytes as a Driver of Depression. *Front Cell Neurosci*, 20, 1776649, 2026.
- 8) Kensuke Yoshida, Akira Kurokawa, Naoto Hoshino, Chie Saito, Masayoshi Koga, Akisa Tsuboya, Hiroko Kanemaru, Kyongsun Pak, Kei Tomihara, Munetoshi Sugiura. Incidence and Severity of Chemotherapy-Induced Oral Mucositis in Patients with Cancer: A Retrospective Cohort Study in a Single Institute. *International Journal of Oral Care*:2(2);9-16, 2025.
- 9) Anna Kiyomi, Kensuke Yoshida, Chikako Koide, Yukiko Takahashi, Akira Kurokawa, Kei Tomihara, Munetoshi Sugiura. Prevalence and Management Gaps in Methotrexate-Related Oral Mucositis Among Rheumatoid Arthritis Patients: A Questionnaire-Based Study. Volume 23, Issue 1. January 2026.

【商用誌】

- 1) 金丸博子: 歯科麻酔科医のこれから 歯科医ならではの知識・技術 こんなときは歯科麻酔科医を呼んでください! LiSA.2025;32(10):984-987

【学会発表】

- 1) 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 富原 圭, 平井秀明, 隅田賢正, 木口哲郎, 小林太一, 高村真貴, 林 孝文. 頭頸部放射線治療後の歯槽骨密度変化と線量との関係. 第 43 回一般社団法人口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2025 年 2 月 27-28 日, 東京.
- 2) 田中恵子, 勝良剛詞, 正道隆介, 曾我麻里恵, 手嶋謡子, 金丸博子, 田中雄介, 後藤早苗. 頭頸部下顎放射線療法における口腔ケア用ジェル ヒノロー@EN の有効性. 日本がん口腔支持療法学会第 10 回学術大会, 2025 年 3 月 1 日, 松山市.
- 3) 竹内照美, 古川康平, 新垣理宣, 今待賢治, 曾我麻里恵, 大橋伸英, 小野龍太郎. オーラルサポータティブケア教育研修会の立ち上げと取り組み. 日本がん口腔支持療法学会第 10 回学術大会, 2025 年 3 月 1 日, 松山市.
- 4) 黒川亮, 吉田謙介, 清海杏奈, 杉浦宗敏, 金丸博子, 曾我麻里恵, 船山さおり, 善本佑, 笹川花梨, 那須優介, 田中恵子, 中村夢衣, 宍戸香, 齋藤千愛, 星野直人, 古賀雅良, 富原圭, 大内章嗣. 薬学部教育における歯科との職種間連携に関する取り組みについて. 第 22 回日本口腔ケア学会総会・学術大会 第 5 回国際口腔ケア学会総会・学術大会, 新潟, 2025 年 4 月 25-26 日, プログラム抄録集:32 頁, 2025.
- 5) 西山秀昌, 池 真樹子, 小林太一, 新國 農, 高村真貴, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 能登義幸, 須藤毅頭, 林 孝文. 歯科放射線学における AI の適応範囲について適切に教育する方法の模索 —内挿・外挿・領域外および汎化性能に関して—. NPO 法人日本歯科放射線学会第 65 回学術大会, 2025 年 5 月 31 日-6 月 1 日, 札幌市. 抄録集: 79 頁.
- 6) 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 小林太一, 高村真貴, Fitri Widayanti Roosyanto Prakoeswa Beshlina, 池真樹子, 新國 農, 西山秀昌, 林 孝文. 頭頸部放射線治療後の歯槽骨密度変化は放射線顎骨壊死の予測因子になる可能性がある. NPO 法人日本歯科放射線学会第 65 回学術大会, 2025 年 5 月 31 日-6 月 1 日, 札幌市. 抄録集: 78 頁.
- 7) Yusuke Nasu, Miho Terunuma: Regulatory mechanism of astrocytic glutamine synthetase expression via Hippo-YAP pathway. CINP-AsCNP 2025 Joint Congress, Melbourne, Australia, June 17, 2025.

- 8) Yutaka Nikkuni, Hideyoshi Nishiyama, Beshlina Fitri Widayanti Roosyanto Prakoeswa, Taichi Kobayashi, Masaki Takamura, Makiko Ike, Marie Soga, Kouji Katsura, Takafumi Hayashi. Differentiation of dysplasia, carcinoma in situ, and invasive carcinoma in the intraoral US using radiomics analysis. 25th Congress of the International Association of DentoMaxilloFacial Radiology, June 24-25, London, UK.
- 9) 西山秀昌, Prakoeswa Beshlina, 池 真樹子, 小林太一, 新國 農, 高村真貴, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 須藤毅頭, 林 孝文. 深層学習モデルの出力予測に基づく教育方針についての案—特化型 AI と汎用目的型 AI と No Free Lunch theorem と—. NPO 法人日本歯科放射線学会第 240 回関東地方会第 44 回北日本地方会第 32 回合同地方会, 2025 年 8 月 30 日, オンライン.
- 10) 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 中野 永, 金丸博子, 黒川 亮, 田中恵子, 中村夢衣, 大内章嗣, 林 孝文. 放射線治療後長期観察患者における放射線性う蝕の発生状況とリスク因子の関連性の評価. NPO 法人日本歯科放射線学会第 6 回秋季学術大会, 2025 年 9 月 12-14 日, 大阪市.
- 11) 新國 農, 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 池 真樹子, 勝良剛詞, 林 孝文. 口腔扁平上皮癌の術前頸部リンパ節転移鑑別を目的とする超音波レディオミクスにおける異なる機種間でも有用性が左右されない robust な特徴量の検討. NPO 法人日本歯科放射線学会第 6 回秋季学術大会, 2025 年 9 月 12-14 日, 大阪市.
- 12) 那須優介, 多部田康一, 照沼美穂: 歯周病原細菌性菌血症による精神疾患発症機構の検討. 第 68 回日本神経化学会大会, 愛知, 2025 年 9 月 12 日, プログラムおよび講演抄録集: 68 頁, 2025.
- 13) 金丸博子, 岸本直隆, 氏田倫章, 田中裕, 倉田行伸, 山本徹, 沢田詠見, 宮川義基, 瀬尾 憲司: 新生児のエプーリス切除術に対する全身麻酔管理経験, 第 53 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2025.10.10-12 日, 鹿児島市, 第 53 巻抄録集 P214.
- 14) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 田中恵子, 中村夢衣, 富原圭, 大内章嗣: ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) により生じた口腔粘膜炎の 1 例— BNCT 後、重篤化した口腔粘膜炎から学ぶ多職種プロアクティブ介入の必要性—. 第 35 回一般社団法人日本有病者歯科医療学会総会, 2026 年 3 月 6-8 日, 学術大会プログラム: 113 頁, 2025.

【研究会発表】

- 1) 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 新田目美和子, 伊藤由美.
同種造血幹細胞移植患者の口腔のセルフケア実施
状況と口腔粘膜炎との関係. 第2回オーラルサポ
ーティブケア教育研究会, 2025年10月25日, 札幌
市.

【資格取得・受賞】

- 1) 那須優介：日本歯周病学会認定医（第1915号），
2025年5月22日.
- 2) Yusuke Nasu, Miho Terunuma: Regulatory mechanism
of astrocytic glutamine synthetase expression via
Hippo-YAP pathway. JSNP Excellent Presentation
Award for CINP, CINP-AsCNP 2025 Joint Congress,
Melbourne, Australia, June 17, 2025.

【その他】

- 1) 金丸博子：日本災害医学会 D-EATs 試行コース～
多職種での“災害時「食べる」連携研修会”～ 講師：
2025年12月13日,新潟市